

シート・レイアウト FAQ

【CADWe'll Tfas 11 編】



株式会社ダイテック

2019 年 6 月

<1 版>

はじめに

この度は、「CADWe'll Tfas 11（以下「CADWe'll Tfas）」」をご採用いただき誠にありがとうございます。

本書「シート・レイアウト FAQ【CADWe'll Tfas 11 編】」は、「CADWe'll Tfas」をお使いいただく方のために、シートおよびレイアウトについてよくある質問などをまとめて掲載しております。

本書に書かれている事項をご自分で操作しながら、「CADWe'll Tfas」の動作・結果・機能を確認していただき、「CADWe'll Tfas」を幅広くご活用ください。

別冊の「シート・レイアウト運用ガイド【CADWe'll Tfas 11 編】」では、シートおよびレイアウト機能を活用した図面の作成方法について説明しておりますので、併せてご利用ください。

設備設計・施工業務に最適な「CADWe'll Tfas」を、是非ご使用のパソコンの常用ソフトとして末永くご活用ください。

株式会社 ダイテック

- 「CADWe'll Tfas 11」は株式会社ダイテックの商標であり、「CADWe'll Tfas 11」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- Microsoft, Windows, Windows 10, Windows 8.1, Windows 8, Windows 7, DirectX および Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国、日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載されている全ての社名、製品名はそれぞれの会社の登録商標または商標です。
- 本文中に™、®、©は明記していません。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

FAQ一覧

1 設定

Q1-1	図面の縮尺と違う縮尺のシートを作成するには	1
Q1-2	シートの縮尺を変更するには	2
Q1-3	シートを追加するには	3
Q1-4	シートタブの順序を変更するには	3
Q1-5	シート名称を変更するには	4
Q1-6	シートの設定を変更するには	5
Q1-7	シートの状態を変更するには	6
Q1-8	配置済みの図形と同じシートを作図シートに設定するには	8
Q1-9	複数のシートを選択するには	9
Q1-10	シートタブの文字サイズを変更するには	10
Q1-11	シート上の図形を単色で表示するには	11
Q1-12	シートの単色指定を一括で解除するには	12
Q1-13	シート上の図形を弱表示(線幅なしまたは点線で表示)するには	13
Q1-14	シートの弱表示(線幅なしまたは点線表示)指定を一括で解除するには	14
Q1-15	シートタブを強調表示するには	15
Q1-16	シートの状態によってシートタブの色、フォントを設定するには	16
Q1-17	既にあるレイアウトにビューポートを追加するには	17
Q1-18	ビューポートを多角形で指定するには	19
Q1-19	レイアウト名を変更するには	21
Q1-20	レイアウトの縮尺を変更するには	22
Q1-21	印刷倍率とは	23
Q1-22	ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名、シート名称等の文字サイズを変更するには	24
Q1-23	レイアウトからモデルへ簡単に切り替えるには	25
Q1-24	レイアウトを解除するには	25
Q1-25	レイアウトを解除すると図形はどうなりますか	26
Q1-26	レイアウトの用紙サイズを変更するには	27
Q1-27	用紙の方向を、モデルで「横置き」、レイアウトで「縦置き」に設定するには	28
Q1-28	1/60の全体図から1/30詳細図を作成するには	28
Q1-29	傾いた図面をレイアウトで水平に表示するには	29
Q1-30	ビューポートの重なった部分を非表示にするには	31
Q1-31	1つのビューポートで表示するシートを設定するには	32

2 表示

Q2-1	縮尺1/20のシートを追加したが、タイトルバーには1/50と表示されます	34
Q2-2	シートの縮尺を調べるには	34
Q2-3	シートの表示を1行表示/2行表示に切り替えるには	35
Q2-4	シート設定ダイアログを表示するには	36
Q2-5	シート上の図形の表示優先順位について	37

Q2-6	シート上の図形を選択できないようにするには	37
Q2-7	シートタブを好きな位置に追加できますか	37
Q2-8	シート上の建築図の色を薄く表示するには	37
Q2-9	シートを単色指定に設定しても表示が変わりません	38
Q2-10	シートを弱表示に設定しても表示が変わりません	38
Q2-11	カレントシートを単色で表示されないようにするには	38
Q2-12	カレントシートを弱表示で表示されないようにするには	39
Q2-13	シートの単色指定を設定している場合、補助線は何色で表示されますか	39
Q2-14	モデルのシートの単色指定をレイアウトのビューポートに反映するには	39
Q2-15	シートタブがたくさんあるときに、隠れて見えないシートタブを表示するには	40
Q2-16	シートタブを分類別にまとめるには	42
Q2-17	シート分類内の各シートの状態を変更するには	44
Q2-18	シート分類内にシートを追加するには	45
Q2-19	シート分類から指定したシートのみを除外するには	45
Q2-20	シート分類を解除するには	45
Q2-21	シートごとに図形を確認するには	46
Q2-22	モデルでビューポートの参照元を確認するには	46
Q2-23	ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名やシート名称を非表示にするには	47
Q2-24	レイアウトのビューポート枠を削除するには	47
Q2-25	レイアウトを削除するには	47
Q2-26	縮尺1/200のモデルから1/50のレイアウトを作成するとビューポートのシンボルの大きさはどうなりますか	48
Q2-27	縮尺1/50の図面で1/20のレイアウトを作成するとビューポートの文字が大きすぎます	48
Q2-28	ビューポートの位置・領域のサイズを変更するには	50
Q2-29	ビューポートに表示されない図形を表示するには	52

3 移動複写

Q3-1	シートを複写するには	54
Q3-2	図形や文字を別のシートに移動複写するには	55
Q3-3	図面間変換で「実寸」に設定しても図面間複写の際、図形の大きさが変わりません	56
Q3-4	モデルの図形をレイアウトに複写するには	56
Q3-5	レイアウトを複写するには	57
Q3-6	シート名称 [XXXX (1)] [XXXX (2)] の図形を別図面に複写すると、[XXXX (1)] にまとまってしまいます	58
Q3-7	別図面に図形を複写すると、同じシート名称 [XXXX] に複写されず、[XXXX (1)] が増えてしまいます	58
Q3-8	[シート機能] - [移動複写] を起動すると選択が解除されてしまいます	58
Q3-9	別のシートへの移動複写を「同じ大きさ」の設定で行うと部材情報はどうなりますか	59
Q3-10	図形を別のシートに移動すると部材が線分になってしまいます	59
Q3-11	別のビューポートが重なって、編集したいビューポートが指定できません	60

4 印刷

Q4-1	レイアウトを連続印刷するには	61
------	----------------	----

Q4-2	複数図面のレイアウトを一度に印刷するには	61
Q4-3	レイアウト内の図形の線幅を印刷で調整するには	62
Q4-4	複数のシートパターンを連続印刷するには	64

5 運用

Q5-1	シートを作成する時のポイント	65
Q5-2	1F図面のレイアウトやシートを2F図面で使用するには	65
Q5-3	1つのレイアウト図面に複数階の図面を作成するには	66
Q5-4	建築図の変更内容を比較するには	66
Q5-5	レイアウトに通り芯を複写するには	67
Q5-6	レイアウトにある2つのビューポートを通り芯の位置で合わせるには	68
Q5-7	Tfasで作ったシートパターンをCAPE2007製品で再現できますか	70
Q5-8	別図面にシートパターンを適用するには	70
Q5-9	登録したシートパターンの内容を確認・変更するには	72
Q5-10	シートパターン登録後に追加したシートをシートパターンに追加するには	74

6 図面登録

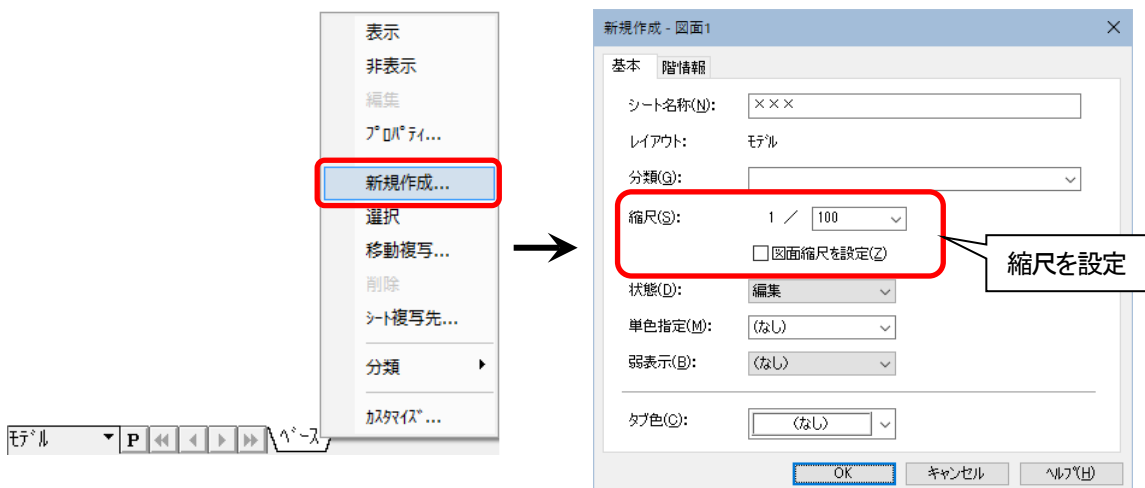
Q6-1	シートやレイアウトを図面として登録するには	75
Q6-2	レイアウトをTfas図面として登録すると図形はどうなりますか	76
Q6-3	シートやレイアウトをDXF・DWG形式の図面として保存するには	76
Q6-4	シートやレイアウトをjww形式の図面として保存するには	77
Q6-5	レイアウトを含むTfas図面をDXF・DWG形式で保存するとどうなりますか	77

1 設定

Q1-1 図面の縮尺と違う縮尺のシートを作成するには

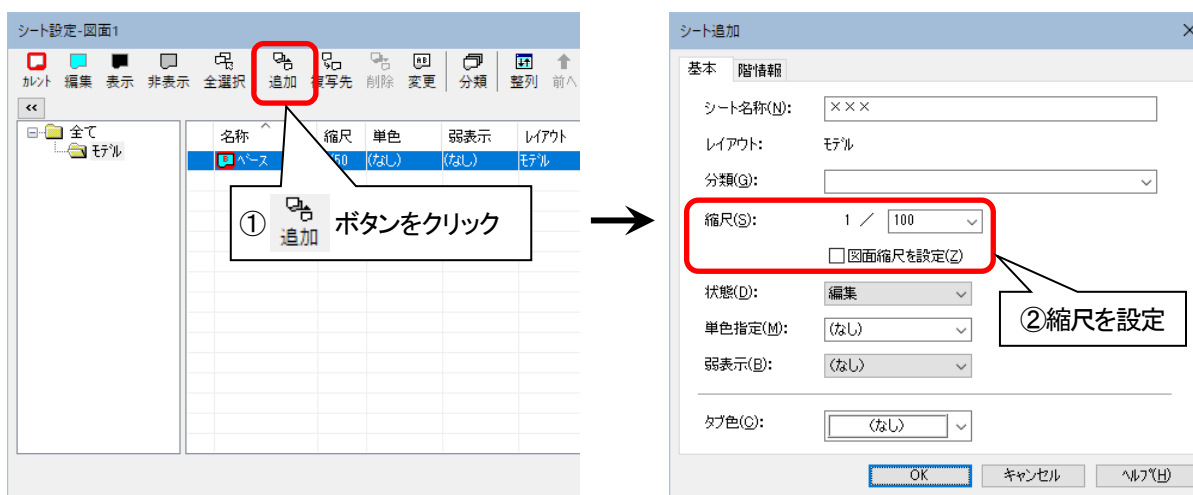
●方法①ー右クリックメニューの[新規作成]でシートを作成する

シート機能の[新規作成]で異縮尺のシートを追加することができます。
シートタブ上で右クリックし、[新規作成]を選択すると、[新規作成]ダイアログが表示されますので、[図面縮尺を設定]項目のチェックボックスをオフにして縮尺を設定します。



●方法②ーシート設定ダイアログでシートを作成する

[シート設定]にてシートを追加できます。
メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、
追加 ボタンをクリックしてシートを追加します。



🔍 [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン (🔍 ペース 1/50) または (🔍) や<シートパターン>ボタン (P) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

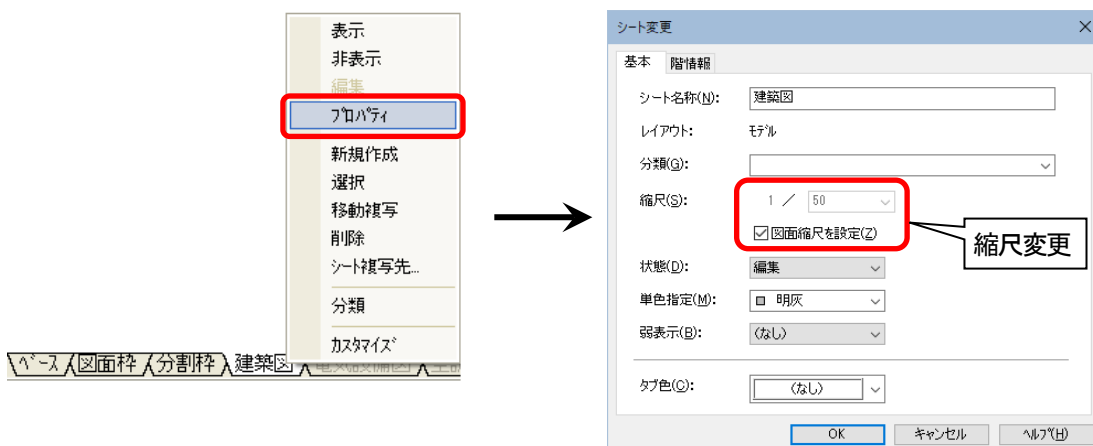
Q1-2 シートの縮尺を変更するには

●方法①ー右クリックメニューの[プロパティ]で縮尺を変更する

シート機能の[プロパティ]でシートの縮尺を変更できます。

シートタブ上で右クリックして[プロパティ]を選択し※、[シート変更]ダイアログにて縮尺を変更します。

(※)シートタブをダブルクリックしても可。




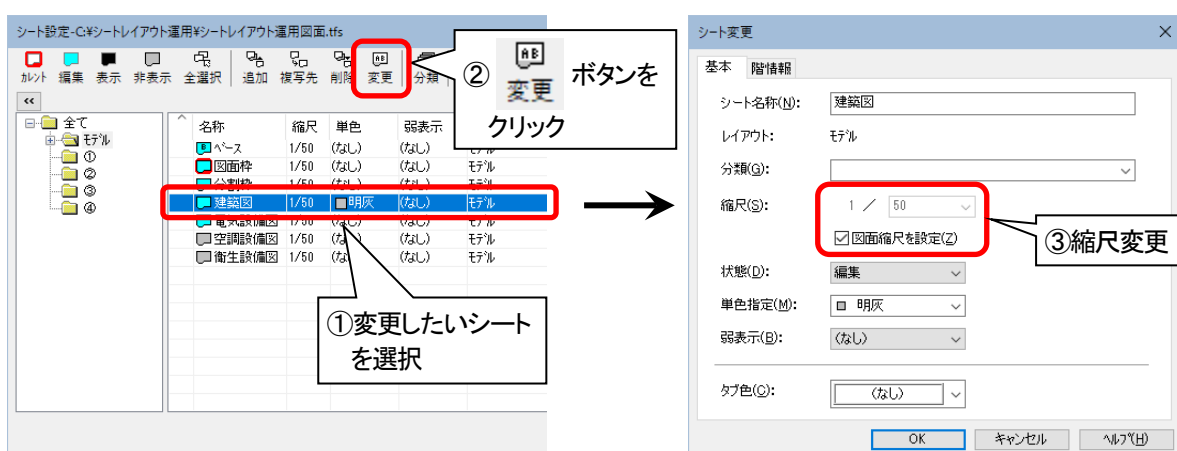
✓ [ベース]シート以外のシートは、[図面縮尺を設定]項目のチェックボックスがオンの場合、図面縮尺と同じ縮尺に設定されます。(図面縮尺([ベース]シートの縮尺)は、メニューバーの[ファイル]ー[用紙サイズ・縮尺設定]で設定しますので、シート機能の[プロパティ]では変更できません。)




✓ シートに図形がある場合、指定した縮尺に応じた大きさで図形が仮表示されますので、配置位置を指定します。仮表示位置(基準原点位置)のままでよい場合は<Enter>で確定します。

●方法②ーシート設定ダイアログで縮尺を変更する

[シート設定]でシートの縮尺を変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、 ボタンをクリックして縮尺を変更します。



✓ [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン( ベース 1/50 または )や<シートパターン>ボタン( P)を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

Q1-3 シートを追加するには

シートの[新規作成]で新規にシートを追加できます。

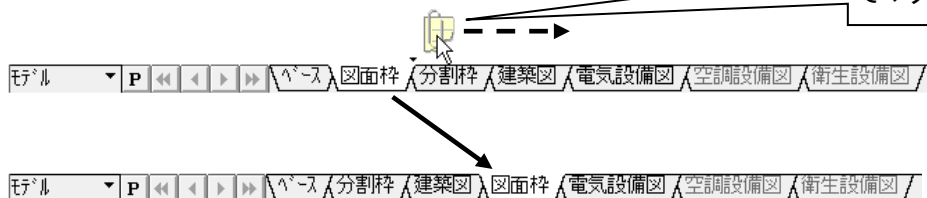
🔍 シートの作成方法は、「Q1-1 図面の縮尺と違う縮尺のシートを作成するには」を参照してください。

Q1-4 シートタブの順序を変更するには

●方法①—シートタブをドラッグして順序を変更する

移動したいシートタブをドラッグし、挿入したい位置まで移動させます。

シートタブ上でマウスの左ボタンを押したまま移動し、移動したい位置でマウスの左ボタンを離します



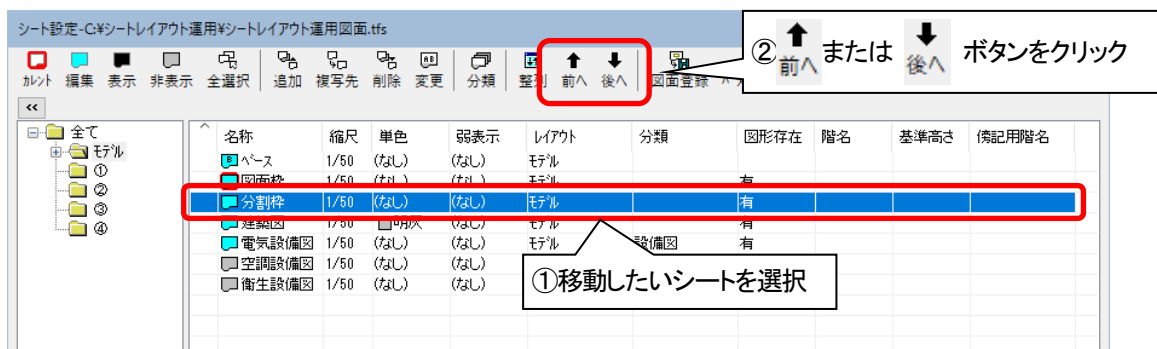
🔍 [ベース]シートの位置を変更することはできません。

●方法②—シート設定ダイアログでシートの順序を変更する

[シート設定]でシートタブの順序を変更できます。

メニューバーの[設定]—[シート機能]—[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、

↑ 前 または ↓ 後 ボタンをクリックしてシートの順序を変更します。



🔍 [ベース]シートの位置を変更することはできません。

🔍 [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン (📄 ベース 1/50 または 📄) やくシートパターンボタン (P) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

🔍 シートタブを 📄 整列 ボタンで名称順にソートする等して、一覧表示がシートタブ順になっていない場合は、↑ 前 または ↓ 後 ボタンで並び順を変更することはできません。

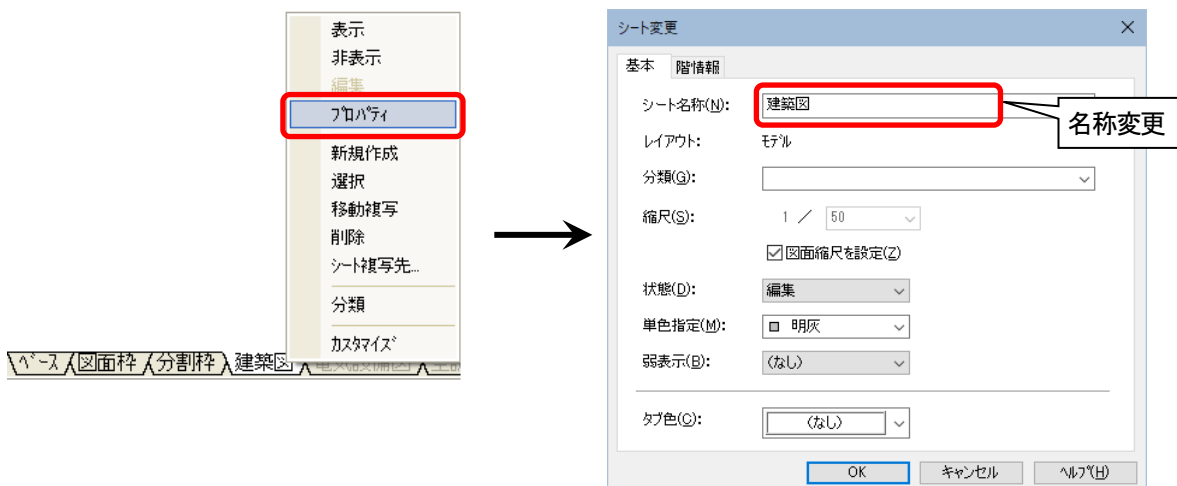
Q1-5 シート名称を変更するには

●方法①ー右クリックメニューの[プロパティ]でシート名称を変更する

シートの[プロパティ]でシート名称を変更できます。

シートタブ上で右クリックして[プロパティ]を選択し※、[シート変更]ダイアログにてシート名称を変更します。

(※)シートタブをダブルクリックしても可。



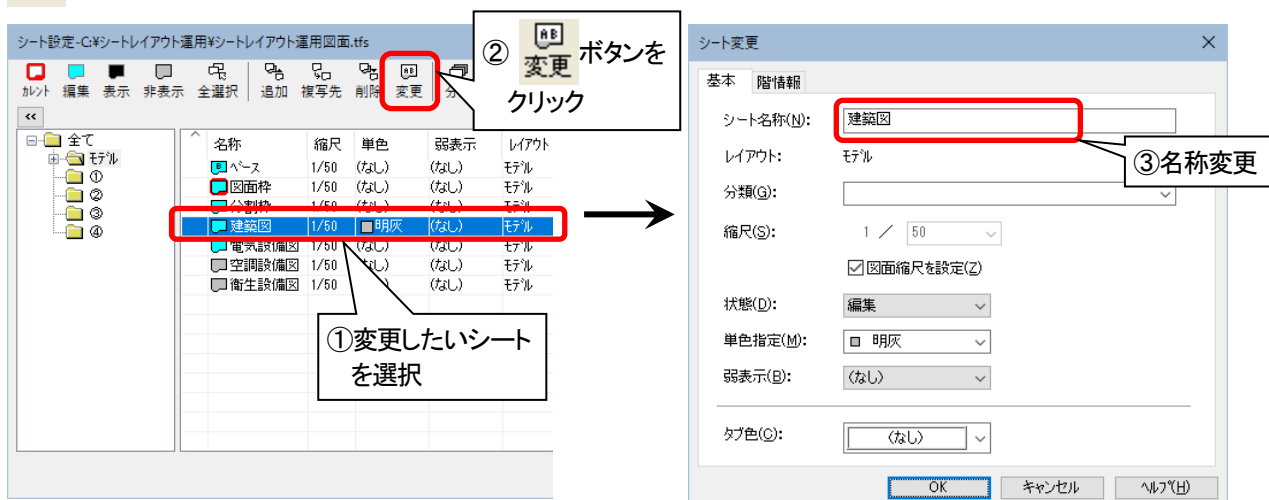
✔ シート名称については、「Q5-1 シートを作成する時のポイント」を参照してください。

●方法②ーシート設定ダイアログでシート名称を変更する

[シート設定]でシート名称を変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、

変更 ボタンをクリックしてシート名称を変更します。




✔ [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン ([B] 1/50 または [P]) や〈シートパターン〉ボタン ([P]) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

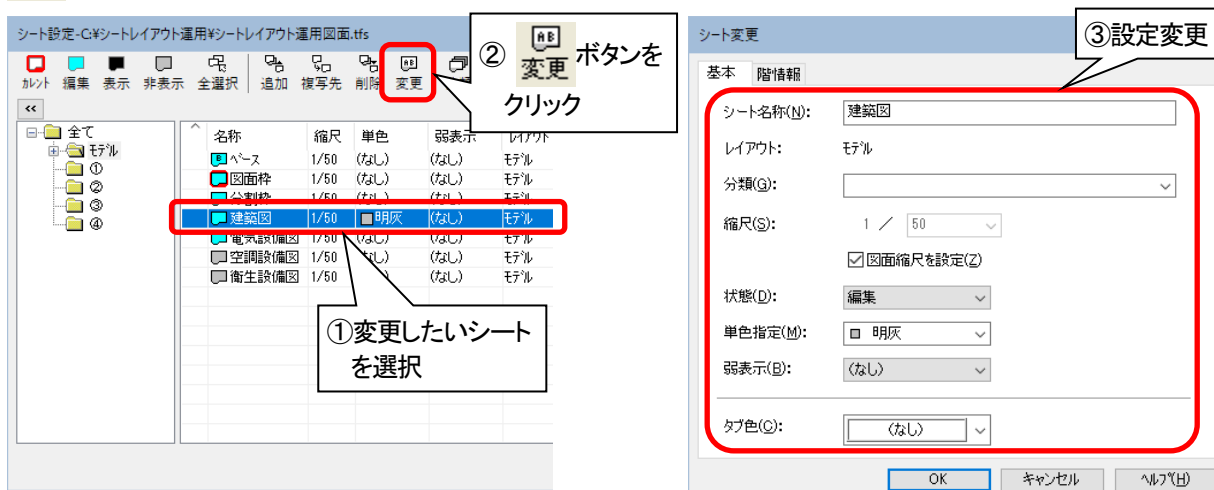
Q1-6 シートの設定を変更するには



●方法①ーシート設定ダイアログでシートの設定を変更する

[シート設定]でシートの設定を変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、

 ボタンをクリックしてシートの設定を変更します。



① [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン ( **ベース** 1/50) または ( **P**) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

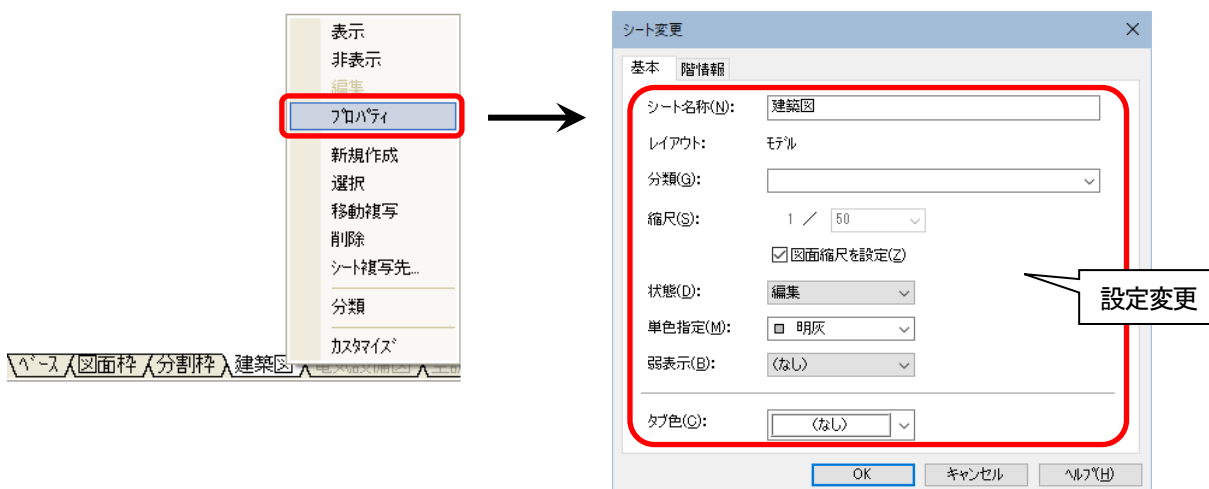
② シートを複数選択し、〈変更〉ボタンをクリックすると、シート名称以外の設定を一度に変更することもできます。シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

●方法②ー右クリックメニューの[プロパティ]でシートの設定を変更する

シートの[プロパティ]でシートの設定を変更できます。

シートタブ上で右クリックし、[プロパティ]を選択し※、[シート変更]ダイアログにて設定を変更します。




(※)シートタブをダブルクリックしても可。






Q1-7 シートの状態を変更するには

●方法①ーシート設定ダイアログでシートの状態を変更する

[シート設定]にてシートの状態を変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、シートを個別または複数選択し、   ボタンにて状態を変更します。

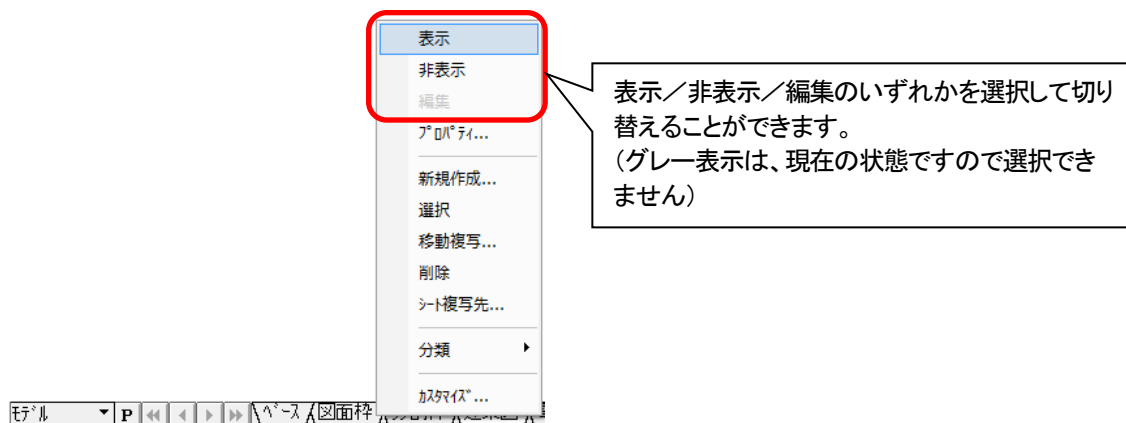


✔ [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン ( ベース 1/50 または ) やくシートパターン > ボタン ( P) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

✔ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

●方法②ー右クリックメニューでシートの状態を切り替える

変更したいシートタブ上で右クリックし、メニューからシートの状態を選択することができます。シートタブは個別または複数選択が可能です。



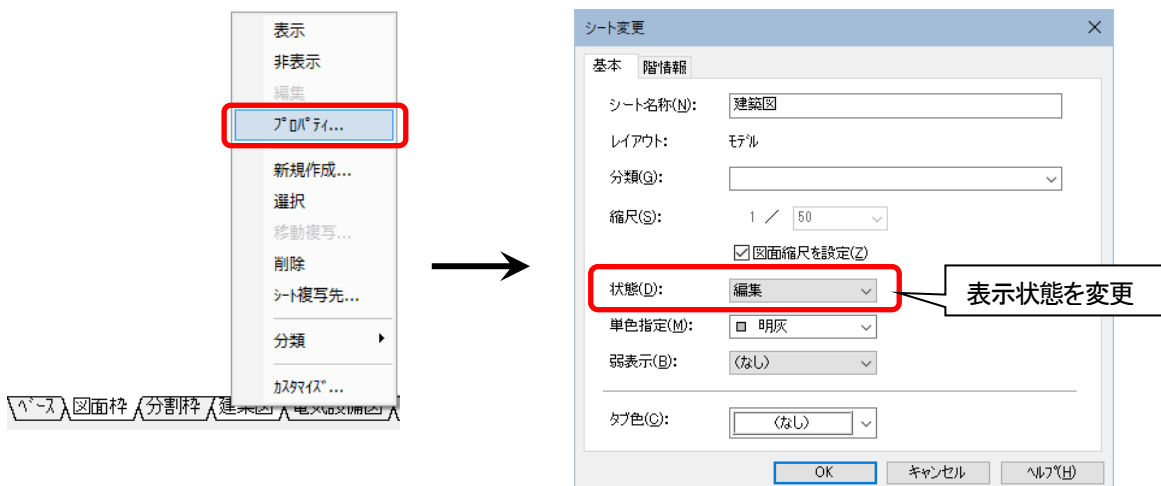
✔ 複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

●方法③ー右クリックメニューの[プロパティ]でシートの状態を変更する

シートの[プロパティ]でシートの状態を変更できます。

変更したいシートタブを個別または複数選択後、シートタブ上で右クリックし、[プロパティ]を選択して※、[シート変更]ダイアログにて表示状態を変更します。

(※)シートタブを個別選択する場合は、シートタブをダブルクリックしても可。

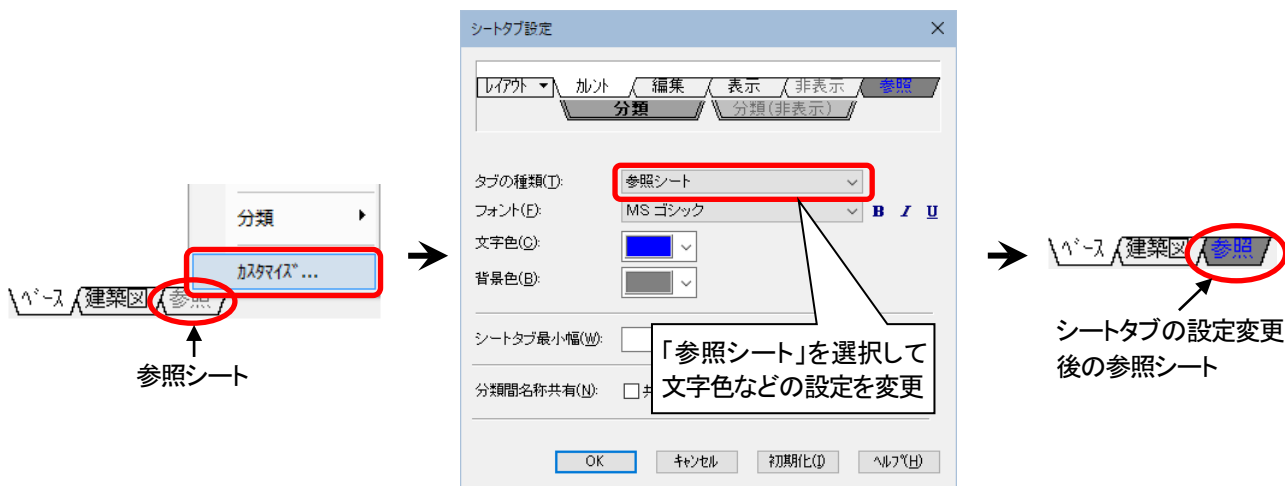


複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

●外部リンクの参照シートについて

外部リンクの参照シートは、右クリックメニューや[シート設定]ダイアログにてシートの状態を「編集」に切り替えることはできません。参照シートかどうかを確認するには、参照シートを右クリックして[プロパティ]を選択し、[シート変更]ダイアログにて[外部リンク]タブが表示されることを確認してください。

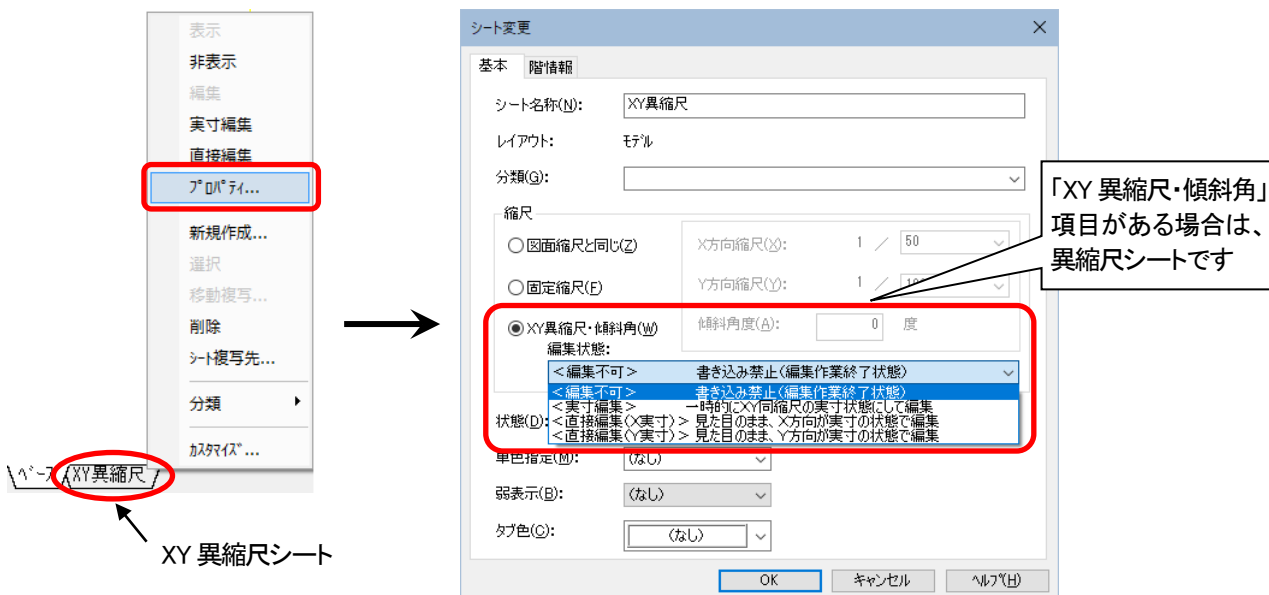
参照シートタブは、文字色や背景色などの属性を変更しておく他とのシートとの区別がつきやすくなります。シートタブの属性を変更するには、参照シートタブを右クリックして[カスタマイズ]を選択し、[タブの種類]を「参照シート」にして文字色などを変更します。



●XY 異縮尺シートについて


XY 異縮尺シートは、右クリックメニューや[シート設定]ダイアログからシートの状態を「編集」に切り替えることはできません。(ただし、右クリックメニューの「実寸編集」「直接編集」を選択、または[シート設定]ダイアログの「変更」にて編集することは可能)


シートが XY 異縮尺シートかどうかを確認するには、シートタブを右クリックして[プロパティ]を選択し、[シート変更]ダイアログの縮尺項目に「XY 異縮尺・傾斜角」があることを確認してください。



Q1-8 配置済みの図形と同じシートを作図シートに設定するには

●方法①ーカレント切替機能で作図シートを切り替える

 [シート機能ーカレント切替]アイコンをクリックし、図面上の図形をクリックすると、その図形が所属しているシートがカレントシート※に切り替わります。

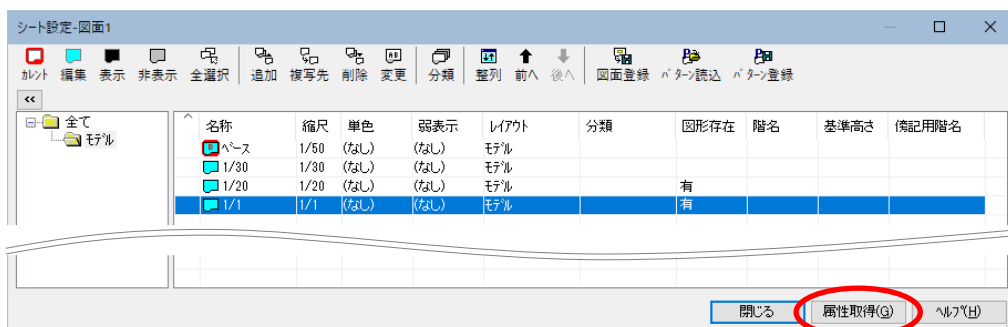
メニューバー、ツールバーにはこの機能は初期表示されていません。メニューバーの[表示]ー[ツールバーカスタマイズ]で[カスタマイズ]ダイアログの「設定」分類にある  アイコンをツールバーヘドラッグで追加してから機能を実行してください。




(※)カレントシートとは、作図、図形操作、表示が可能な状態のシートのことです。

●方法②ーシート設定ダイアログの属性取得で作図シートを切り替える

[シート設定]で作図シートを切り替えることができます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、<属性取得>ボタンをクリックし、図面上の図形をクリックします。



- ✓ [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン () または ) や〈シートパターン〉ボタン () を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

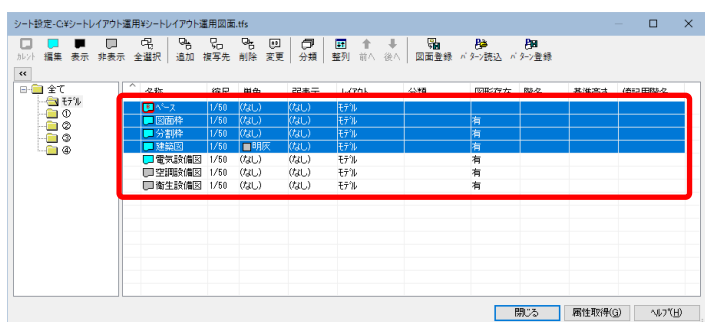
Q1-9 複数のシートを選択するには

シートタブや[シート設定]ダイアログに表示されたシート一覧は、複数選択が可能です。




シートタブ



[シート設定]ダイアログ内のシート一覧

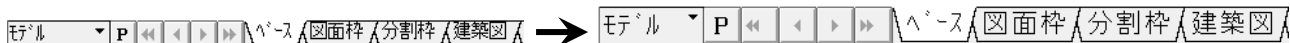


●複数選択の方法

〈Ctrl〉+〈左クリック〉	選択したいシートタブ（またはシート一覧のシート名称）を1つずつ個別に選択することができます。
〈Shift〉+〈左クリック〉	<p>選択範囲のシートタブ（またはシート一覧のシート名称）を左クリック、〈Shift〉+〈左クリック〉で指定すると、範囲内のシートタブ（またはシート一覧のシート名称）を一度に選択できます。</p> <p>例、[図面枠][分割枠][建築図]シートタブを選択する場合</p>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  ①[図面枠]シートタブを 左クリック </div> <div style="text-align: center;">  ②[建築図]シートタブを 〈Shift〉+〈左クリック〉 </div> </div>

- ✓ 選択したシートを解除する場合は、〈Ctrl〉+〈左クリック〉で個別に解除できます。

Q1-10 シートタブの文字サイズを変更するには



シートタブの文字サイズは、Windows コントロールパネルのスクロールバーの文字サイズの設定を参照しています。下記の手順にて文字サイズを変更し、Tfas を再起動すると、設定が反映されます。

- ① 文字サイズは、「17」前後が標準です。
- ② コントロールパネルの設定を変更すると、他のアプリケーションにも影響がありますのでご注意ください。

●サイズ変更手順

《Windows 7 の場合》

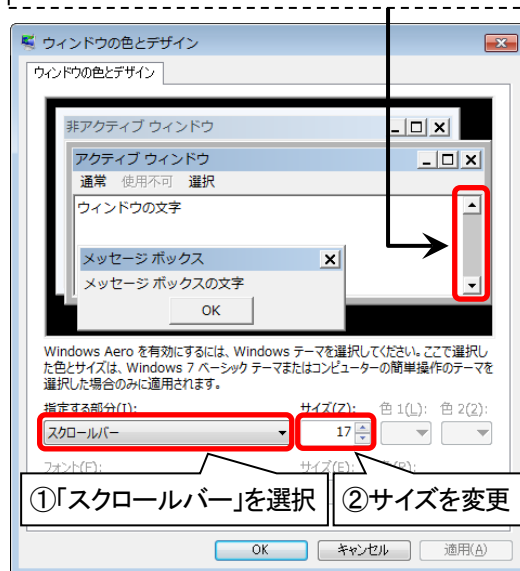
- ① コントロールパネル→「デスクトップのカスタマイズ」→「個人設定」→「ウィンドウの色」を選択。
- ② [ウィンドウの色とデザイン]画面にて[デザインの詳細設定]を選択。
- ③ [ウィンドウの色とデザイン]画面の[指定する部分]項目で「スクロールバー」を選択し、[サイズ]項目でサイズを変更して<適用>ボタンをクリック。
- ④ <OK>ボタンをクリックして画面を全て閉じる。

- ⑤ 手順②の画面は設定しているテーマにより画面が表示されない場合があります。

《Windows 8.1、Windows 8、Windows10 の場合》

コントロールパネルからスクロールバーのサイズ変更をすることはできません。

スクロールバーの部分をクリックすることで[指定する部分]項目を「スクロールバー」に設定することもできます。




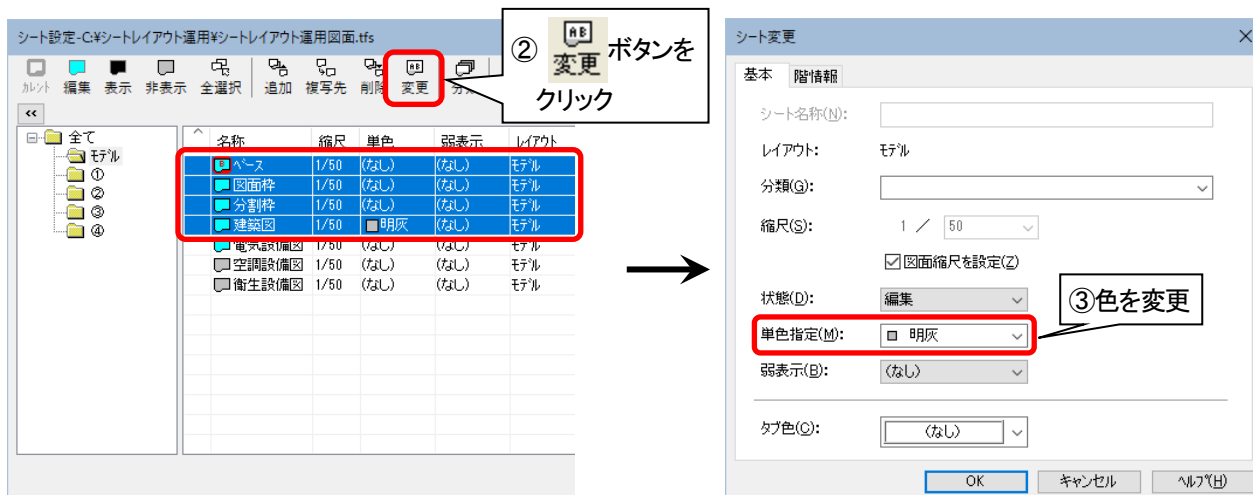
(Windows 7 の画面)




Q1-11 シート上の図形を単色で表示するには

●方法①ー【一括変更】複数シート上の図形を単色指定する

[シート設定]にて一括で変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、シートを選択して  ボタンをクリックし、[単色指定]項目の色を変更します。

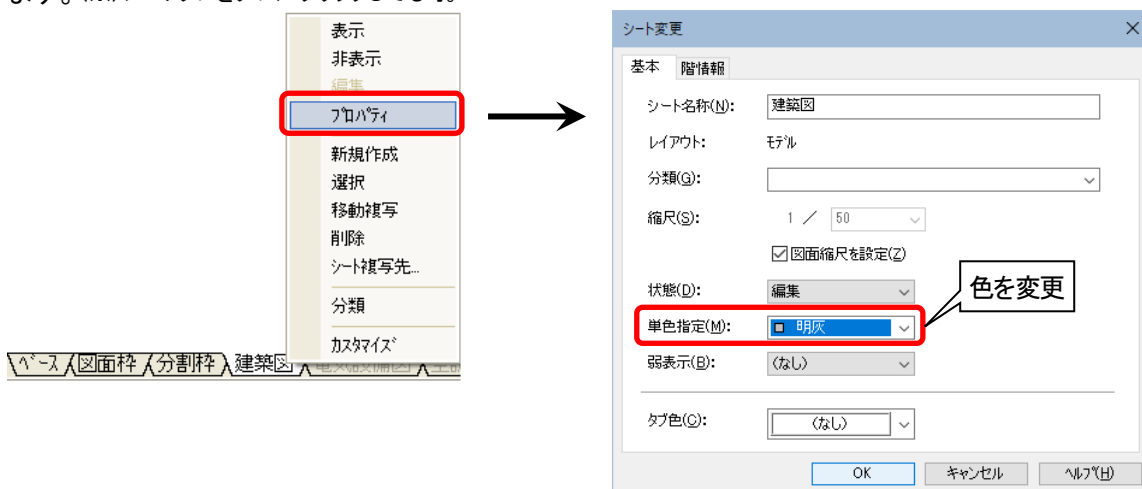


- ① [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン ( ベース 1/50 または ) や 〈シートパターン〉ボタン () を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)
- ② シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。
- ③ 初期設定ではカレントシートは単色表示されませんので、表示を確認する場合は、別のシートをカレントシートに切り替えてください。詳しくは、「Q2-9 シートを単色指定に設定しても表示が変わりません」を参照してください。
- ④ 単色指定した状態で印刷を行った場合、画面に表示されている色で印刷されます。
- ⑤ シートの単色指定とシートタブの色を同じに設定しておく、図形がどのシートに作図されているかを色で見分けることができます。シートタブの色設定については、「Q1-15 シートタブを強調表示するには」を参照してください。

●方法②ー【個別変更】 右クリックメニューから個別にシート上の図形を単色指定する

シートの[プロパティ]で変更できます。

シートタブ上を右クリックし、**[プロパティ]**を選択し※、**[シート変更]**ダイアログにて**[単色指定]**項目の色を変更します。(※)シートタブをダブルクリックしても可。

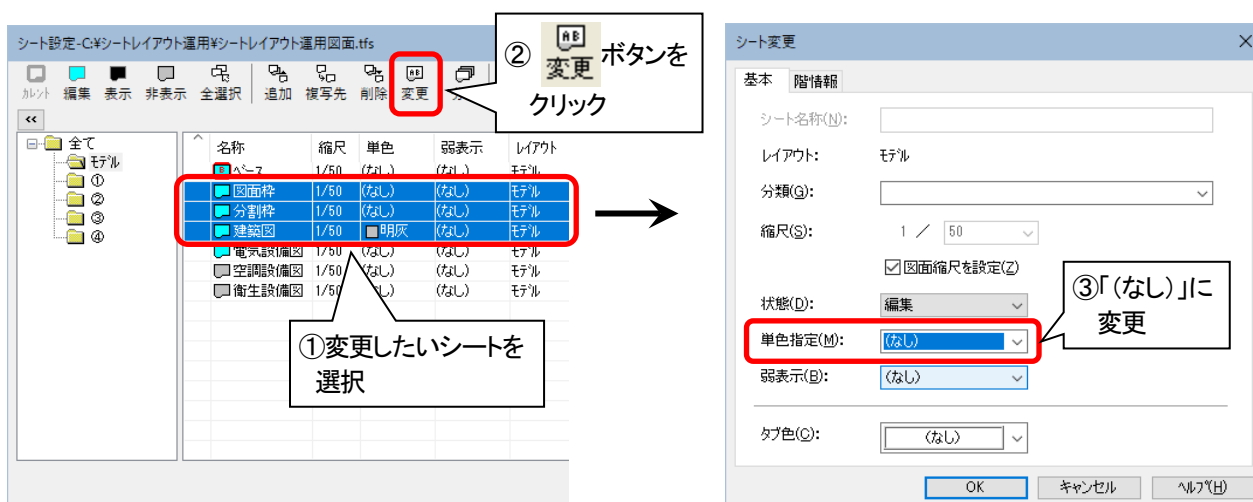


シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

Q1-12 シートの単色指定を一括で解除するには

[シート設定]にて一括で解除できます。

「Q1-11 シート上の図形を単色で表示するには」と同様の方法で**[シート設定]**ダイアログを表示し、**[単色指定]**項目の設定を「(なし)」にします。




[シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン () または) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

Q1-13 シート上の図形を弱表示(線幅なしまたは点線で表示)するには

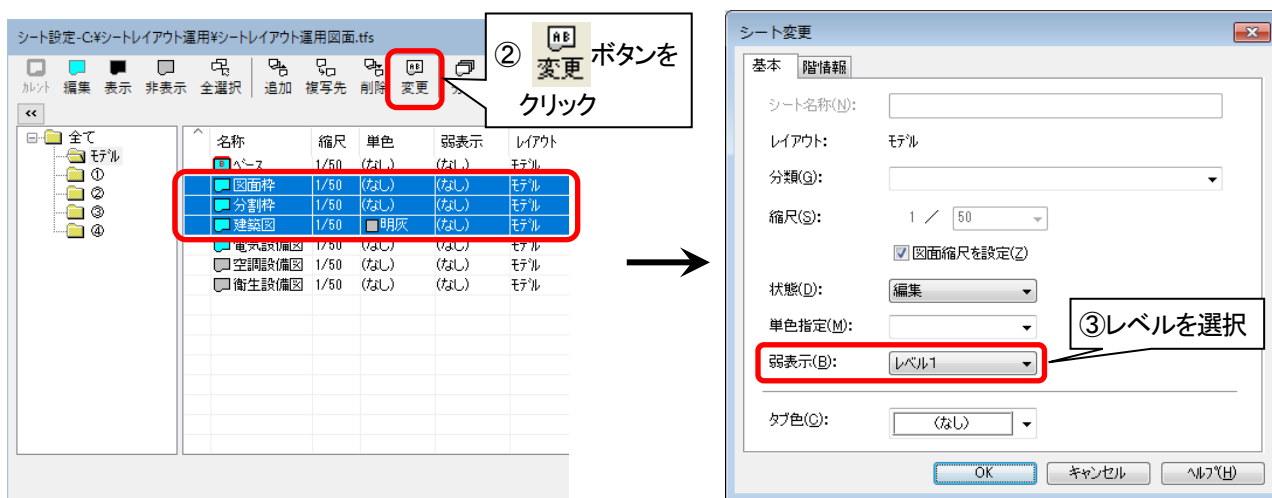
●方法①―【一括変更】複数シート上の図形を弱表示する





[シート設定]にて一括で変更できます。

メニューバーの[設定]―[シート機能]―[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、シートを選択して  ボタンをクリックし、[弱表示]項目のレベル(レベル 1/レベル 2)を選択します。

✔ 「レベル 1」は、図形を線幅なしで表示します。「レベル 2」は、線幅なしに加えて点線で表示します。

✔ 図形の線種が 2～5 で通常線幅の場合、弱表示の設定は反映されません。



✔ [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン()または  または ) や <シートパターン>ボタン() を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

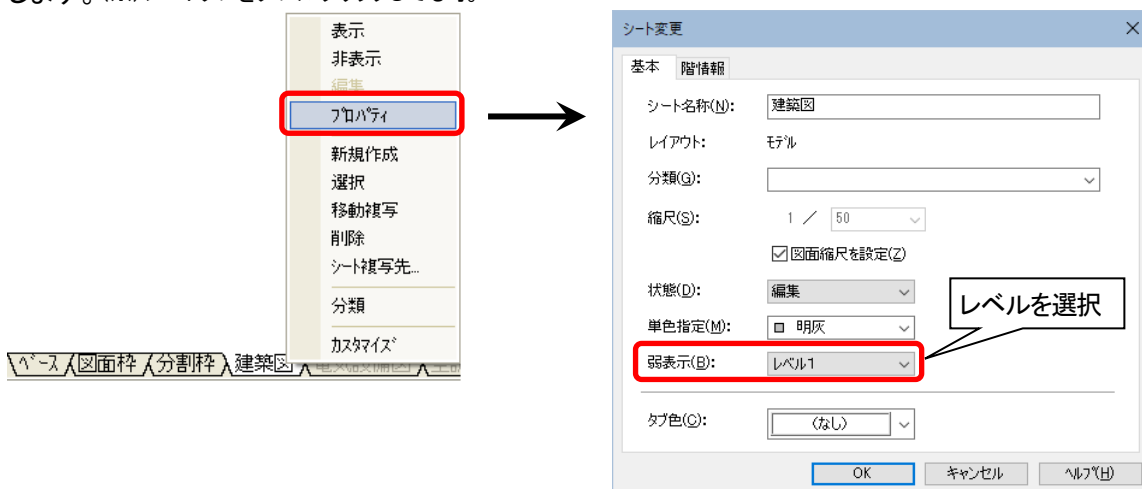
✔ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

✔ 初期設定ではカレントシートは弱表示されませんので、表示を確認する場合は、別のシートをカレントシートに切り替えてください。詳しくは、「Q2-10 シートを弱表示に設定しても表示が変わりません」を参照してください。

●方法②―【個別変更】 右クリックメニューから個別にシート上の図形を弱表示する

シートの[プロパティ]で変更できます。

シートタブ上を右クリックし、**[プロパティ]**を選択し※、**[シート変更]**ダイアログにて**[弱表示]**項目のレベルを選択します。(※)シートタブをダブルクリックしても可。

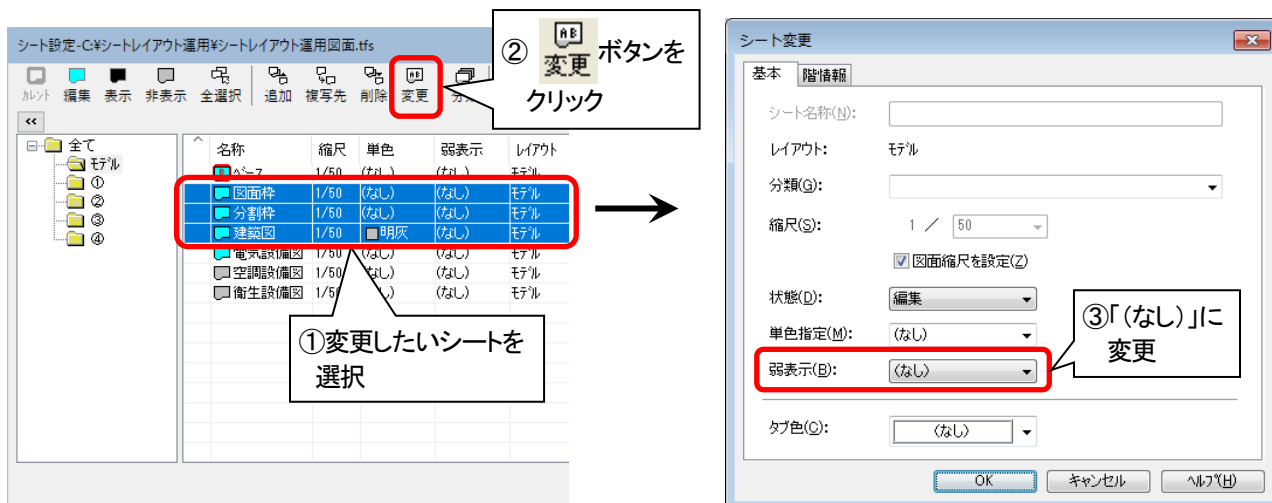


シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

Q1-14 シートの弱表示(線幅なしまたは点線表示)指定を一括で解除するには

[シート設定]にて一括で解除できます。

「Q1-13 シート上の図形を弱表示(線幅なしまたは点線で表示)するには」と同様の方法で**[シート設定]**ダイアログを表示し、**[弱表示]**項目の設定を「(なし)」にします。



①変更したいシートを選択

② 変更 ボタンをクリック

③「(なし)」に変更

シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

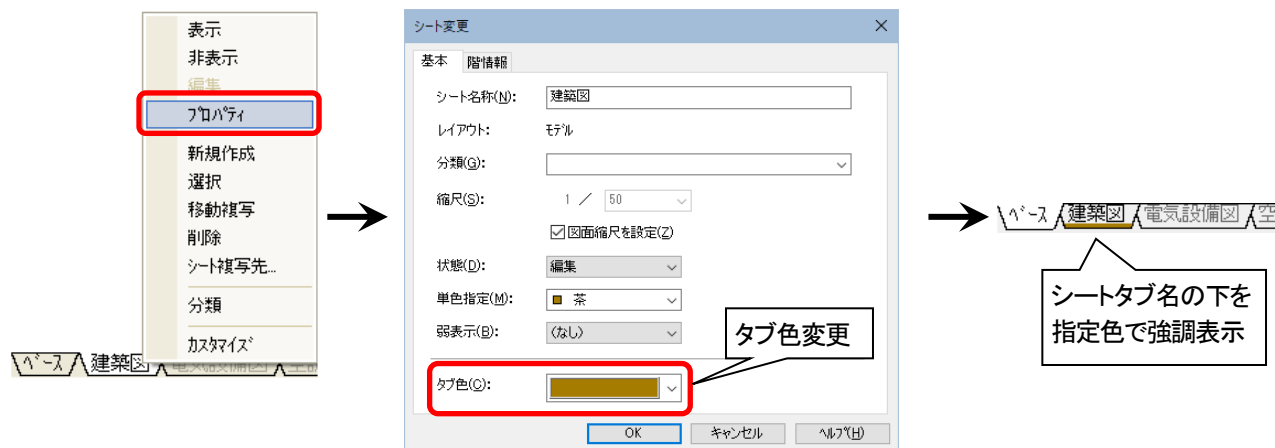
Q1-15 シートタブを強調表示するには

●方法①ー右クリックメニューの[プロパティ]でシートタブの色を変更する

シート機能の[プロパティ]でシートタブの色を変更することができます。

シートタブ上で右クリックして[プロパティ]を選択し※、[シート変更]ダイアログにてタブ色を変更します。

(※)シートタブをダブルクリックしても可。



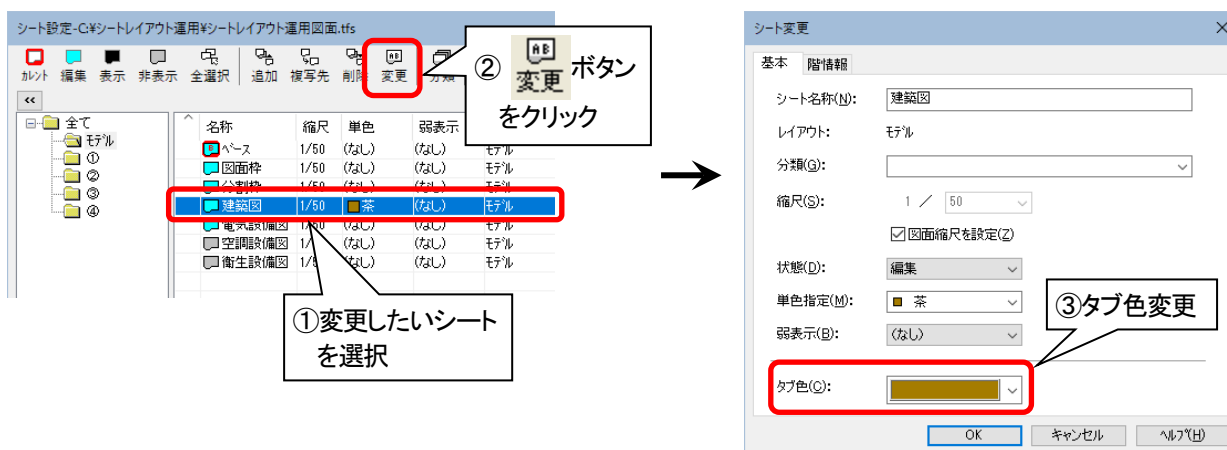
単色指定とタブ色を同じ色に設定しておく、図形がどのシートに作図されているかが色で見分けやすくなります。[タブ色]項目から「単色指定と同じ」を選択することもできます。

●方法②ーシート設定ダイアログでシートタブの色を変更する

[シート設定]でシートタブの色を変更できます。

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、

変更 ボタンをクリックしてタブ色を変更します。

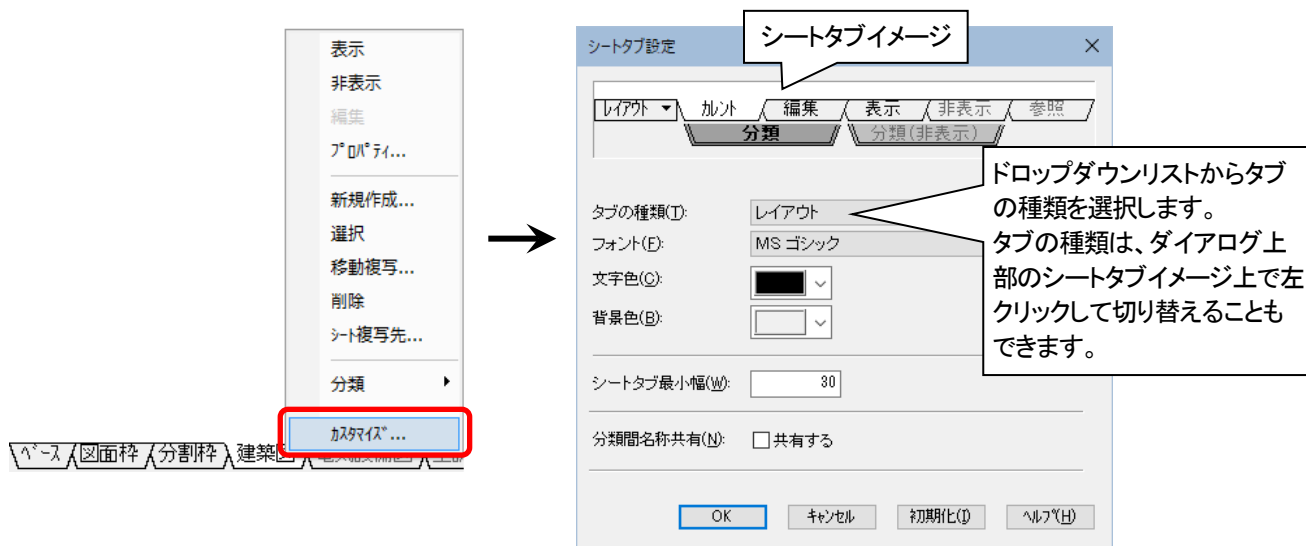


[シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン (P) または (1/50) または (A) やくシートパターン >ボタン (P) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

Q1-16 シートの状態によってシートタブの色、フォントを設定するには

シートの[カスタマイズ]で設定できます。

シートタブ上で右クリックし、[カスタマイズ]を選択すると、[シートタブ設定]ダイアログが表示されますので、タブの種類ごとに設定します。



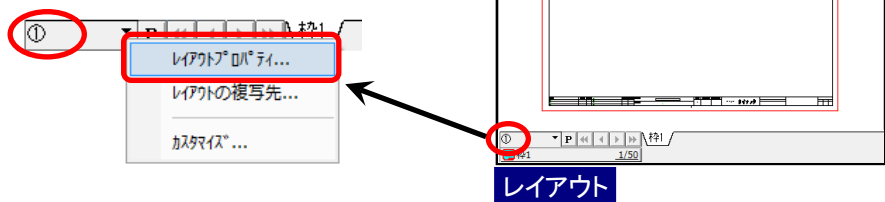
🔒 ログインユーザごとに設定が保持されますので、他の図面を開いたときも同じ設定が適用されます。

Q1-17 既にあるレイアウトにビューポートを追加するには

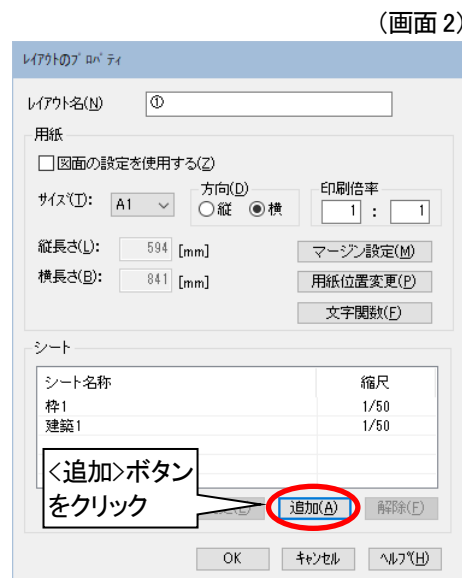
【レイアウトプロパティ】でビューポートを追加することができます。

●ビューポートの追加手順

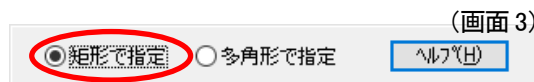
- ①<レイアウト>ボタンを右クリックし、【レイアウトプロパティ】を選択。(画面 1)



- ②【レイアウトのプロパティ】ダイアログが表示されますので、<追加>ボタンをクリック。(画面 2)

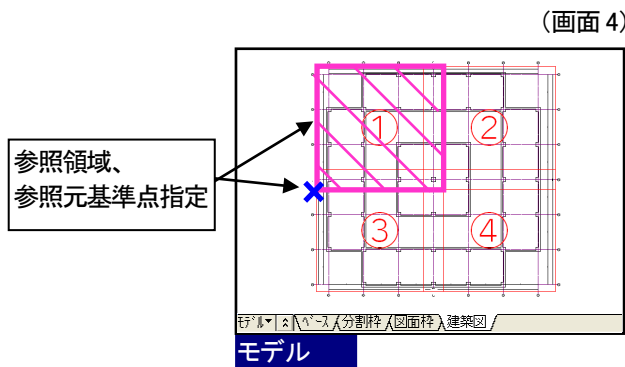


- ③ビューポート枠の形状を指定。
ここでは、「矩形で指定」を選択。(画面 3)

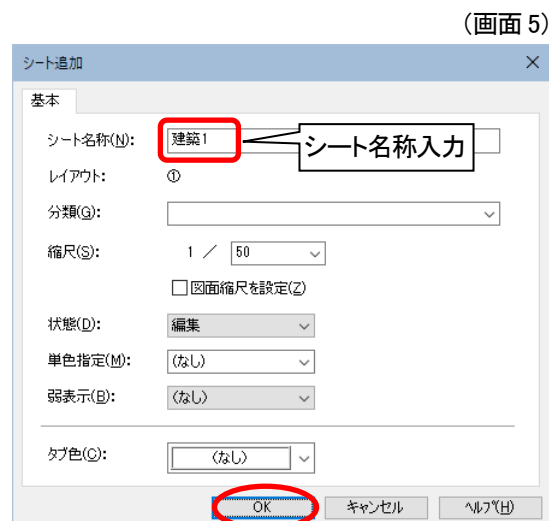


- ④モデルで参照する領域を対角指定し、
ビューポートの参照元基準点を指定。(画面 4)

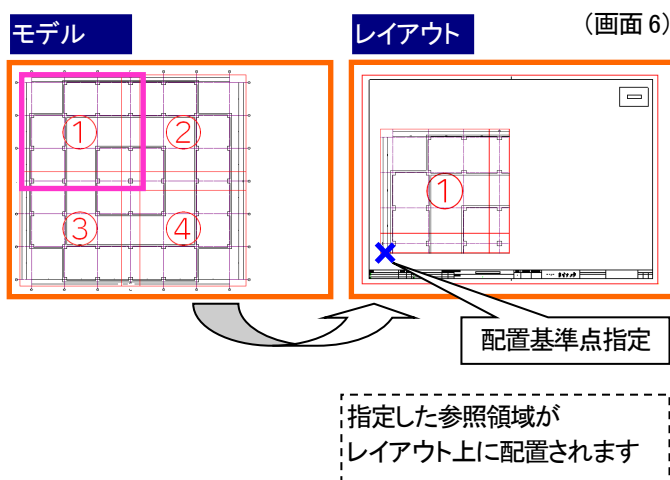
- ④ ビューポートの参照元基準点は、<Enter>で参照領域の左下、<Shift>+<Enter>で参照領域の中心とすることができます。



- ⑤[シート追加]ダイアログが表示されますので、ビューポートの参照先シート名称等を設定し、<OK>ボタンをクリック。(画面 5)



- ⑥ビューポートの配置基準点を指定。(画面 6)



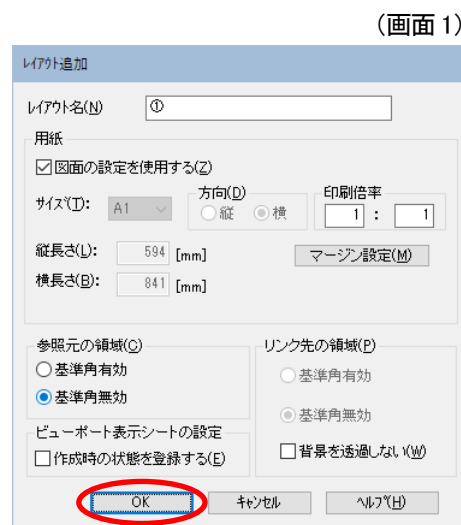
Q1-18 ビューポートを多角形で指定するには

Tfas6 以降の製品では、シート機能の[レイアウト作成]または[レイアウト編集]、[レイアウトのプロパティ]でビューポートを作成・追加する際にビューポートの形状(矩形・多角形)を指定することができます。

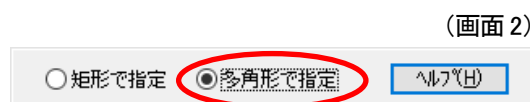
- ✔ Tfas V 以前の製品では、ビューポートを多角形で指定することはできません。対角で指定してください。
- ✔ Tfas V 以前の製品で多角形ビューポートのある図面を展開した場合は、外接している矩形でビューポートが表示されます。

●レイアウト作成でビューポートを多角形指定する手順

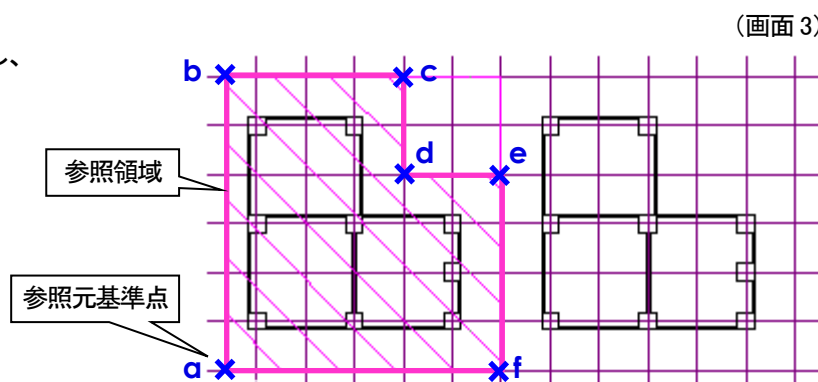
- ①メニューバーの[設定]－[シート機能]－[レイアウト作成]をクリック。
- ②[レイアウト追加]ダイアログが表示されますので、レイアウト名、用紙サイズ等を指定し、<OK>ボタンをクリック。
(画面 1)



- ③ビューポート枠の形状を指定。
ここでは、「多角形で指定」を選択。(画面 2)



- ④モデルで参照する領域(a~f)を指定し、<Enter>で終了。(画面 3)

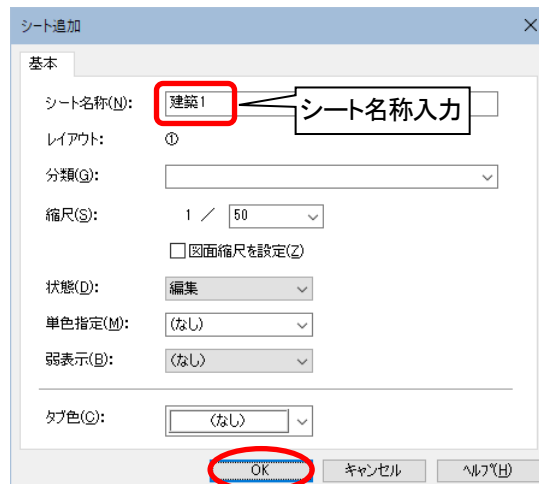


- ⑤ビューポートの参照元基準点を指定。(画面 3)

- ✔ ビューポートの参照元基準点は、<Enter>で参照領域の左下、<Shift>+<Enter>で参照領域の中心とすることができます。

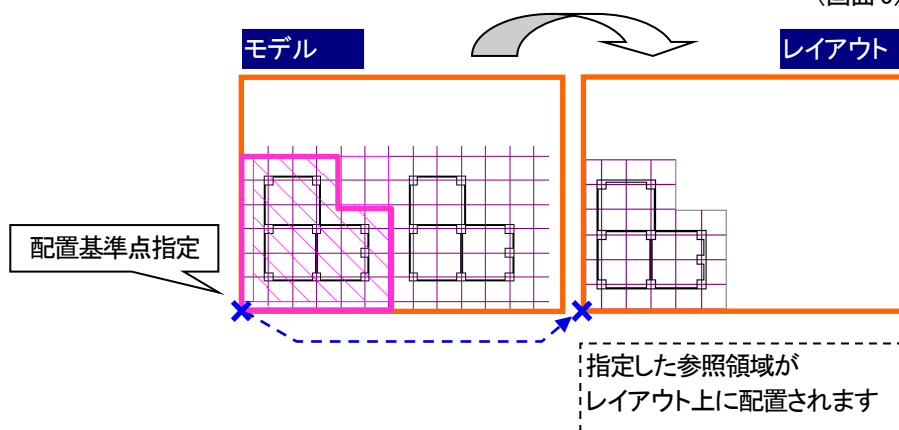
(画面 4)

- ⑥[シート追加]ダイアログが表示されますので、ビューポートの参照先シート名称等を設定し、<OK>ボタンをクリック。(画面 4)



- ⑦モデルでビューポートの配置基準点を指定。
(画面 5)

(画面 5)

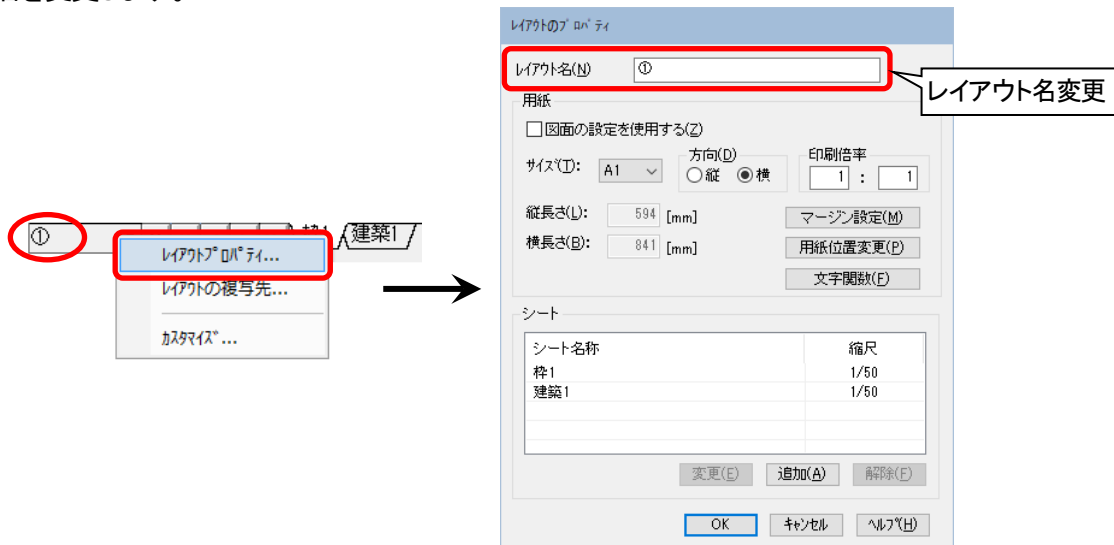


- ⑧<Enter>でビューポート作成を終了。

Q1-19 レイアウト名を変更するには

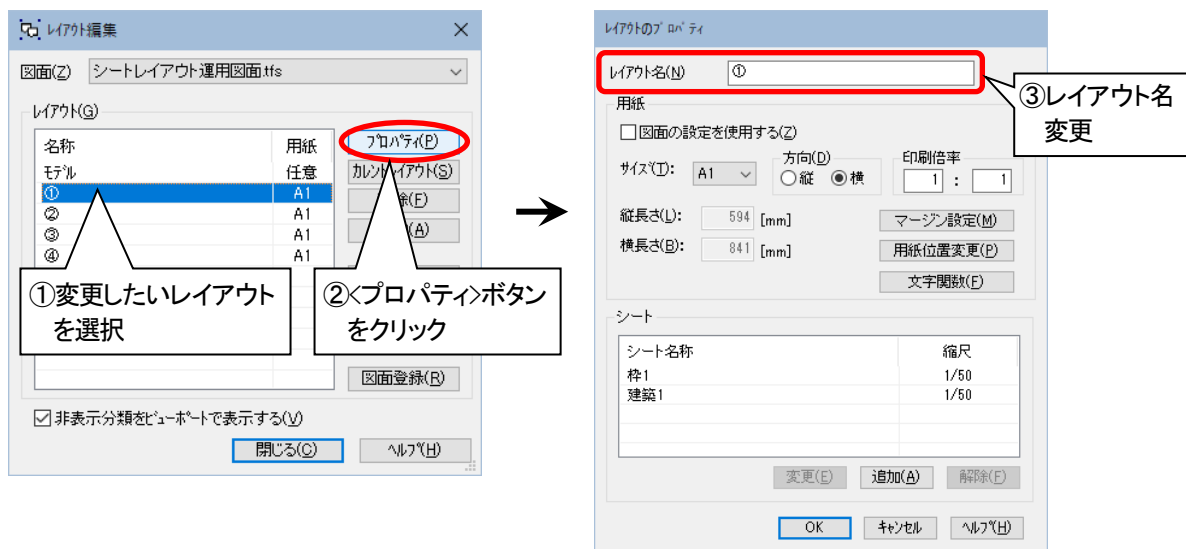
[レイアウトプロパティ]で変更できます。

＜レイアウト＞ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択して、[レイアウトのプロパティ]ダイアログにてレイアウト名を変更します。




☑メニューバーの[設定]－[シート機能]－[レイアウト編集]でも変更できます。

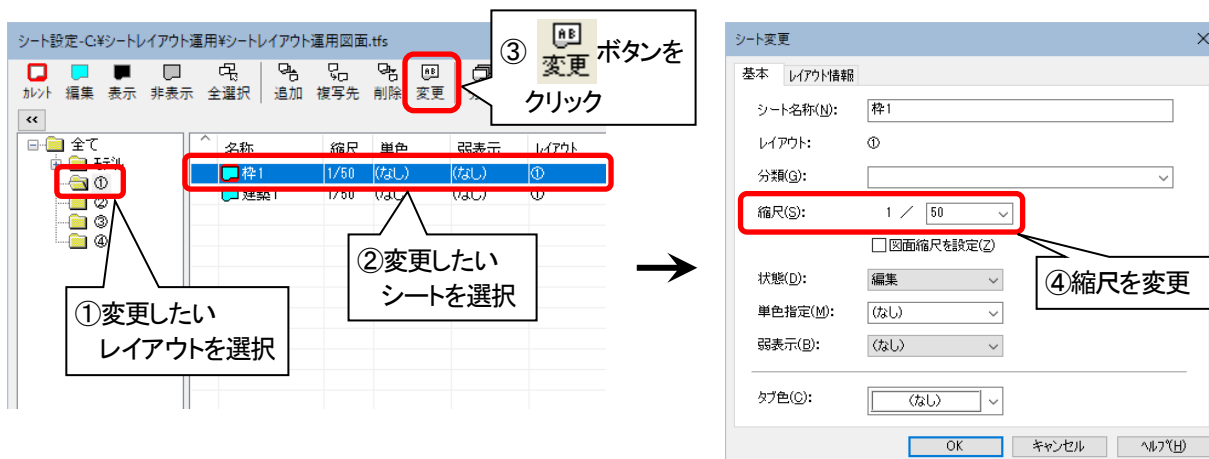
[レイアウト編集]ダイアログにて変更したいレイアウトを選択後、＜プロパティ＞ボタンをクリックして、[レイアウトのプロパティ]ダイアログでレイアウト名を変更します。



Q1-20 レイアウトの縮尺を変更するには

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[設定]で変更できます。

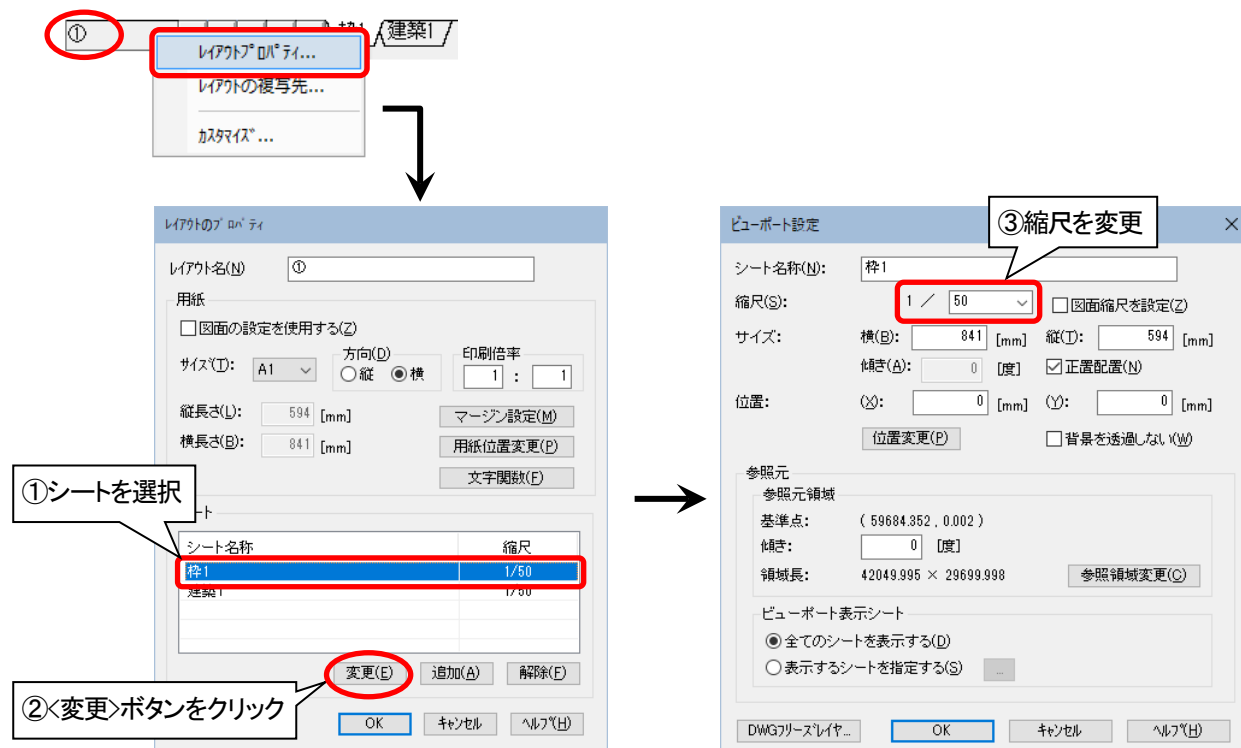
[シート設定]ダイアログにて[レイアウト]項目から変更したいレイアウトを選択し、一覧から変更したいシートを選択後、 ボタンをクリックして[シート変更]ダイアログの[縮尺]項目で縮尺を設定します。



✔ シートに図形がある場合、指定した縮尺に応じた大きさに図形が仮表示されますので、配置位置を指定します。仮表示位置(基準原点位置)のままでよい場合は<Enter>で確定します。

✔ 直接シートタブ上で右クリックして[プロパティ]を選択※し、[シート変更]ダイアログにて縮尺を変更することもできます。(※)シートタブをダブルクリックしても可。

✔ 上記以外に、<レイアウト>ボタンを右クリックして[レイアウトプロパティ]を選択し、[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて変更する方法もあります。



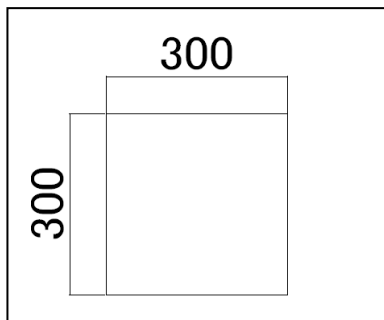
Q1-21 印刷倍率とは

印刷倍率とは、DWG の「印刷尺度」に相当するものです。

印刷尺度が設定されている DWG 図面を Tfas で読み込むと、[レイアウトのプロパティ]ダイアログの[印刷倍率]に DWG の印刷尺度が設定されます。

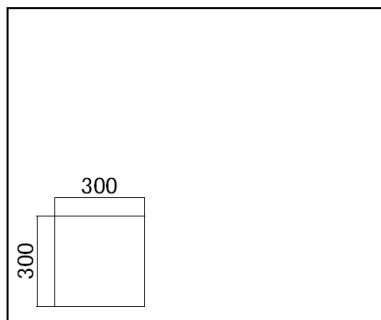
例えば、[印刷倍率]が「1:2」のレイアウトを作成した場合、1/2 の大きさに図形が印刷されます。

■印刷倍率「1:1」の場合



印刷時に 1/1 の大きさに出力

■印刷倍率「1:2」の場合



印刷時に 1/2 の大きさに出力

☑ [印刷倍率]で縮尺を設定していると、線幅や線種ピッチが正しく表示されない場合がありますので、[印刷倍率]を「1:1」に変更し、各シートの[縮尺]を設定することをお勧めします。

印刷倍率

縮尺

→

印刷倍率を「1:1」に変更

縮尺を「1/50」に変更

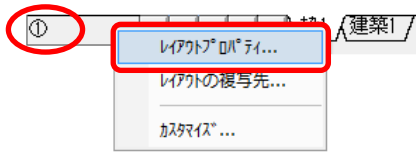
設定を変更

【例】DWG の印刷尺度が「1/50」の場合
印刷倍率は「1:50」に設定されます

印刷倍率「1:1」、縮尺「1/50」の設定を推奨

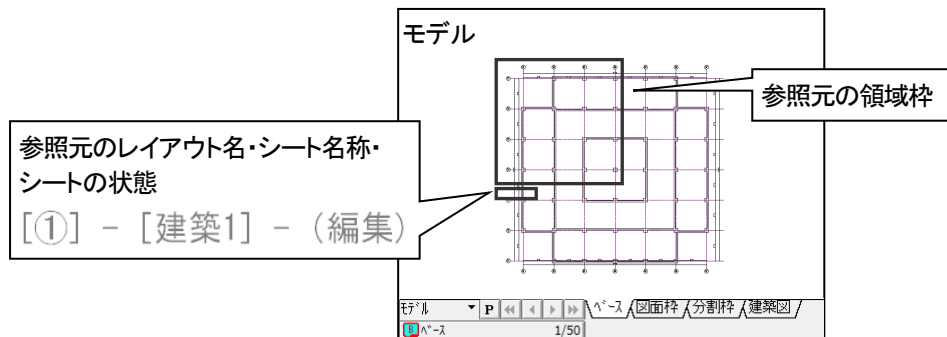
☑ 印刷倍率により、線幅が異なって表示・印刷される場合は、メニューバーの[設定]—[環境設定]の[環境設定]ダイアログで[表示・印刷]タブの「印刷倍率に関係なく線幅を固定する」をオンにすると、モデルと同じ線幅で印刷されます。ただし、画面上の表示は変わりません。

- ① [レイアウトのプロパティ]ダイアログは、<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択すると表示されます。



Q1-22 ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名、シート名称等の文字サイズを変更するには

メニューバーの[基本図形]－[文字]－[設定]の[文字属性設定]ダイアログ([基本]タブ)にて、現在の文字サイズを変更すると、表示される文字サイズを設定することができます。



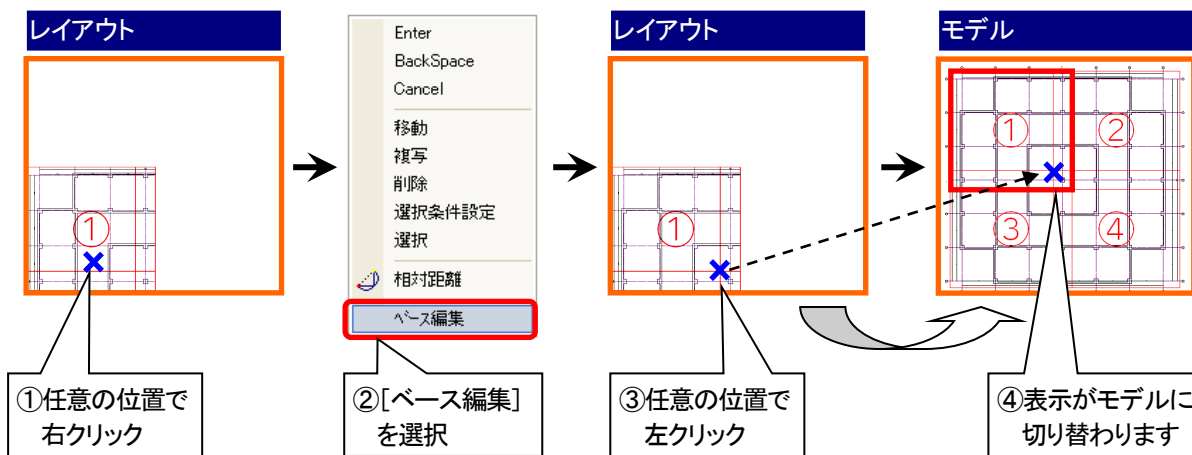
- ① ビューポートの参照元の領域枠やレイアウト名、シート名称等は、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[参照元表示]で表示／非表示の切り替えが可能です。表示状態の時は、メニュー名の先頭に ☒ が付きます。(☒ 参照元表示)
- ① ビューポートの参照元の確認は、「Q2-22 モデルでビューポートの参照元を確認するには」を参照してください。

Q1-23 レイアウトからモデルへ簡単に切り替えるには

[ベース編集]で切り替えができます。

レイアウトがカレントの時に、図面ウィンドウ内で右クリックし、[ベース編集]を選択します。

カレントシートのビューポート内をクリックまたは<Enter>を入力すると、モデルのカレントシートに切り替わります。

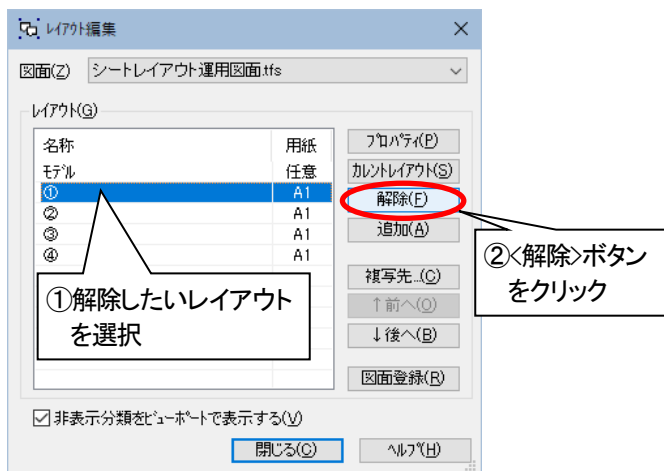


🕒 モデルのマウスカーソルの位置は、レイアウトでクリックした位置(手順③)と同じ場所に移動します。

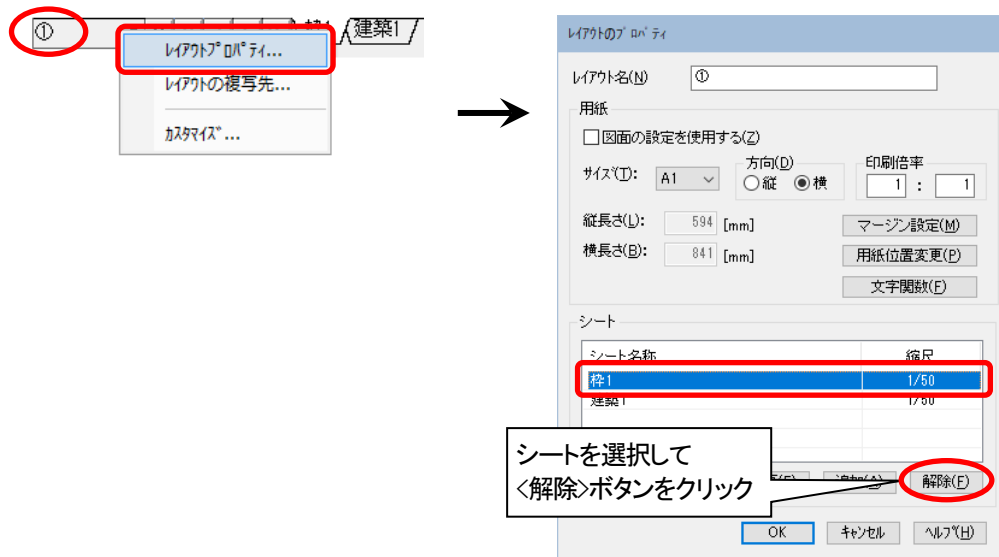
Q1-24 レイアウトを解除するには

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[レイアウト編集]で解除できます。

[レイアウト編集]ダイアログが表示されますので、解除したいレイアウトを選択して、<解除>ボタンをクリックします。



- ✓ レイアウト上のシートを個別に解除する場合は、<レイアウト>ボタンを右クリックして[レイアウトプロパティ]を選択し、[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて解除する方法もあります。



- ✓ レイアウトを削除する場合は、「Q2-25 レイアウトを削除するには」を参照してください。

Q1-25 レイアウトを解除すると図形はどうなりますか

レイアウト解除後、レイアウト内の図形は、シート構成を保持したままモデルに移動します。
この時、部材等の図形は「グループ図形」になります。

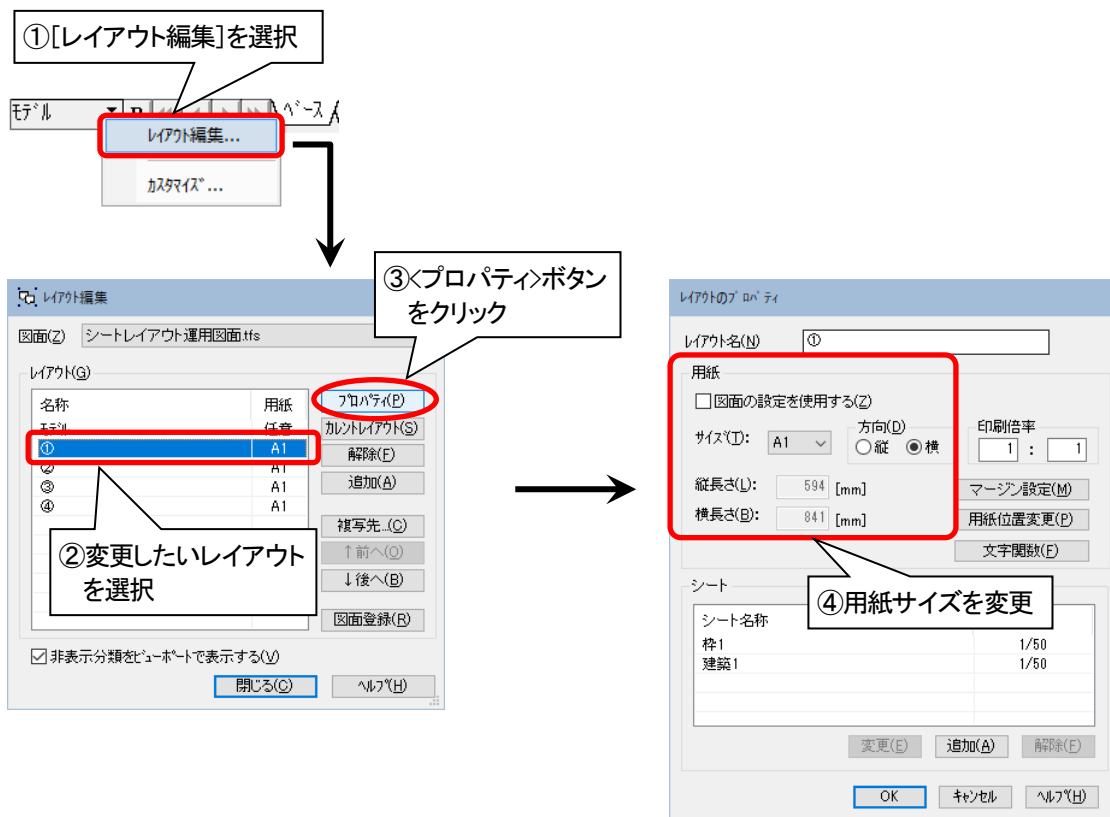
- ✓ レイアウトの解除方法については、「Q1-24 レイアウトを解除するには」を参照してください。

Q1-26 レイアウトの用紙サイズを変更するには

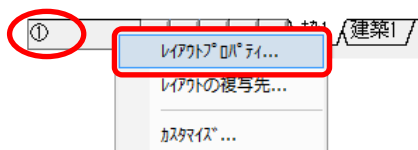
[レイアウト編集]のプロパティで変更できます。

(モデルが表示された状態で)〈レイアウト〉ボタンを右クリックし、[レイアウト編集]を選択します。

[レイアウト編集]ダイアログが表示されますので、変更したいレイアウトを選択後、〈プロパティ〉ボタンをクリックし、[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて用紙サイズを変更します。[図面の設定を使用する]項目をオフにすると、レイアウトごとに用紙サイズが設定できます。



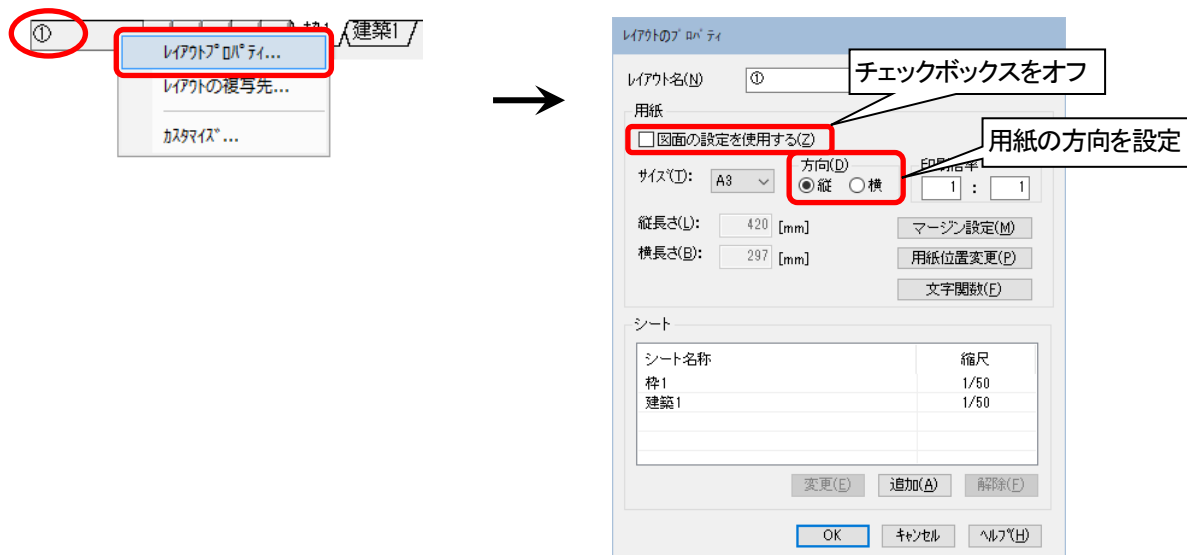
🔍 カレントレイアウトの用紙サイズを変更する場合は、〈レイアウト〉ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択して、[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて変更することもできます。



Q1-27 用紙の方向を、モデルで「横置き」、レイアウトで「縦置き」に設定するには

[レイアウトのプロパティ]でレイアウトごとに用紙の設定ができます。

用紙の方向を変更したいレイアウトを表示し、<レイアウト>ボタンを右クリックして[レイアウトプロパティ]を選択します。[レイアウトのプロパティ]ダイアログが表示されますので、[図面の設定を使用する]項目をオフに設定し、[方向]項目を「縦」に設定してください。



Q1-28 1/60 の全体図から 1/30 詳細図を作成するには

詳細図を作成する方法は主に次の3通りの方法があります。(操作手順については、「シート・レイアウト運用ガイド」を参照してください。)

●方法①—縮尺 1/30 のレイアウトを作成する

- (メリット) 全体図(モデル)の図形を参照しているだけです(実体データが存在しない)ので、全体図に変更があった場合でも変更内容がすぐに反映されます。
- (デメリット) ・全体図(モデル)と異なる縮尺を詳細図(レイアウト)に設定すると、文字や部品の大きさ、線幅等が縮尺に適した表現にならない場合があります。
- ・実体データが存在しないので、詳細図(レイアウト)で図形を変更することはできません。

●方法②—縮尺 1/30 のシートを新規作成し、必要な部分を[シート機能]—[移動複写]の「実寸」で複写する

- (メリット) ・1枚の図面上に全体図と詳細図を配置することができます。
- ・詳細図を直接変更することができます。
- (デメリット) ・全体図と異なる縮尺を詳細図(別シート)に設定すると、文字や部品の大きさ、線幅等が縮尺に適した表現にならない場合があります。
- ・全体図に変更があった場合に、詳細図側でも変更が必要です。

●方法③—[名前を付けて保存]で図面縮尺 1/30 の別図面を作成する

- (メリット) 図面縮尺を変更するだけで、全体図、詳細図の縮尺を一度に変更することができます。
- (デメリット) 別図面として複写・保存していますので、全体図に変更があった場合に、詳細図側でも変更が必要です。

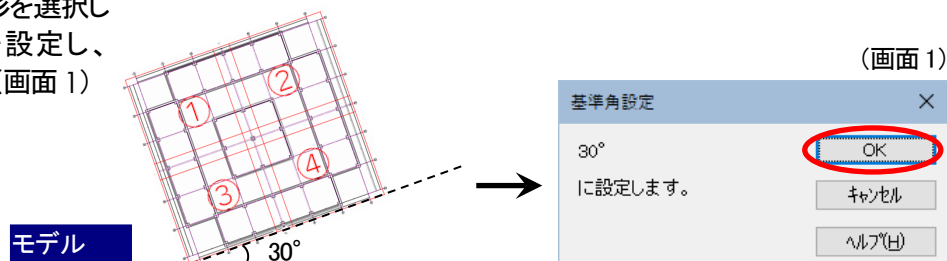
Q1-29 傾いた図面をレイアウトで水平に表示するには

図面の基準角を設定してからレイアウトを作成することで傾いたレイアウトを作成できます。

●レイアウトを作成する手順

①ツールバーの **0.0°** [基準角設定]アイコンをクリックし、**設定中** に切り替える。

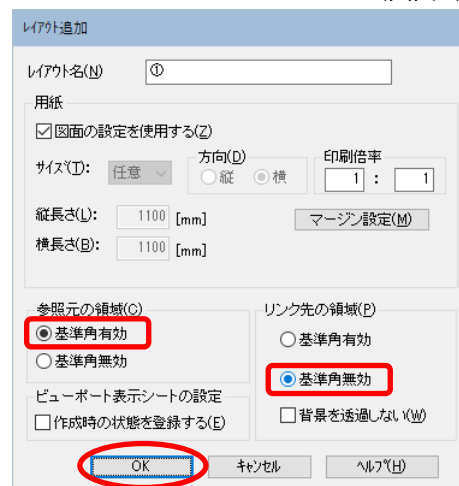
②角度を入力、または図形を選択して、基準となる角度を設定し、**<OK>**ボタンをクリック。(画面 1)



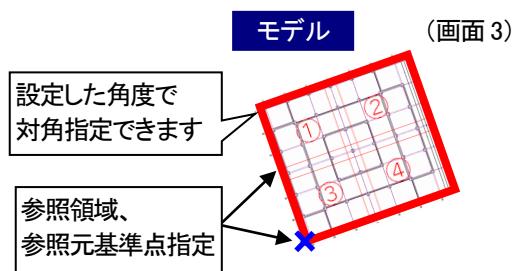
③メニューバーの**[設定] - [シート機能] - [レイアウト作成]**を選択。

④**[レイアウト追加]**ダイアログが表示されますので、下記項目の設定を行い、**<OK>**ボタンをクリック。(画面 2)

- ・[参照元の領域]の**[基準角有効]**をオン
- ・[リンク先の領域]の**[基準角無効]**をオン



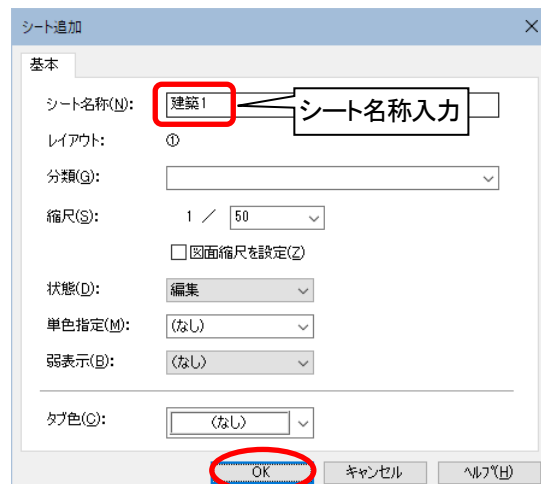
⑤モデルで参照する領域を指定し、ビューポートの参照元基準点を指定。(画面 3)



⑥ビューポートの参照元基準点は、**<Enter>**で参照領域の左下、**<Shift>+<Enter>**で参照領域の中心とすることができます。

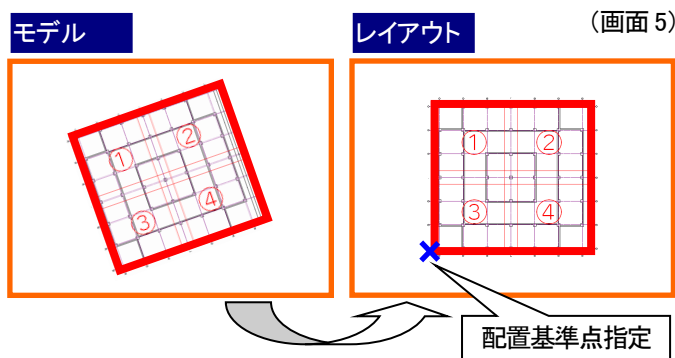
(画面 4)


- ⑥[シート追加]ダイアログが表示されますので、ビューポートの参照先シート名称等を設定し、<OK>ボタンをクリック。(画面 4)



- ⑦ビューポートの配置基準点を指定。(画面 5)

手順④にて[リンク先の領域]を「基準角無効」に設定したので、レイアウトでは水平に配置されます



- 通常レイアウトの追加方法は「Q1-17 既にあるレイアウトにビューポートを追加するには」を参照してください。
- 基準角の設定を解除する場合は、ツールバーの  [基準角無効] をクリックし、[基準角設定] を に戻します。

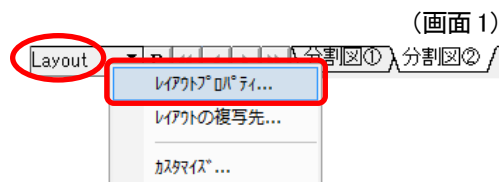
Q1-30 ビューポートの重なった部分を非表示にするには

【レイアウトのプロパティ】で最前面に表示したいシートを[背景を透過しない]に設定することで、重なった部分を非表示にすることができます。

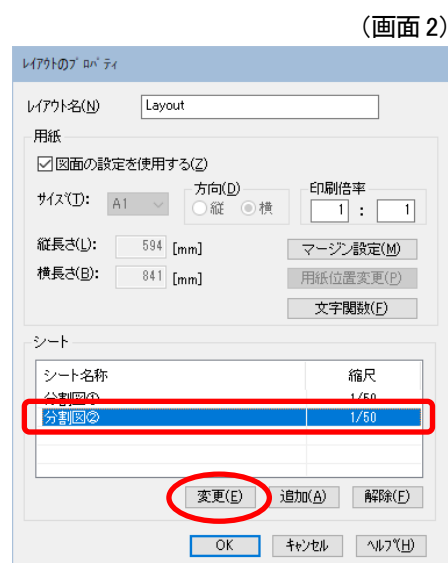
この機能は TfasⅢ以降で使用可能です。TfasⅡ 2007 以前の Tfas 製品や CAPE 製品ではこの機能がありませんので、全てのシートが重なって表示されます。

●背景の透過を変更する手順

①<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択。(画面 1)

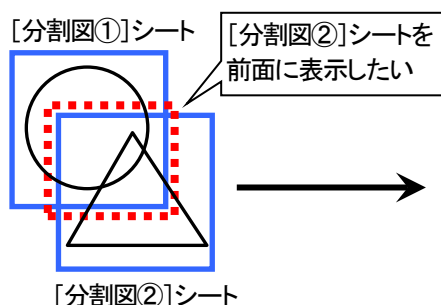
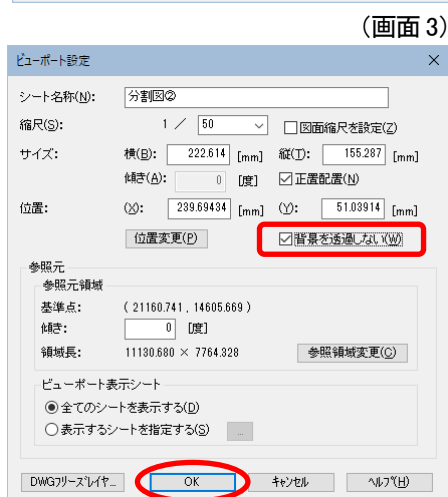


②【レイアウトのプロパティ】ダイアログが表示されますので、最前面に表示したいシートを選択し、<変更>ボタンをクリック。(画面 2)



③【ビューポート設定】ダイアログが表示されますので、[背景を透過しない]をオンに設定し、<OK>ボタンをクリック。(画面 3)

④【レイアウトのプロパティ】ダイアログに戻りますので、<OK>ボタンをクリック。

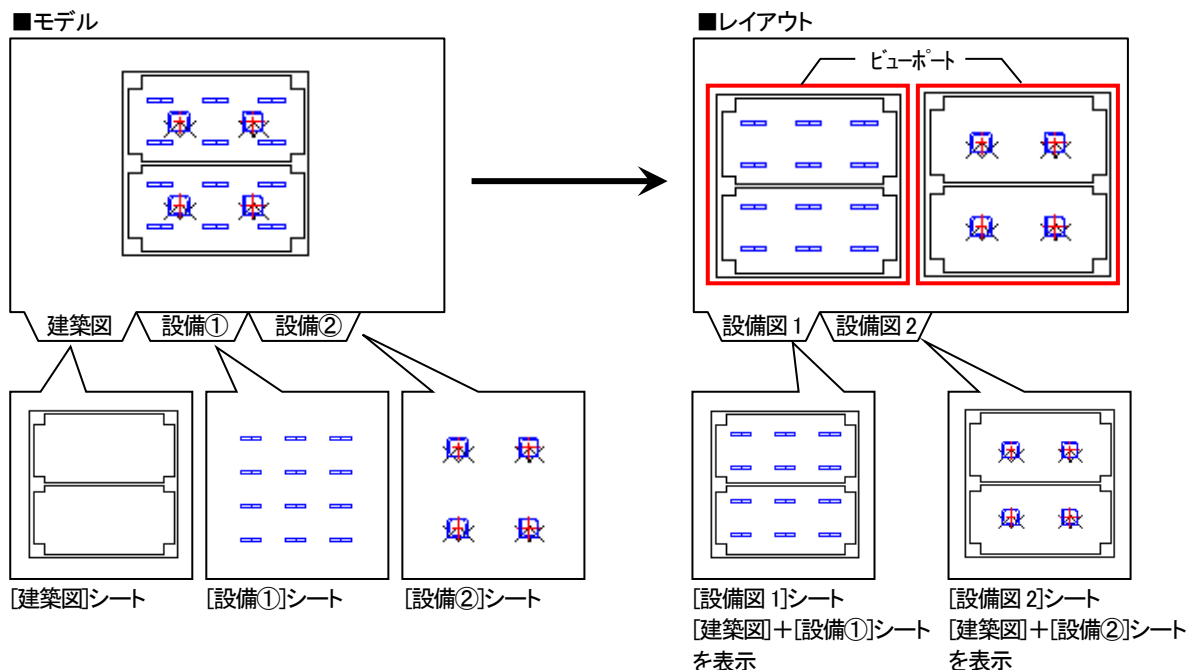


[分割図②]シートの設定を[背景を透過しない]にすると、[分割図②]が前面に表示されます

上記の方法で重なり部分が非表示にならない場合は、最前面に表示したいシートタブの並び順を一番右側に移動してください。シートの並び順と表示順については、「Q2-5 シート上の図形の表示優先順位について」を参照してください。

Q1-31 1つのビューポートで表示するシートを設定するには

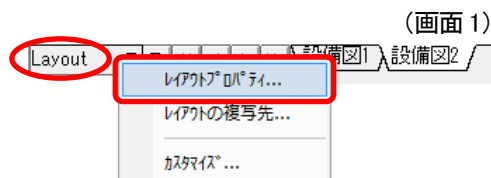
[レイアウトプロパティ]の[ビューポート表示シート]で表示するシートを指定することができます。
(但し、指定したシートがモデルで非表示状態になっている場合は表示されません。)



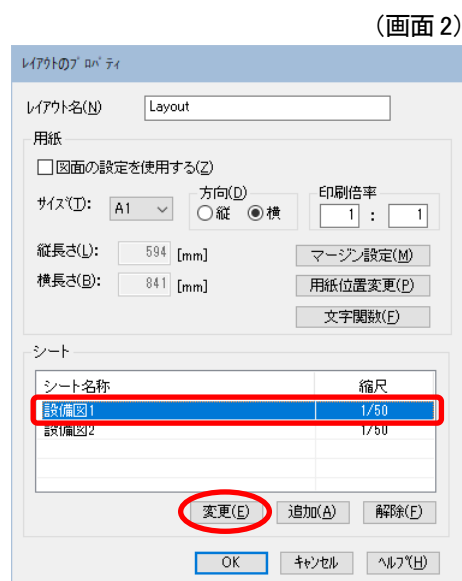
この機能は Tfas V 以降で使用可能です。TfasIV以前の Tfas 製品や CAPE 製品ではこの機能がありませんので、全てのシートが重なって表示されます。

●ビューポート表示シートを設定する手順

①<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択。(画面 1)

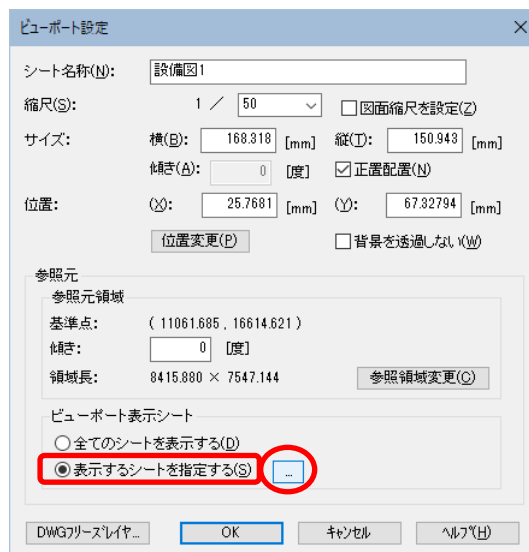


②[レイアウトのプロパティ]ダイアログが表示されますので、シート設定するシートを選択し、<変更>ボタンをクリック。
(画面 2)



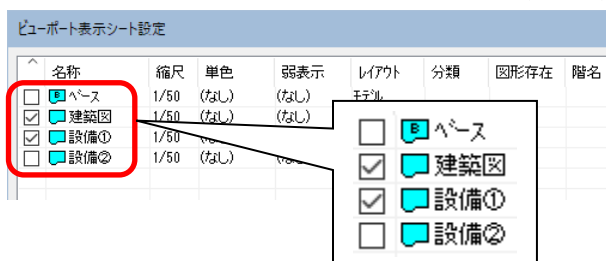
(画面 3)

- ③[ビューポート設定]ダイアログが表示されますので、
[ビューポート表示シート]項目の「表示するシートを設定する」をオンにして、右隣の [...] ボタンをクリック。
(画面 3)

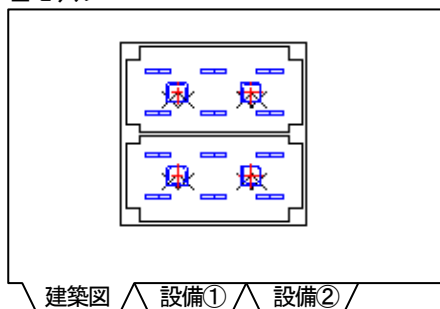


(画面 4)

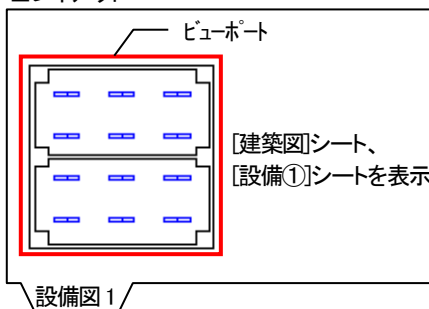
- ④[ビューポート表示シート設定]ダイアログが表示されますので、表示するシートのチェックボックスをオンに設定。(画面 4)



■モデル



■レイアウト



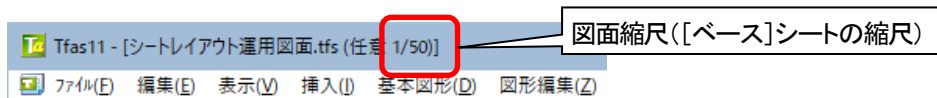
- ✔ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。
- ✔ DXF/DWG 変換時は、ビューポートの非表示シートにある図形は表示されます。
- ✔ DXF/DWG のフリーズレイヤに設定されている図形を Tfas で展開する場合は、「Q2-29 ビューポートに表示されない図形を表示するには」を参照してください。

2 表示

Q2-1 縮尺 1/20 のシートを追加したが、タイトルバーには 1/50 と表示されます

タイトルバーの縮尺は、「図面縮尺」の設定を表示しています。

各シートの縮尺はウィンドウ上には表示されませんので、〈シート管理〉ボタンもしくは、シートタブのツールチップの表示で縮尺を確認してください。

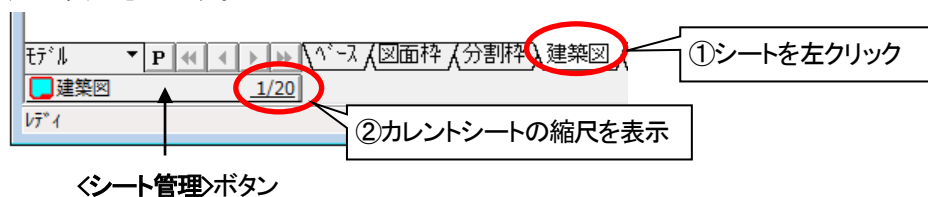


✓ シートの縮尺の確認方法については、「Q2-2 シートの縮尺を調べるには」を参照してください。

Q2-2 シートの縮尺を調べるには

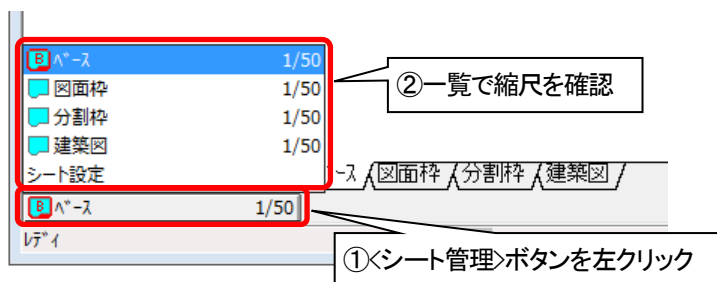
●方法①—カレントシートの縮尺を確認する

縮尺を確認したいシートを〈左クリック〉してカレントシートにすると、〈シート管理〉ボタンにシートの名称、状態、縮尺が表示されます。



●方法②—シートの縮尺を一覧で確認する

シートの縮尺を一覧で確認する場合は、〈シート管理〉ボタンを左クリックします。

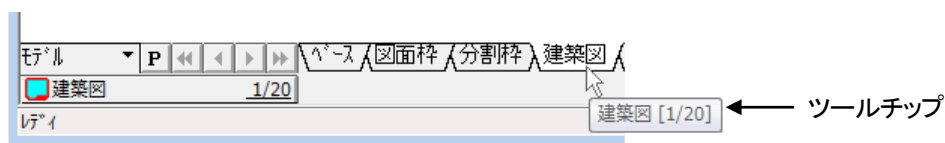


✓ シートの表示部が 1 行表示の場合は、〈シート管理〉ボタンがボタン表示 (⌵) のみとなりますので、縮尺の確認はできません。

✓ シート表示部の 1 行表示／2 行表示の切り替え方法は、「Q2-3 シートの表示を 1 行表示／2 行表示に切り替えるには」を参照してください。


●方法③ーツールチップでシートの縮尺を確認する

シートタブ上にマウスカーソルを移動すると、ツールチップが表示され、シートの名称、縮尺が表示されます。

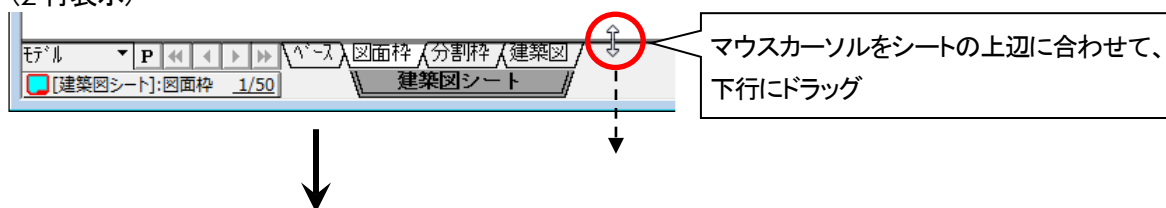


- ✓ メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]の[シート設定]ダイアログやシートの[プロパティ]でも縮尺を確認することができます。(「Q1-2 シートの縮尺を変更するには」を参照してください。)
- ✓ タイトルバーにも縮尺が表示されていますが、これは「図面縮尺」([ベース]シートの縮尺)です。カレントシートの縮尺ではありませんのでご注意ください。

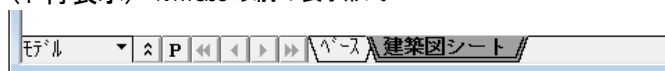
Q2-3 シートの表示を 1 行表示／2 行表示に切り替えるには

シートの表示部を 1 行表示／2 行表示に切り替えるには、シート表示部の上辺にマウスカーソルを合わせ、 矢印の状態の時に上／下にドラッグすることで表示を切り替えることができます。


(2 行表示)



(1 行表示) ※Tfas6 以前の表示形式



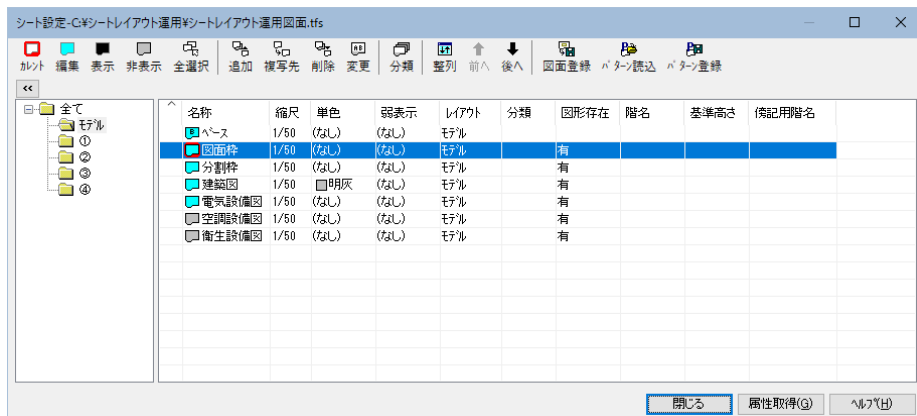
※1 行表示を 2 行表示に切り替える場合は、マウスカーソルをシートの上辺に合わせて、上行にドラッグ

- ✓ Tfas 7 よりシートの表示部を 2 行表示できるようになりました。初期状態では 2 行表示されます。
- ✓ 2 行表示の場合は、<シート管理>ボタン( ベース 1/50)にカレントシートのシート名称、状態、縮尺が表示されます。

Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには

●方法①ーメニューから実行する

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックして[シート設定]ダイアログを表示します。



●方法②ー<シート管理>ボタンまたは<シートパターン>ボタンを右クリックする

<シート管理>ボタンまたは<シートパターン>ボタンを右クリックして[シート設定]ダイアログを表示します。

(2行表示の場合)

(1行表示の場合)



シート管理ボタン

シートパターンボタン

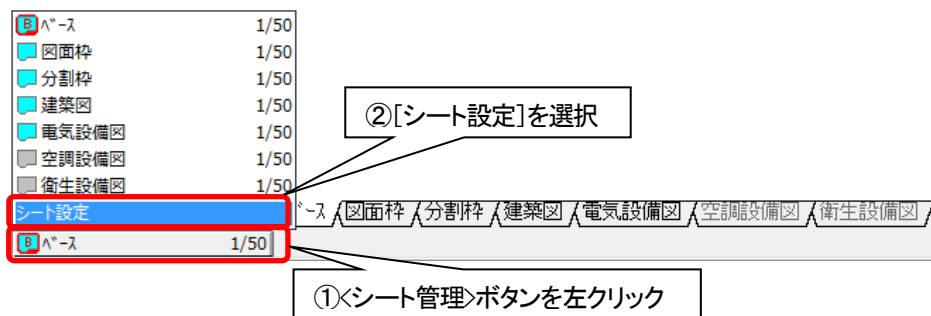


シート管理ボタン

シートパターンボタン

●方法③ー<シート管理>ボタンを左クリックし、メニューから選択する

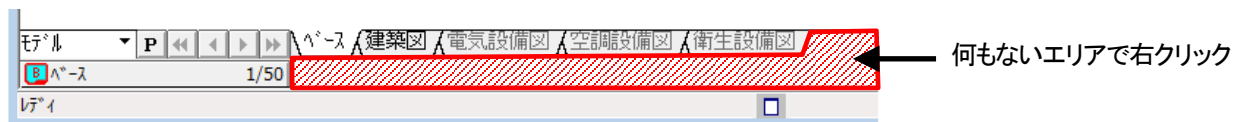
<シート管理>ボタンを左クリックして[シート設定]を選択します。



1行表示/2行表示の切り替え方法は、「Q2-3 シートの表示を1行表示/2行表示に切り替えるには」を参照してください。

●方法④ーシートタブの空き領域で右クリックする

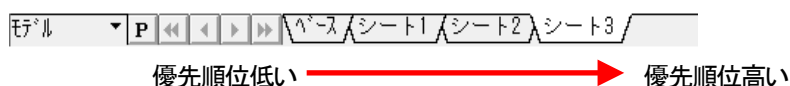
シートタブ表示エリア内の空き領域で右クリックします。



Q2-5 シート上の図形の表示優先順位について

図形表示は、左側にあるシートタブ上の図形より右側にあるシートタブ上の図形の方が表示優先順位が高くなります。

図形が重なって、別のシートの図形に隠れてしまうような場合は、最前面に表示したい図形のシートタブを右側に移動してください。



Q2-6 シート上の図形を選択できないようにするには

シートの状態を「表示」に切り替えることで、編集不可の状態にすることができます。

✔ シート状態の変更方法は、「Q1-7 シートの状態を変更するには」を参照してください。

Q2-7 シートタブを好きな位置に追加できますか

シート追加後、シートタブをドラッグして位置を移動してください。

✔ シートタブの順序変更については、「Q1-4 シートタブの順序を変更するには」を参照してください。

✔ Tfas7 以降は、シートタブを右クリックして新規シートを作成した場合、右クリックしたシートの右隣りにシートが追加されます。

Q2-8 シート上の建築図の色を薄く表示するには

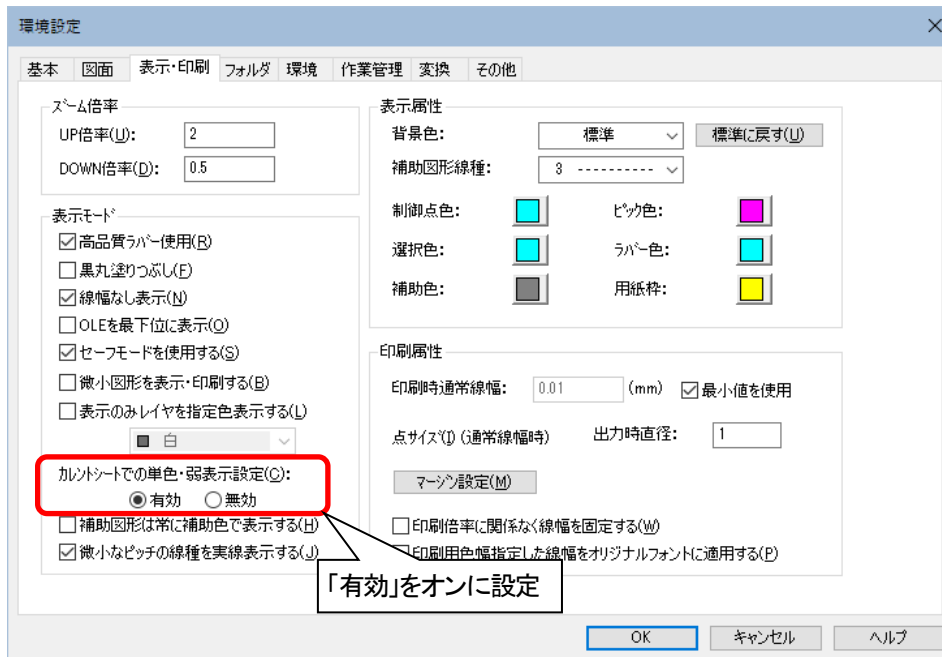
シートの[単色指定]で色を変更します。表示色を「明灰」等に設定すると薄く表示できます。

✔ 単色指定に設定する方法は、「Q1-11 シート上の図形を単色で表示するには」を参照してください。

Q2-9 シートを単色指定に設定しても表示が変わりません

単色指定したシートがカレントになっていませんか？初期設定では、カレントシートは単色表示になりません。

- シートの状態に関係なく単色表示する場合は、メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([表示・印刷]タブ)にて[カレントシートでの単色・弱表示設定]項目の設定を「有効」にしてください。



Q2-10 シートを弱表示に設定しても表示が変わりません

弱表示にしたシートがカレントになっていませんか？初期設定では、カレントシートは弱表示されません。もしくは、図形の線種が2～5で線幅が通常になっていませんか？この場合は、弱表示の設定は無視されます。

- シートの状態に関係なく弱表示する場合は、メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([表示・印刷]タブ)にて[カレントシートでの単色・弱表示設定]項目の設定を「有効」にしてください。
- [環境設定]ダイアログについては、「Q2-9 シートを単色指定に設定しても表示が変わりません」を参照してください。

Q2-11 カレントシートを単色で表示されないようにするには

メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([表示・印刷]タブ)にて[カレントシートでの単色・弱表示設定]項目の設定を「無効」にしてください。

- [環境設定]ダイアログについては、「Q2-9 シートを単色指定に設定しても表示が変わりません」を参照してください。

Q2-12 カレントシートを弱表示で表示されないようにするには

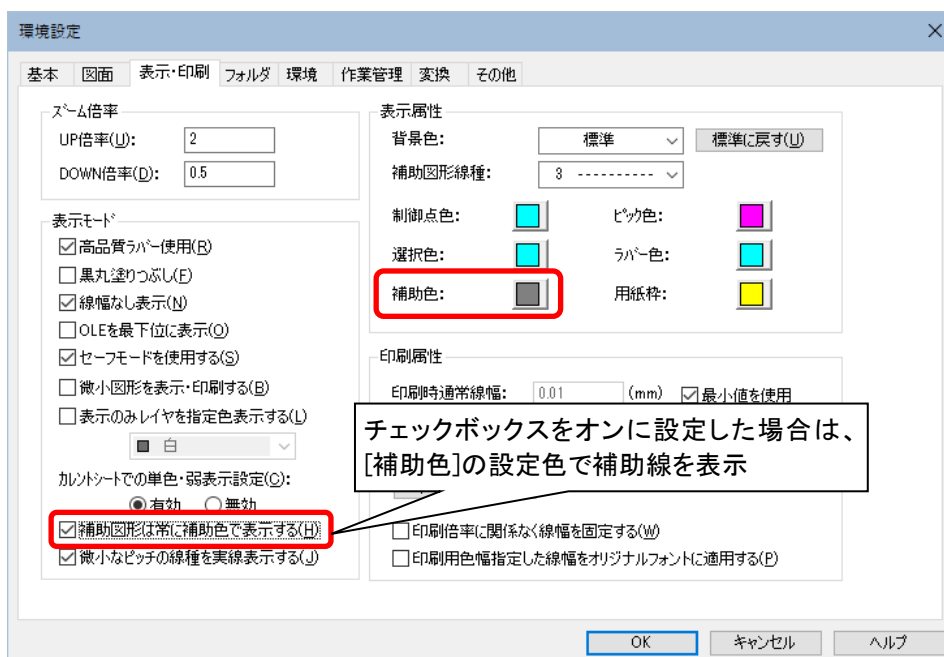
メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([表示・印刷]タブ)にて[カレントシートでの単色・弱表示設定]項目の設定を「無効」にしてください。

- ☑ [環境設定]ダイアログについては、「Q2-9 シートを単色指定に設定しても表示が変わりません」を参照してください。

Q2-13 シートの単色指定を設定している場合、補助線は何色で表示されますか

補助線は単色指定の色設定で表示されます。

- ☑ シートの単色指定については、「Q1-11 シート上の図形を単色で表示するには」を参照してください。
- ☑ Tfas6 以降は、メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([表示・印刷]タブ)にて[補助図形は常に補助色で表示する]項目のチェックボックスをオンにすると、[補助色]で設定した色で補助線を表示することもできます。



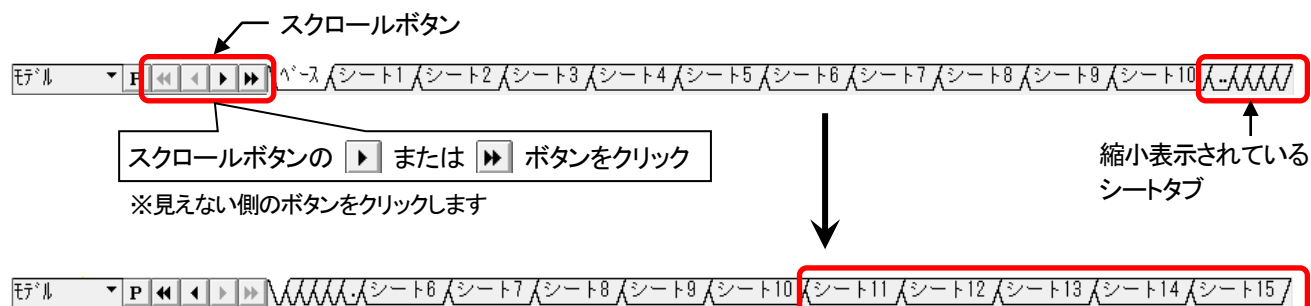
Q2-14 モデルのシートの単色指定をレイアウトのビューポートに反映するには

モデルで設定したシートの単色指定はレイアウトにも反映されます。

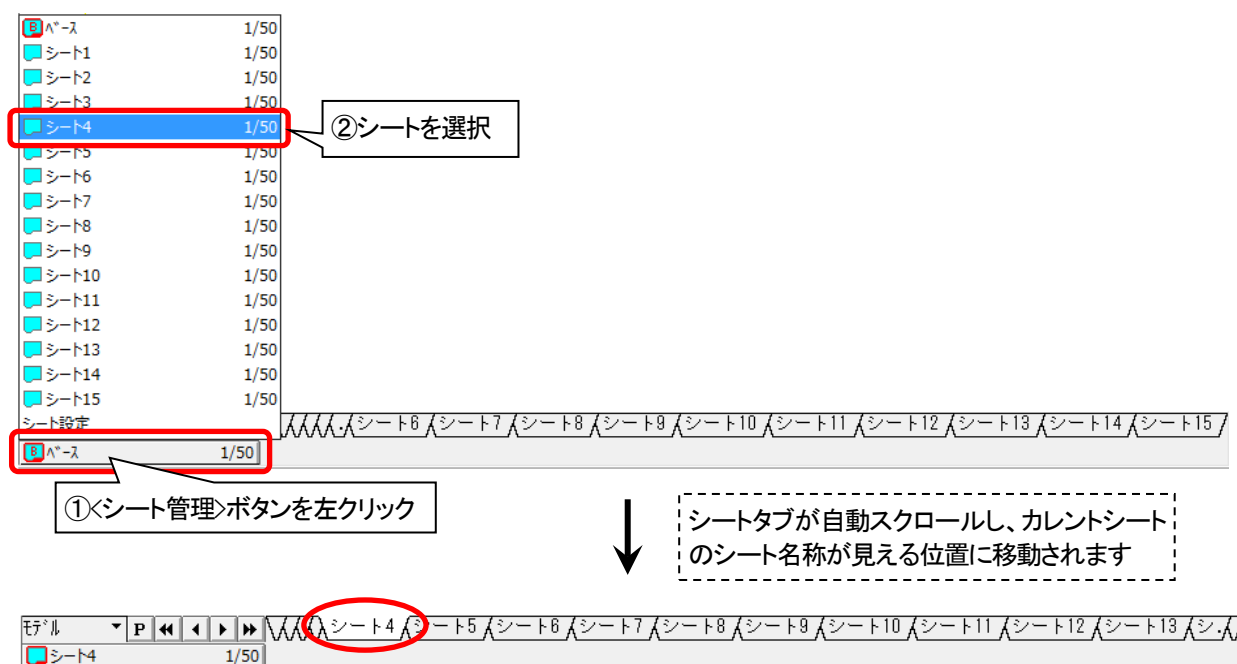
- ☑ CAPE2004 では図形の色で表示されます。

Q2-15 シートタブがたくさんあるときに、隠れて見えないシートタブを表示するには

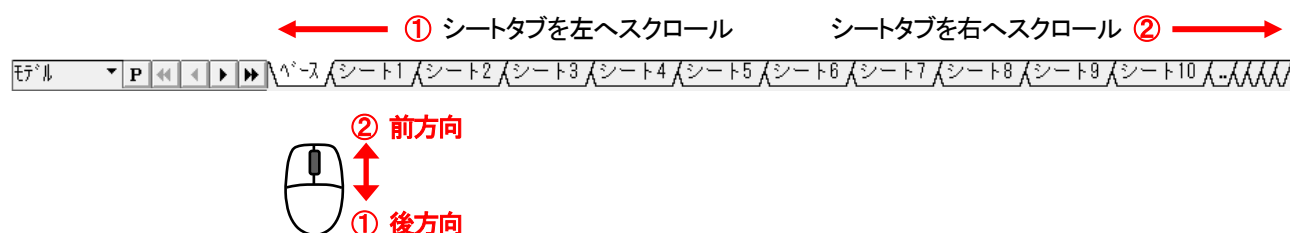
シートが多い場合は、シートタブが縮小表示され、シート名称が隠れて見えないことがあります。
シートタブの左側にあるスクロールボタンをクリックすることで、見えない部分を表示できます。
もしくは、縮小表示されているシートタブを直接左クリックすることで、シート名称が見える位置に自動スクロールします。



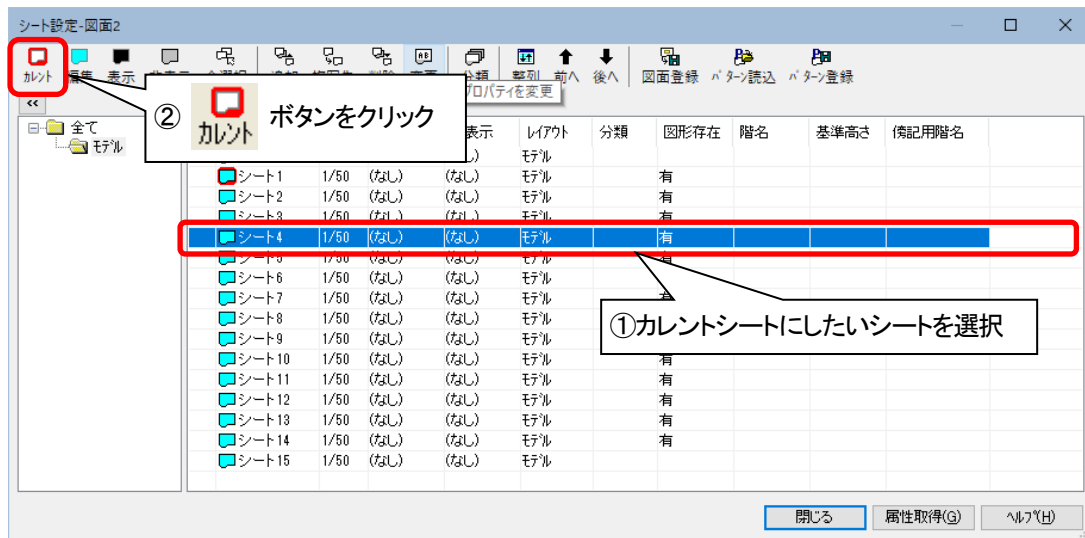
④ <シート管理> ボタンを左クリックしてカレントシートに指定することで、シート名称が見える位置に自動スクロールさせることもできます。



④ Tfas7 以降は、シートタブの表示エリアでマウスのホイールを前方向／後方向に回して、シートタブをスクロールすることができます。



- ☑ メニューバーの[設定]－[シート機能]－[設定]をクリックし、[シート設定]ダイアログでカレントシートを切り替えた場合も同様です。



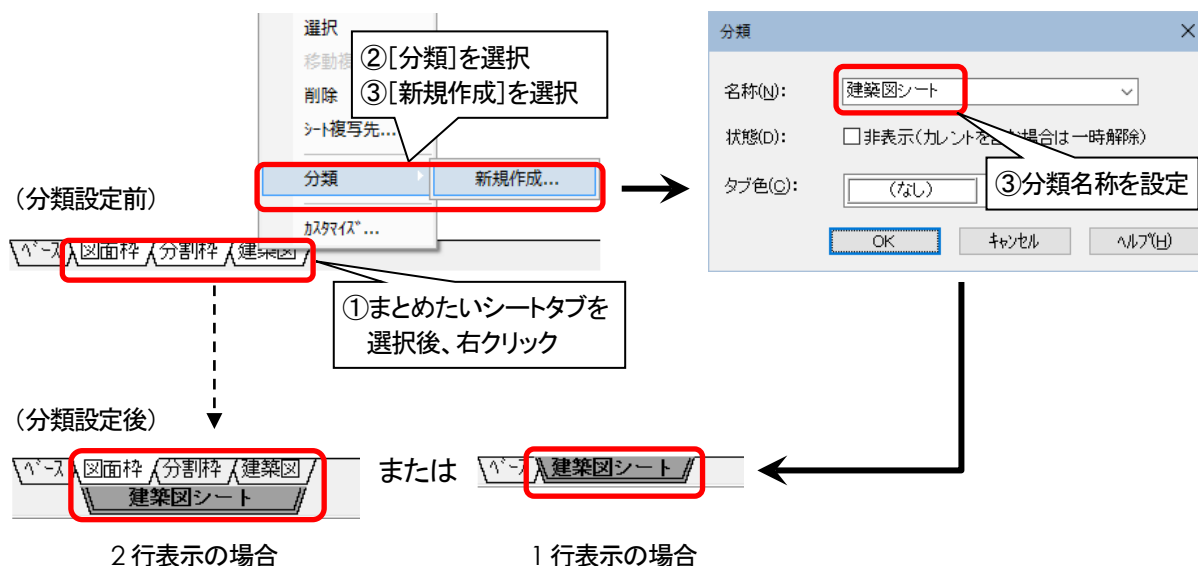
- ☑ [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン (ページ 1/50) または () や<シートパターン>ボタン () を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

Q2-16 シートタブを分類別にまとめるには

●方法①ーシートタブから分類を設定する

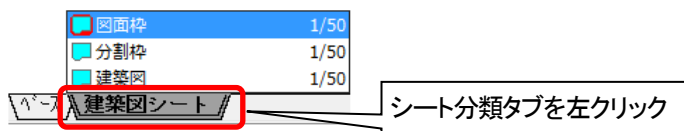
シートの[分類]で設定した分類内にシートタブをまとめて表示できます。

まとめたいシートタブを選択後、右クリックして[分類]ー[新規作成]を選択し、[分類]ダイアログにて分類名称を設定します。




② 2行表示の場合は、まとめたシートの下部に分類名称が表示されます。

③ 1行表示の場合は、まとめたシートの位置に分類名称が表示されます。シート分類の中のシートを選択する場合は、シート分類タブを左クリックしてリストから選択します。

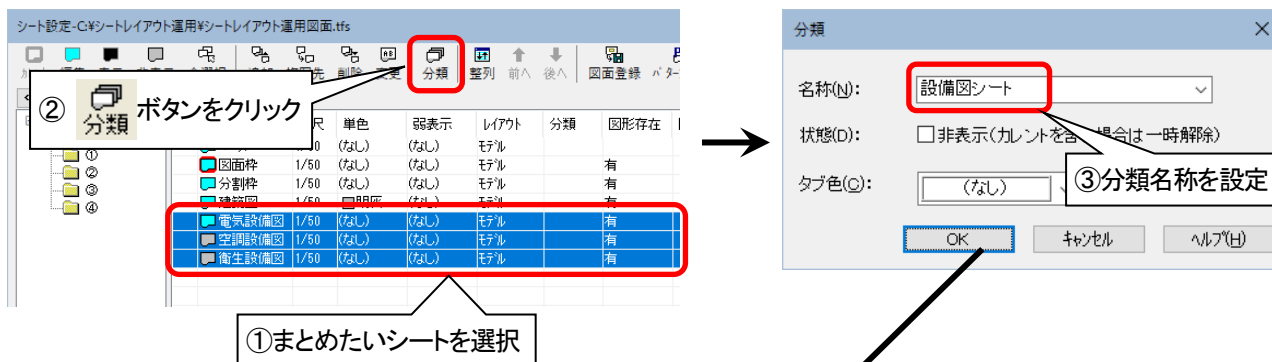


④ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

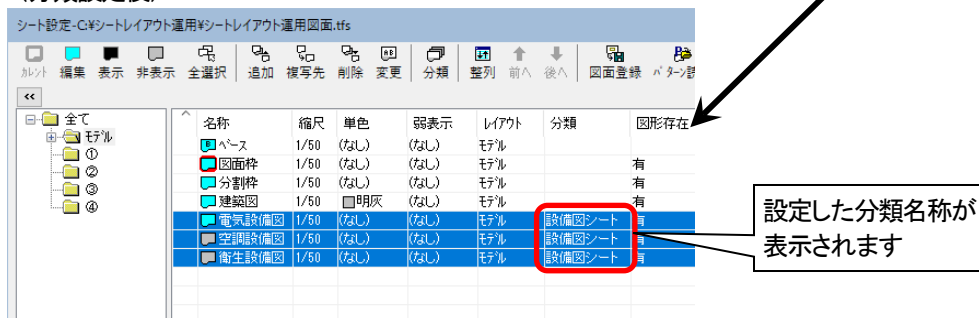
●方法②ー[シート設定]ダイアログから分類を設定する




[シート設定]ダイアログにて分類を設定し、まとめたシートタブを設定することができます。
メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、まとめたシートを選択し、 ボタンをクリックして分類名称を設定します。

(分類設定前)



(分類設定後)



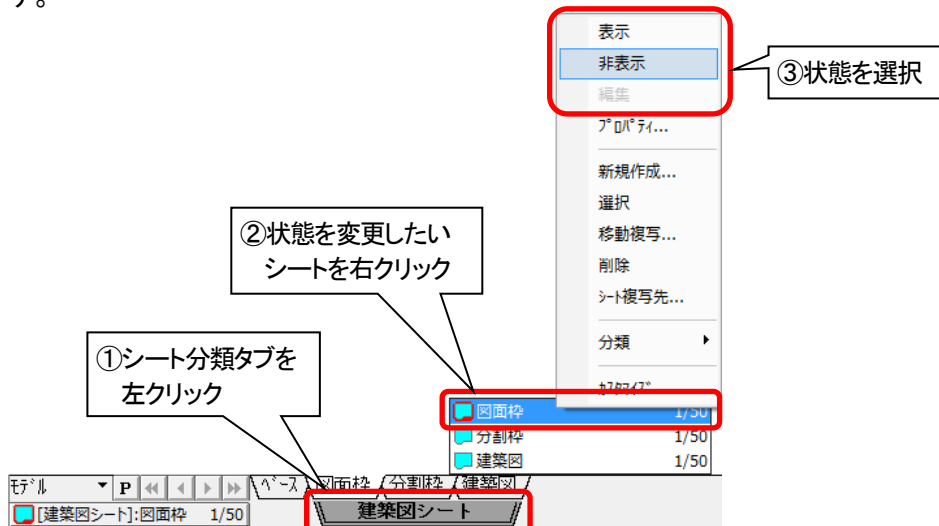
④ [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン ( ペース 1/50) または () や<シートパターン>ボタン () を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

⑤ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

Q2-17 シート分類内の各シートの状態を変更するには

●方法①ーシート分類タブを左クリックしてシートの状態を変更する




シート分類タブを左クリックし、状態を変更したいシート上で右クリックして状態(表示／非表示／編集)を選択します。

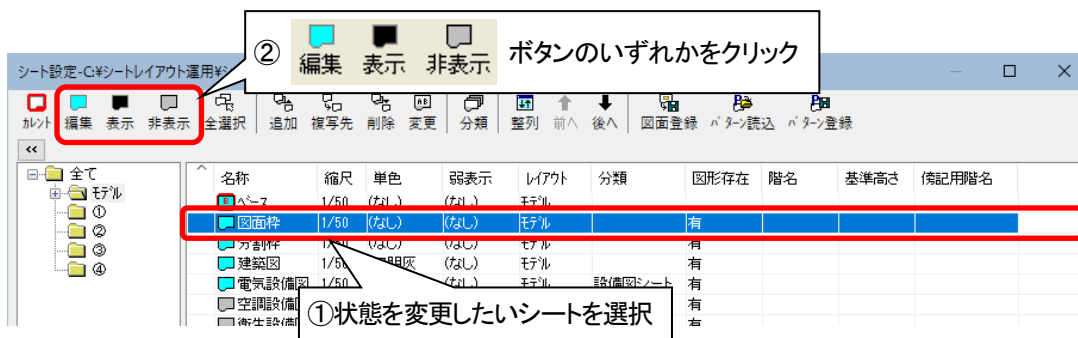







- ④ シート分類内の全てのシート状態を一括変更するには、シート分類タブを右クリックし、[分類内シート]を選択して状態を変更します。
- ⑤ シート分類内のシートを一括で「非表示」にするには、シート分類タブを右クリックし、[非表示]を選択します。(ただし、レイアウトのシートの表示状態は変わりません。)
- ⑥ シート分類を非表示に設定した場合でも、メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[レイアウト編集]をクリックし、[レイアウト編集]ダイアログの「非表示分類をビューポートで表示する」のチェックボックスにて表示／非表示の状態を切り替えることができます。

●方法②ー[シート設定]ダイアログからシートの状態を変更する

[シート設定]ダイアログにてシートの状態を変更できます。

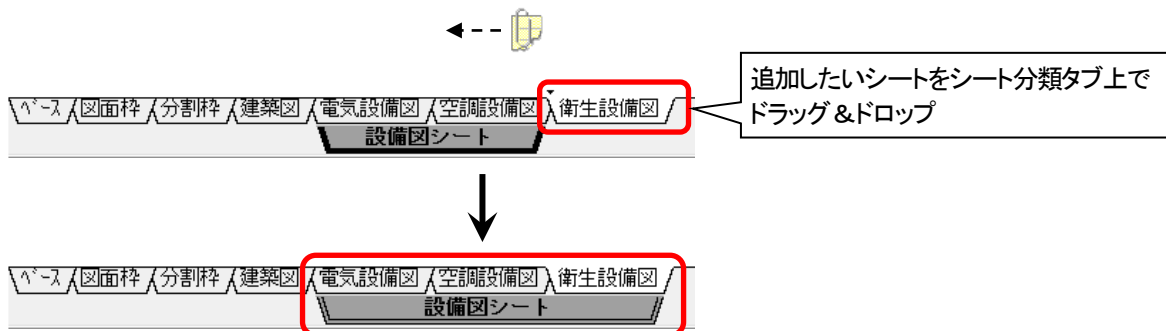
メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[設定]をクリックすると、[シート設定]ダイアログが表示されますので、状態変更したいシートを選択し、   ボタンのいずれかをクリックして状態を設定します。



- ⑦ [シート設定]ダイアログは、<シート管理>ボタン (   または ) や <シートパターン> ボタン () を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

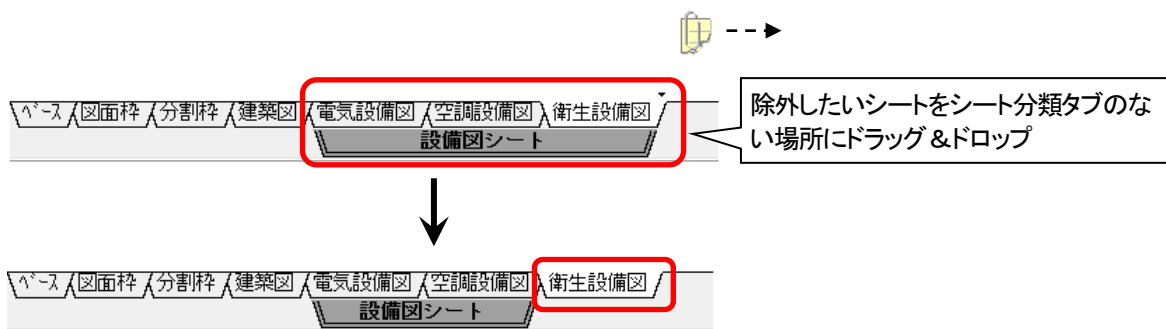
Q2-18 シート分類内にシートを追加するには

追加したいシートタブをシート分類タブの上部にドラッグ & ドロップして移動します。



Q2-19 シート分類から指定したシートのみを除外するには

除外したいシートタブをシート分類タブのない場所へドラッグ & ドロップして移動します。

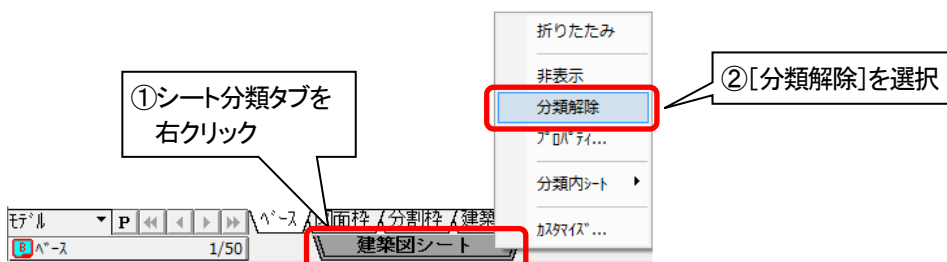


① シート分類内から全シートを除外した場合は、分類自体が解除されます。

② シート分類を解除する場合は、「Q2-20 シート分類を解除するには」を参照してください。

Q2-20 シート分類を解除するには

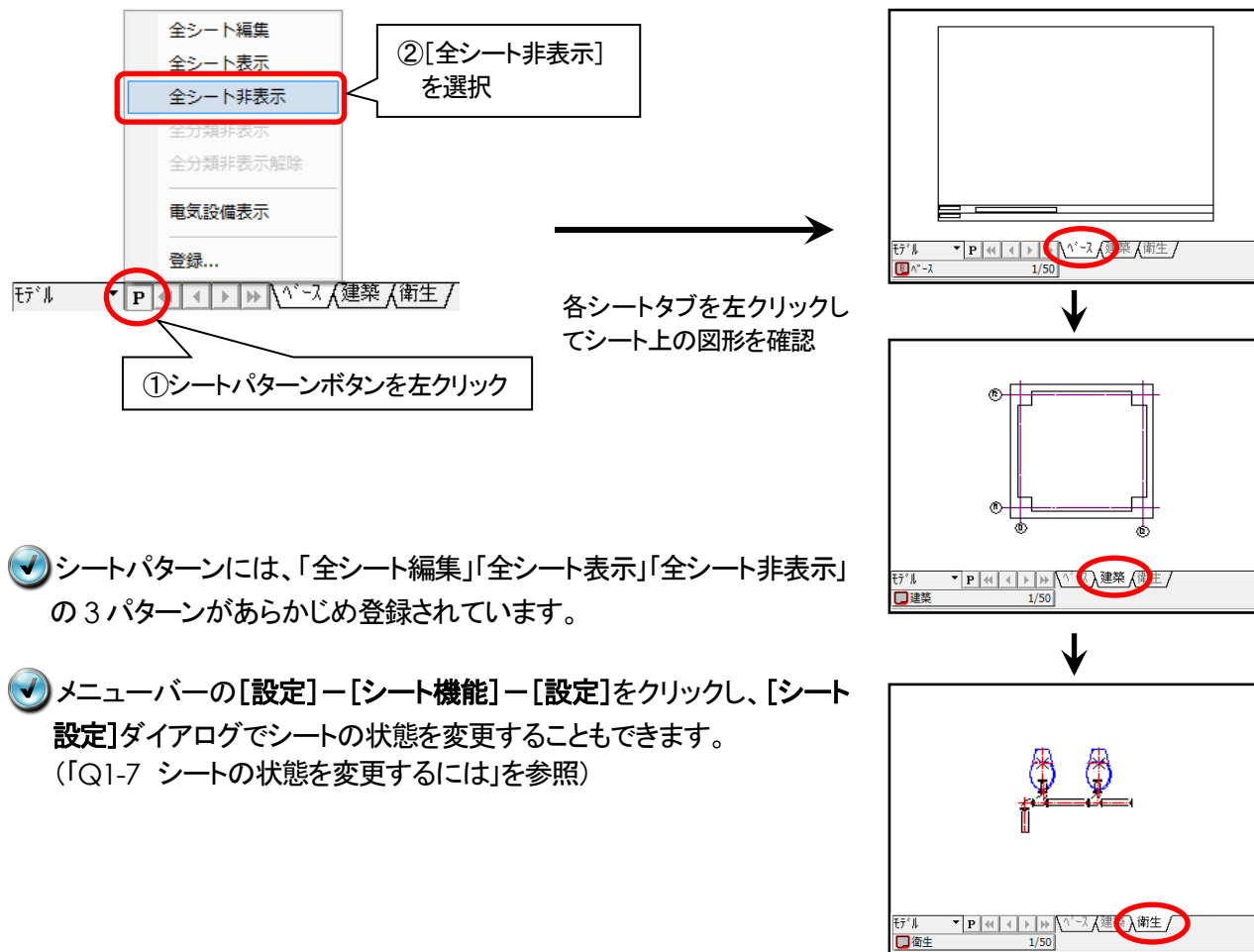
シート分類タブを右クリックして[分類解除]を選択します。



Q2-21 シートごとに図形を確認するには

専用の確認機能はありません。モデルのシートを全て非表示状態にし、一枚ずつシートをカレント表示に切り替えて確認してください。

全シートを非表示にするには、〈シートパターン〉ボタンを左クリックし、[全シート非表示]を選択します。



- ✔ シートパターンには、「全シート編集」「全シート表示」「全シート非表示」の3パターンがあらかじめ登録されています。
- ✔ メニューバーの[設定]－[シート機能]－[設定]をクリックし、[シート設定]ダイアログでシートの変更することもできます。
(「Q1-7 シートの状態を変更するには」を参照)

Q2-22 モデルでビューポートの参照元を確認するには

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[参照元表示]で確認できます。

ビューポートで参照している領域が枠で表示されます。

枠の左下には参照先のレイアウト名、シート名称、シートの表示状態が表示されます。

- ✔ 参照領域の表示を解除する場合は、もう一度、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[参照元表示]をクリックします。表示状態の時は、メニュー名の先頭に ☒ が付きます。(☒ 参照元表示)
- ✔ 「Q1-22 ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名、シート名称等の文字サイズを変更するには」を参照してください。

Q2-23 ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名やシート名称を非表示にするには

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[参照元表示]で、メニュー名の先頭に ☒ が付いた状態(☒ 参照元表示)の時にビューポートのレイアウト名やシート名称が表示されます。レイアウト名やシート名称を非表示にするには、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[参照元表示]をクリックして状態を切り替えます。


☑「Q1-22 ビューポートの参照元の領域枠に表示されるレイアウト名、シート名称等の文字サイズを変更するには」を参照してください。

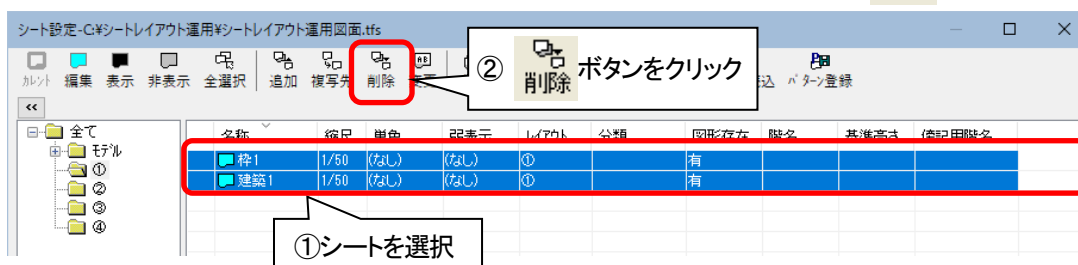
Q2-24 レイアウトのビューポート枠を削除するには




ビューポート枠の表示を削除することはできません。ただし、印刷されることはありません。

Q2-25 レイアウトを削除するには

レイアウト上にあるシートを全て削除すると、自動的にレイアウトも削除されます。シートは、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[設定]で削除できます。

[シート設定]ダイアログにて削除したいレイアウト上のシートを全て選択し、 ボタンをクリックします。



☑ [シート設定]ダイアログは、〈シート管理〉ボタン ( **シート管理** 1/50) または  や〈シートパターン〉ボタン ( **P**) を右クリックして表示することもできます。(表示方法は、「Q2-4 シート設定ダイアログを表示するには」を参照してください。)

☑ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。

☑ レイアウト上のシートを個別に削除する場合は、シートタブ上を右クリックし、[削除]を選択する方法もあります。



Q2-26 縮尺 1/200 のモデルから 1/50 のレイアウトを作成するとビューポートのシンボルの大きさはどうなりますか

シンボルは縮尺に依存していますので、大きく表現されます。

☑「Q1-28 1/60の全体図から1/30詳細図を作成するには」を参照してください。

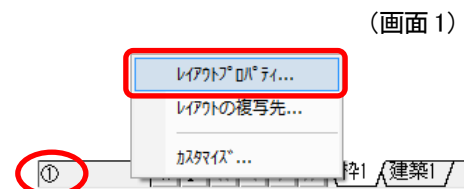
Q2-27 縮尺 1/50 の図面で 1/20 のレイアウトを作成するとビューポートの文字が大きすぎます

モデルで文字サイズを小さくするか、レイアウトで直接文字を記入してください。

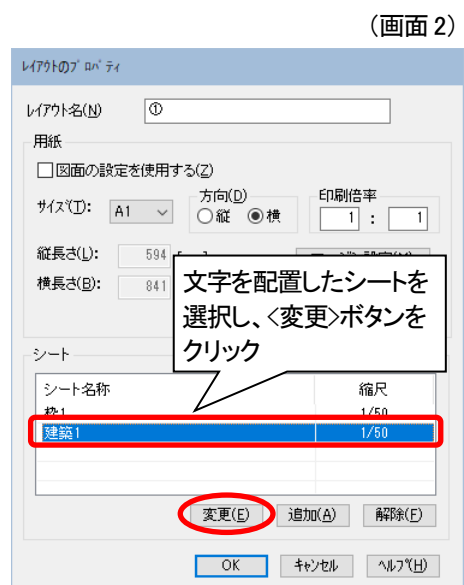
☑レイアウトで文字を書き直す場合は、[レイアウトプロパティ]でモデルの文字の配置レイヤをフリーズレイヤに設定すると、文字が重なって表示されません。

●フリーズレイヤの設定手順

①<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択。(画面 1)

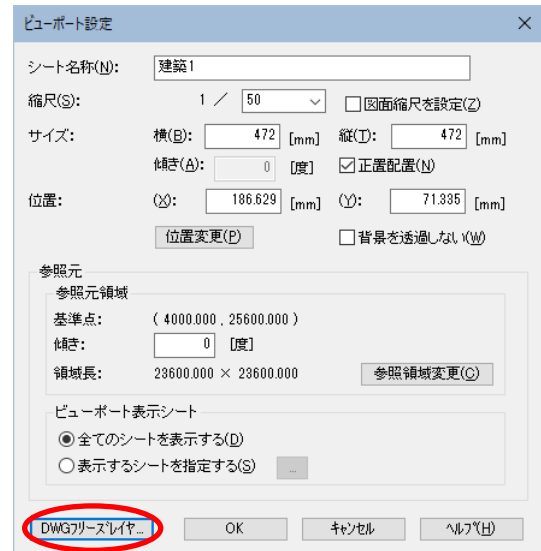


②[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて文字を配置したシートを選択し、<変更>ボタンをクリック。(画面 2)



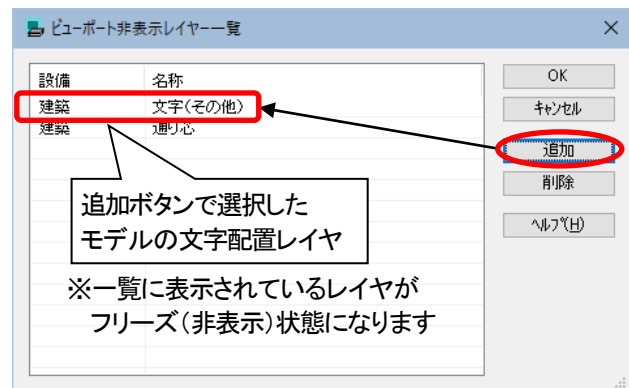
(画面 3)

- ③[ビューポート設定]ダイアログにて<DWG フリーズ
レイヤ>ボタンをクリック。(画面 3)



(画面 4)

- ④[ビューポート非表示レイヤー一覧]ダイアログ
にて<追加>ボタンをクリックし、モデルの文字配
置レイヤを選択。(画面 4)



- ⑤<OK>ボタンをクリックし、ダイアログ画面を全て閉じる。

Q2-28 ビューポートの位置・領域のサイズを変更するには

レイアウトをカレントにし、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[枠 移動・拡張]で変更できます。

●ビューポートの位置移動、サイズ変更の手順

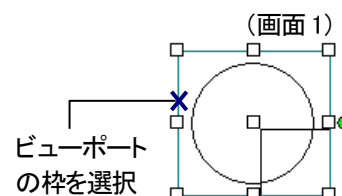
①レイアウトをカレントにし、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[枠 移動・拡張]をクリック。

②ビューポートを選択。(画面 1)

一緒に移動したい図形がある場合は図形も選択。

※ここでは選択確定の<Enter>は入力しません。

● モデルがカレントの場合、図形を選択することはできません。

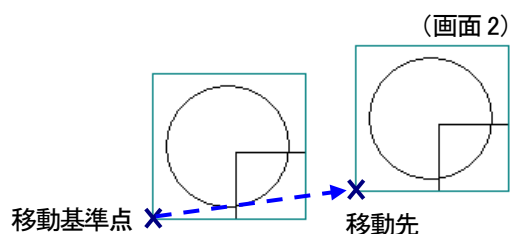


③以下の方法でビューポートの位置・サイズを変更。

● ビューポートの位置を移動する場合

【方法 1】移動基準点を指定する

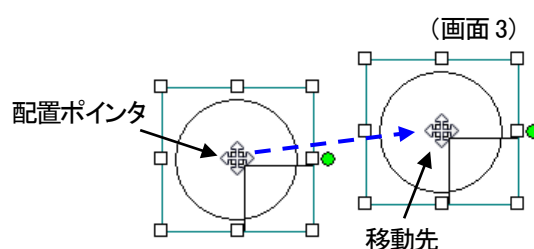
<Enter>入力して移動基準点をクリックし、移動先をクリック。(画面 2)



【方法 2】ハンドルを使用して移動する

ビューポートの中央にある移動ハンドル(□)上でマウスカursorを合わせると、配置ポインタ(⇄)に切り替わります。

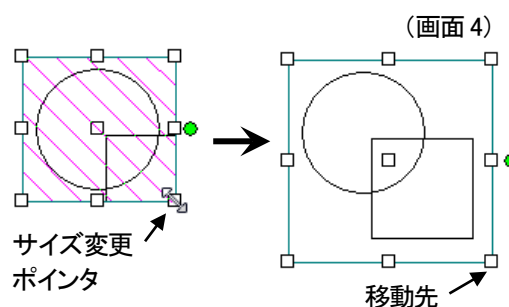
この状態でクリックし、移動先をクリック。(画面 3)



● ビューポートのサイズを拡張する場合

ビューポートの外周(8点)にある拡張ハンドル(□)のうち、拡張の基準とするハンドル上にマウスカursorを合わせると、サイズ変更ポインタ(⇄)に切り替わります。

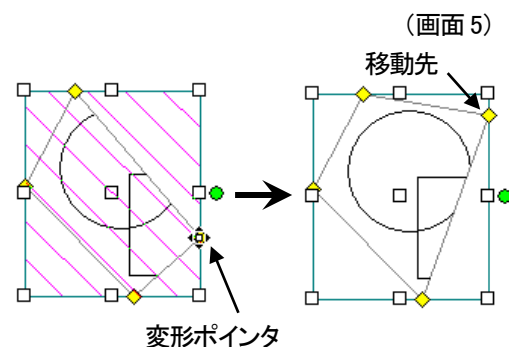
この状態でクリックし、ハンドルの移動先をクリック。(画面 4)



● ビューポート枠が多角形の場合は、黄色の図形ハンドル(◆)が表示されます。

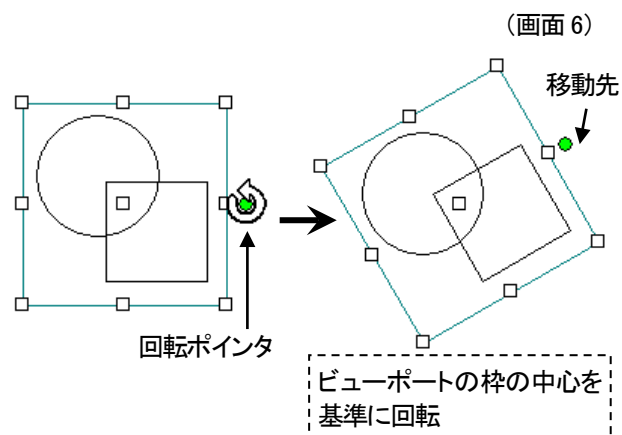
変形の基準とするハンドル上にマウスカursorを合わせると、変形ポインタ(◆)に切り替わります。

この状態でクリックし、ハンドルの移動先をクリック。(画面 5)



● ビューポートの位置を回転する場合

ビューポートの外周付近に表示されている回転ハンドル(●)上にマウスカーソルを合わせると、回転ポインタ(🔥)に切り替わります。この状態でクリックし、回転角度を入力するか、移動先をクリック。(画面 6)



- ✔ サイズ変更の場合、ビューポートの参照領域が変わるだけですので、一緒に選択した図形(レイアウトで作図した図形)の大きさは変更されません。
- ✔ [レイアウトプロパティ]で座標位置を変更する場合は、「Q5-6 レイアウトにある2つのビューポートを通り芯の位置で合わせるには」を参照してください。
- ✔ ビューポートが重なって移動できない場合は、「Q3-11 別のビューポートが重なって、編集したいビューポートが指定できません」を参照してください。

Q2-29 ビューポートに表示されない図形を表示するには

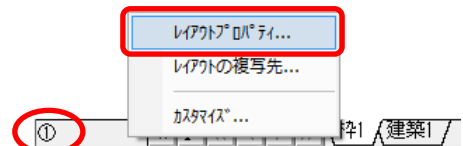
[レイアウトプロパティ]でフリーズレイヤの設定もしくはビューポートの表示シートを設定を確認してください。

- ①図形がフリーズレイヤにある場合は表示されません。下記の手順でレイヤのフリーズ(非表示)状態を解除してください。
- ②ビューポートの表示シートは、「Q1-31 1つのビューポートで表示するシートを設定するには」を参照して設定してください。

●フリーズレイヤ解除の手順

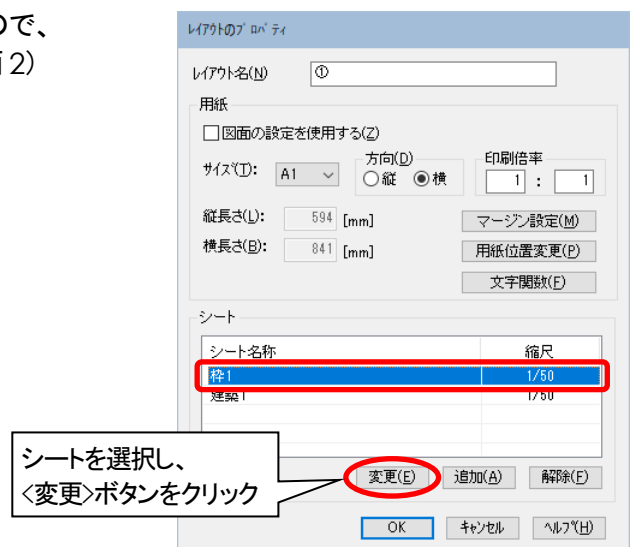
(画面 1)

- ①<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択。(画面 1)



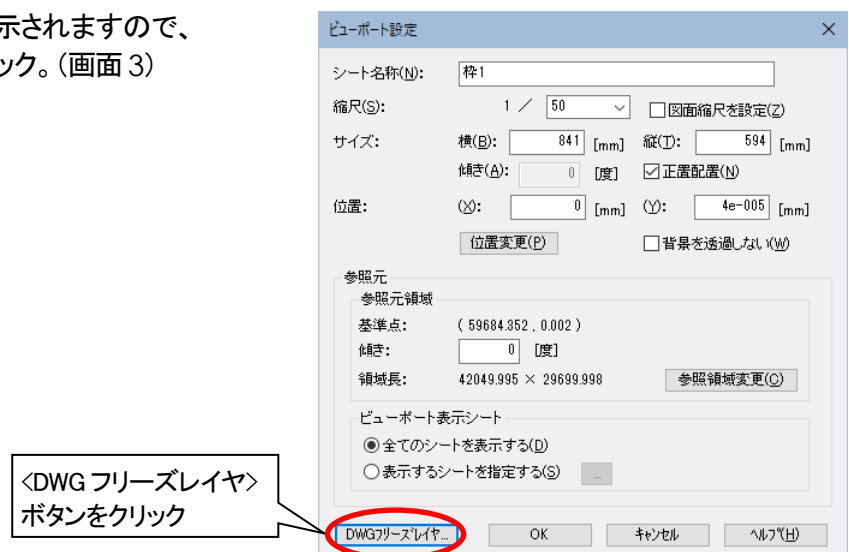
(画面 2)

- ②[レイアウトのプロパティ]ダイアログが表示されますので、一覧からシートを選択し、<変更>ボタンをクリック。(画面 2)



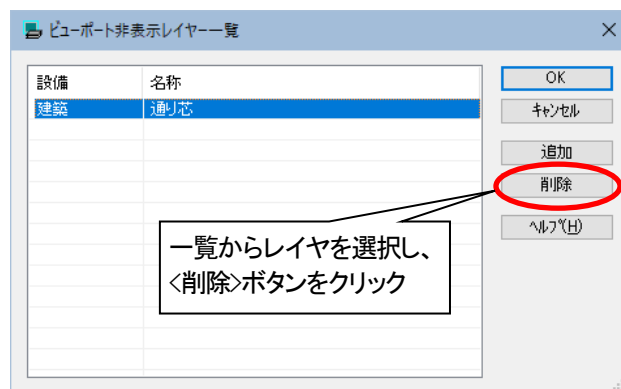
(画面 3)

- ③[ビューポート設定]ダイアログが表示されますので、<DWG フリーズレイヤ>ボタンをクリック。(画面 3)



(画面 4)

- ④ [ビューポート非表示レイヤー一覧] ダイアログが表示されますので、レイヤを選択し、<削除>ボタンをクリック。(画面 4)



※ビューポート非表示レイヤー一覧からレイヤを削除するだけで、レイヤ自体を削除するわけではありません。

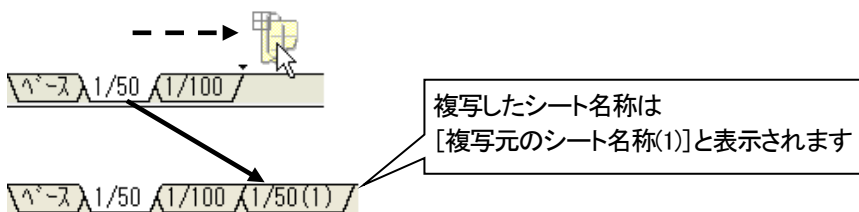
- ✔ フリーズレイヤ (非表示状態のレイヤ) は、追加設定することもできます。フリーズレイヤの設定手順については、「Q2-27 縮尺1/50の図面で1/20のレイアウトを作成するとビューポートの文字が大きすぎます」を参照してください。

3 移動複写

Q3-1 シートを複写するには

●方法①—シートタブをドラッグしてシートを複写する

＜Ctrl＞キーを押しながら複写したいシートタブをドラッグ＆ドロップします。

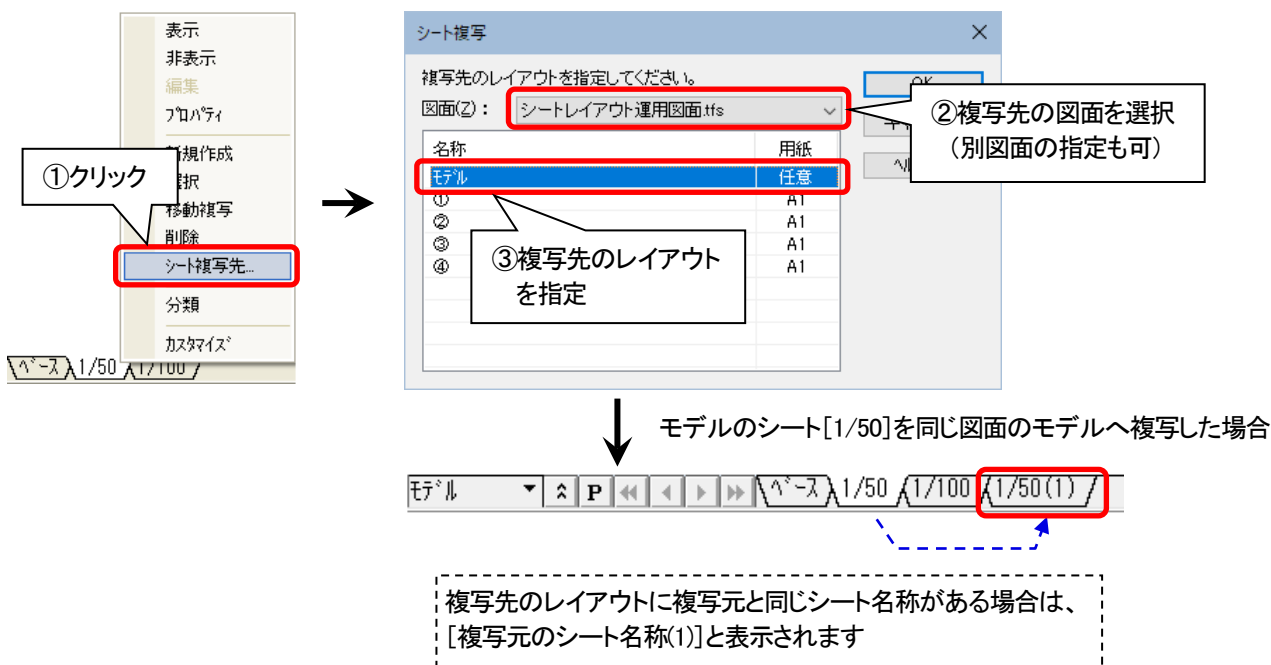


- ✔ シート上の一部の図形を複写する場合は、「Q3-2 図形や文字を別のシートに移動複写するには」を参照してください。
- ✔ モデルまたはレイアウトを右クリックして[カスタマイズ]を選択し、[シートタブ設定]ダイアログの[分類間名称共有]項目の「共有する」のチェックボックスがオンになっている場合は同じシート名称で複写されます。(ツールチップ表示では、シート名称は「複写元のシート名称(1)」と表示されます。)

●方法②—右クリックメニューの[シート複写先...]でシートを複写する

シートの[シート複写先...]でシートを複写できます。

複写したいシートタブを個別または複数選択後、シートタブ上で右クリックし、[シート複写先...]を選択して、[シート複写]ダイアログにて複写先の図面とレイアウトを指定します。



- ✔ シートの複数選択の方法は、「Q1-9 複数のシートを選択するには」を参照してください。
- ✔ 右クリックメニューの[シート複写先...]を使用した場合、別図面へシートを複写することができます。[シート複写]ダイアログの[図面]項目に現在展開中の図面が表示されますので、ここで複写先の図面を指定します。

- Tfas8 以降は、基準原点を基準としてシート複写されます。複写元と複写先の基準原点が異なる場合は、通り芯等共通の座標位置に基準原点を設定しなおす等してください。

基準原点の位置は、メニューバーの[表示]－[基準原点表示]で確認できます。また、基準原点の位置を変更する場合は、メニューバーの[設定]－[基準角設定]－[基準原点]を使用します。

Q3-2 図形や文字を別のシートに移動複写するには

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[移動複写]で移動複写できます。

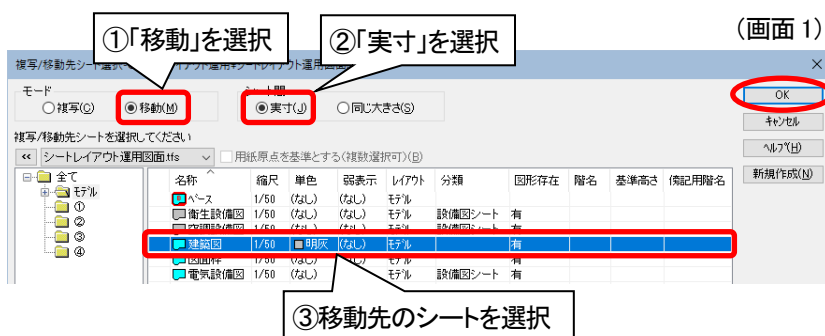
●別のシートへ図形を移動複写する手順

例. [ベース]シート上の建築図を[建築図]シートに移動する

- ①メニューバーの[設定]－[シート機能]－[移動複写]をクリックし、建築図を選択して<Enter>を入力。

- ②[複写／移動先シート選択]ダイアログにて、[モード]項目を「移動」、[シート間]項目を「実寸」にし、シート一覧から[建築図]シートを選択して、<OK>ボタンをクリック。

(画面 1)

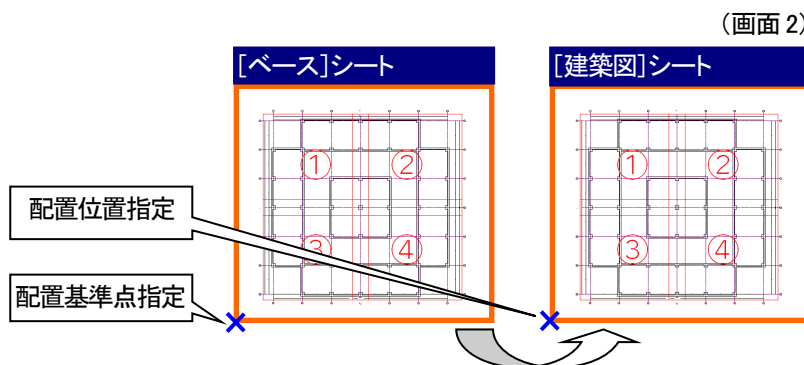


- 「実寸」は、移動／複写先の縮尺に合わせて図形の大きさが変わります。

「同じ大きさ」は、縮尺に関係なくそのままの大きさを移動／複写します。
- <属性取得>ボタンをクリックして図形を指定した場合は、その図形の所属するシートが移動／複写先シートとして選択されます。(Tfas9 以降)

- ③移動元図形の基準点を指定し、配置位置を指定(同じ位置に配置する場合は<Enter>を入力)。

(画面 2)



- シート間の図形の複写は、メニューバーの[編集]－[コピー]、[編集]－[貼り付け]でも行うことができます。

この場合、「実寸」で図形が複写されます。

Q3-3 図面間変換で「実寸」に設定しても図面間複写の際、図形の大きさが変わりません

シートの[プロパティ]で複写元の縮尺の設定を確認してください。

[縮尺]項目の「図面縮尺を設定」のチェックが外れていると、シートの縮尺設定が優先され、図形の大きさは変わりません。

この場合は、メニューバーの[設定]－[シート機能]－[移動複写]を使用し、図形の複写を行ってください。



シート機能の移動複写手順については、「Q3-2 図形や文字を別のシートに移動複写するには」を参照してください。

Q3-4 モデルの図形をレイアウトに複写するには

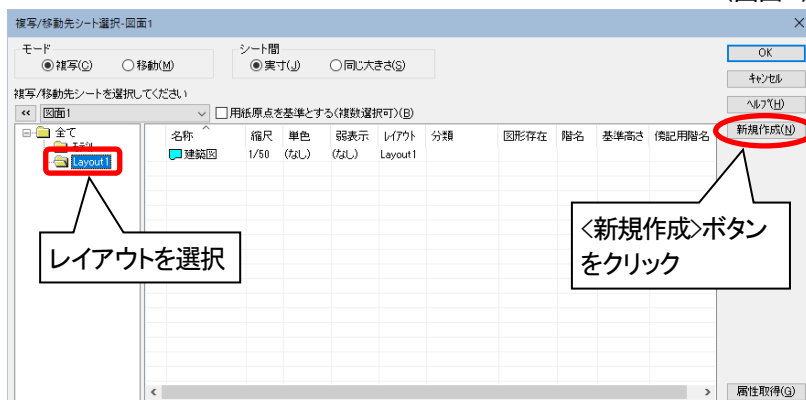
メニューバーの[設定]－[シート機能]－[移動複写]の[複写／移動先シート選択]ダイアログにて、レイアウトに複写先のシートを新規作成し、図形を複写することができます。

例. レイアウト「Layout1」に[図面枠 1]シートを作成し、[ベース]シート上の図面枠を複写する

①メニューバーの[設定]－[シート機能]－[移動複写]をクリックし、図面枠を選択して<Enter>を入力。

(画面 1)

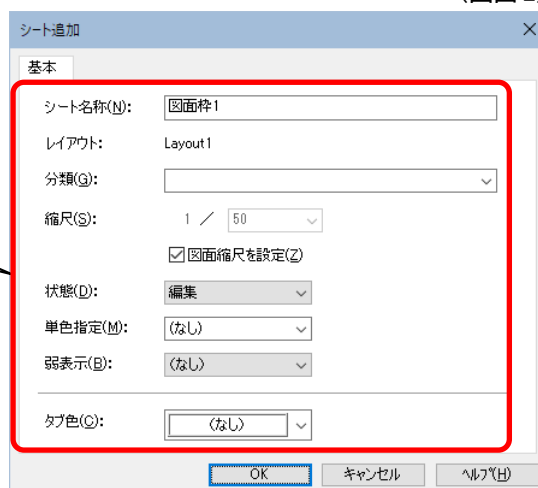
②[複写／移動先シート選択]ダイアログにて、複写先をレイアウトに切り替え、<新規作成>ボタンをクリック。(画面 1)



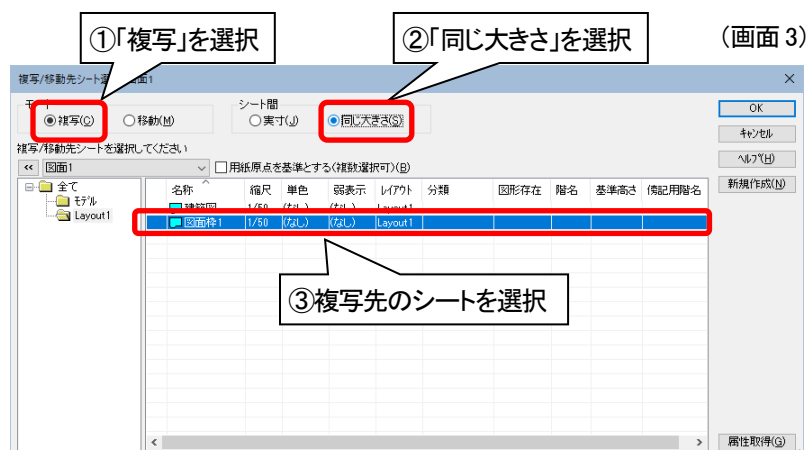
(画面 2)

③[シート追加]ダイアログにて、シート名称、縮尺等を設定し、<OK>ボタンをクリック。(画面 2)

新規シートの
シート名称等を設定



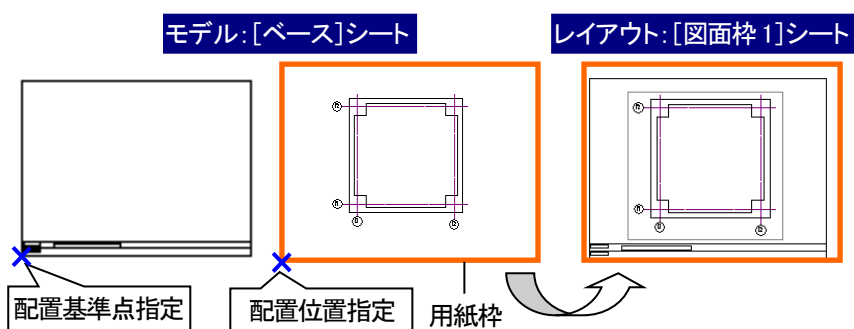
- ④ [複写／移動先シート選択]ダイアログにて、[モード]項目を「複写」、[シート間]項目を「同じ大きさ」にし、シート一覧から複写先シート（追加したシート）を選択して<OK>ボタンをクリック。（画面 3）



- ⑤ 「実寸」は、移動／複写先の縮尺に合わせて図形の大きさが変わります。
「同じ大きさ」は、縮尺に関係なくそのままの大きさを移動／複写します。

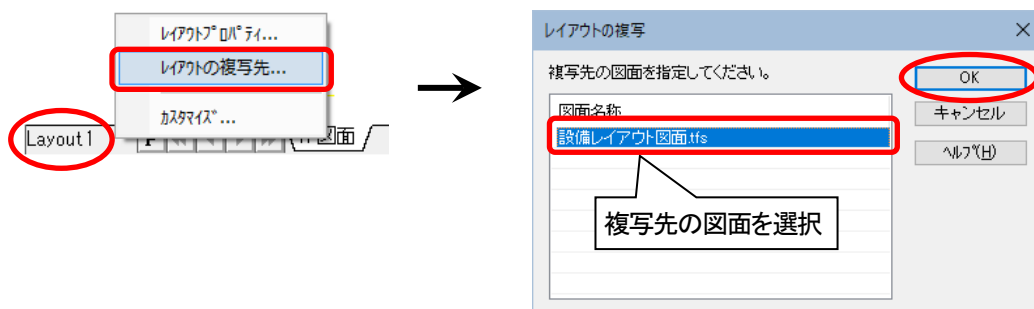
（画面 4）

- ⑤ 複写元図形の基準点、配置位置を指定（同じ位置に配置する場合は<Enter>を入力）。（画面 4）

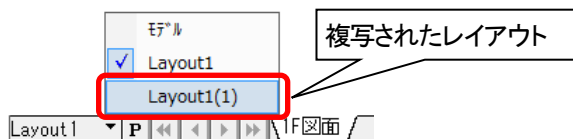


Q3-5 レイアウトを複写するには

[レイアウトの複写先]でレイアウトを複写できます。
<レイアウト>ボタンを右クリックして[レイアウトの複写先...]を選択し、[レイアウトの複写]ダイアログにて複写先の図面を選択して<OK>ボタンをクリックすると、レイアウトが複写されます。



- ⑥ <レイアウト>ボタンを左クリックすると、複写されたレイアウトが一覧に表示されます。レイアウト名は[レイアウトプロパティ]で名称変更できます。



- レイアウトは別図面に複写することもできます。別図面に複写する場合は、複写先の図面をあらかじめ展開しておくで[レイアウトの複写]ダイアログの一覧で図面選択できるようになります。
- Tfas8 以降は、基準原点を基準としてシート複写されます。複写元と複写先の基準原点が異なる場合は、通り芯等共通の座標位置に基準原点を設定しなおす等してください。
基準原点の位置は、メニューバーの[表示]－[基準原点表示]で確認できます。また、基準原点の位置を変更する場合は、メニューバーの[設定]－[基準角設定]－[基準原点]を使用します。

Q3-6 シート名称 [XXXX (1)][XXXX (2)] の図形を別図面に複写すると、[XXXX (1)] にまとまってしまう

シート名称 [XXXX] が同じで、なおかつシート名称の末尾が半角カッコ・半角数字の組み合わせの場合、同じシートとみなされます。この為、図面間複写すると、複写先では同じシート上に図形が複写されてしまいます。(ただし、シートの縮尺が異なる場合は除きます)
まとまらないようにするには、シート名称の半角カッコの数字を全角に変更するか、他の文字を使用してください。

- シート名称の作成については、「Q5-1 シートを作成する時のポイント」を参照してください。

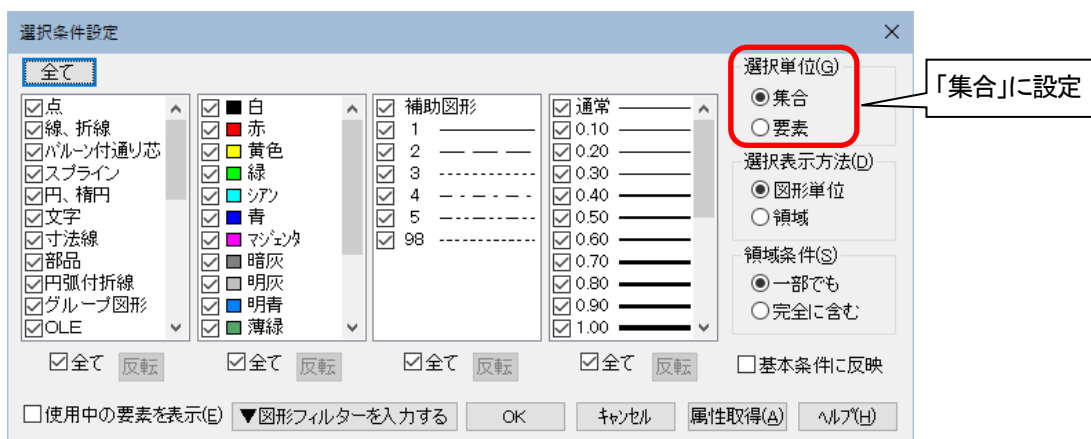
Q3-7 別図面に図形を複写すると、同じシート名称 [XXXX] に複写されず、[XXXX (1)] が増えてしまいます

複写先の図面のシート名称 [XXXX] が同じでも、シートの縮尺が異なる場合は、別シート [XXXX (1)] に図形が複写されます。

Q3-8 [シート機能]－[移動複写]を起動すると選択が解除されてしまいます

選択単位が「要素」単位に設定されていると、シートの移動複写機能実行後、選択が解除されます。
選択単位を「集合」に変更してください。

- 選択単位は、メニューバーの[図形編集]－[選択]－[条件設定]の[選択条件設定]ダイアログにて設定できます。



☑ [選択単位]項目が選択できない場合(項目がグレー表示になっている場合)は、一度 <キャンセル>ボタンをクリックしてダイアログを閉じ、右クリックメニューから[全選択解除]を選択してください。

Q3-9 別のシートへの移動複写を「同じ大きさ」の設定で行うと部材情報はどうなりますか

配管などを異なる縮尺のシートに「同じ大きさ」で移動複写すると、図形が分解され、部材の属性が無くなります。




Q3-10 図形を別のシートに移動すると部材が線分になってしまいます

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[移動複写]の[複写／移動先シート選択]ダイアログにて移動を指定するときに、[シート間]項目の設定を「同じ大きさ」ではなく、「実寸」に設定してください。



Q3-11 別のビューポートが重なって、編集したいビューポートが指定できません

思い通りにビューポートが指定できない場合は、 [次ピック]アイコンを使用してビューポートの選択を切り替えます。

メニューバー、ツールバーにはこの機能は初期表示されていません。メニューバーの[表示]－[ツールバーカスタマイズ]で[カスタマイズ]ダイアログの「その他」分類にある アイコン  をツールバーヘドラッグで追加してから機能を実行してください。

✔ 次ピック操作は、<Ctrl>+<A>でも行うことができます。

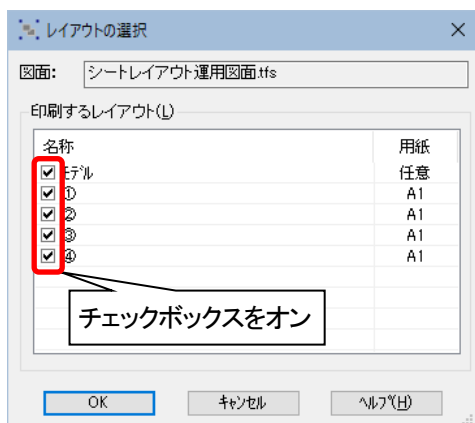
✔ ビューポートの編集方法については、「Q2-28 ビューポートの位置・領域のサイズを変更するには」を参照してください。

4 印刷

Q4-1 レイアウトを連続印刷するには

メニューバーの[ファイル]ー[レイアウト印刷]にて印刷できます。

[レイアウトの選択]ダイアログで印刷したいレイアウトのチェックボックスをオンにし、〈OK〉ボタンをクリックします。



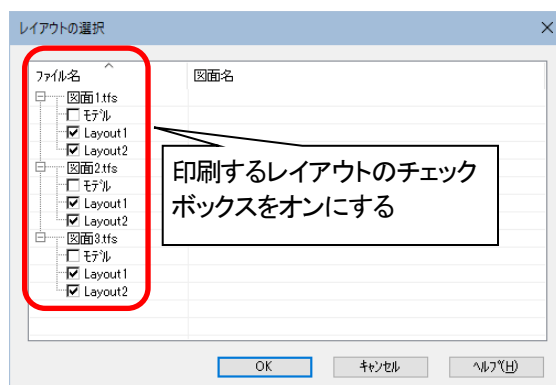
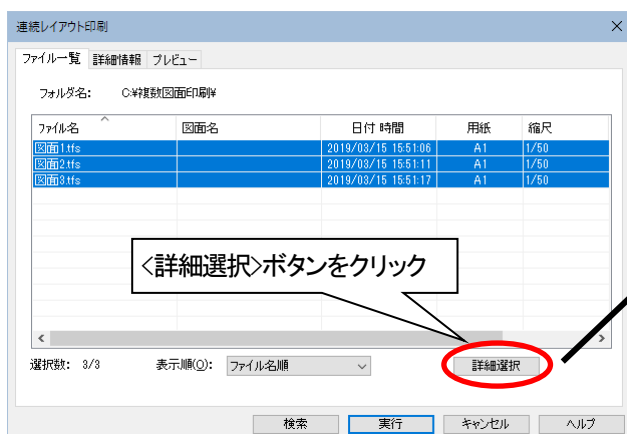
☑ 上記機能は、現在展開中のカレント図面に属するレイアウトが対象です。

Q4-2 複数図面のレイアウトを一度に印刷するには

メニューバーの[ファイル]ー[連続レイアウト印刷]にて印刷できます。

環境設定で設定した「図面」フォルダ^(※)内の図面を自動検索し、[連続レイアウト印刷]ダイアログに一覧表示します。〈詳細選択〉ボタンをクリックして印刷するレイアウトを指定した後、〈実行〉ボタンをクリックして印刷します。

(※)メニューバーの[設定]ー[環境設定]の[環境設定]ダイアログ([フォルダ]タブ)で指定した「図面」フォルダが検索の対象となります。



初期状態では、モデルとレイアウトが存在する場合は「レイアウト」、モデルのみ存在する場合は「モデル」がオンに設定されています。

☑ この機能は、Tfas6以降で使用が可能です。

Q4-3 レイアウト内の図形の線幅を印刷で調整するには

[印刷用色幅指定]で線幅を調整できます。

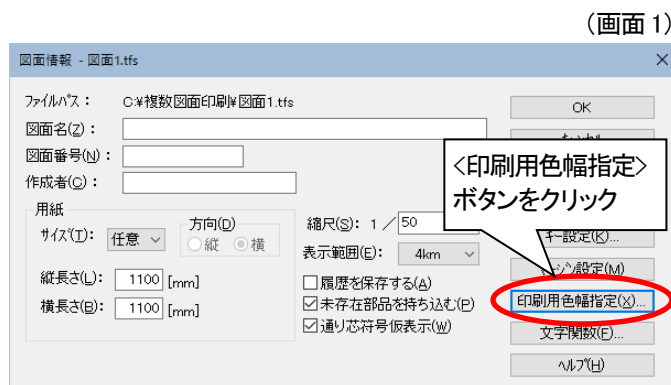
[印刷用色幅指定]で表示色ごとに印刷色、印刷線幅を設定できます。

- ① この機能はレイアウトの専用機能ではありません。通常のモデルで作図した図形の線幅を印刷する場合にも使用できます。
- ② 印刷倍率により、線幅が異なって表示・印刷される場合は、メニューバーの[設定]－[環境設定]の[環境設定]ダイアログで[表示・印刷]タブの「印刷倍率に関係なく線幅を固定する」をオンにすると、モデルと同じ線幅で印刷されます。ただし、画面上の表示は変わりません。

●印刷用色幅を指定して印刷する方法

- ①メニューバーの[ファイル]－[用紙サイズ・縮尺設定]の[図面情報]ダイアログにて<印刷用色幅指定>ボタンをクリック。

(画面 1)



- ②[印刷用色幅指定]ダイアログが表示されますので、<追加>ボタンをクリックし、線幅を指定したい色を選択。

(画面 2)

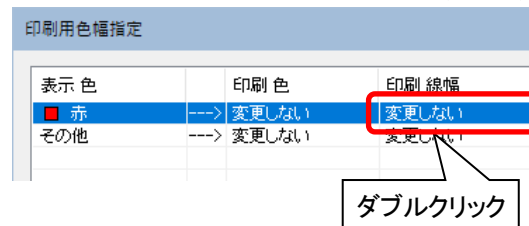
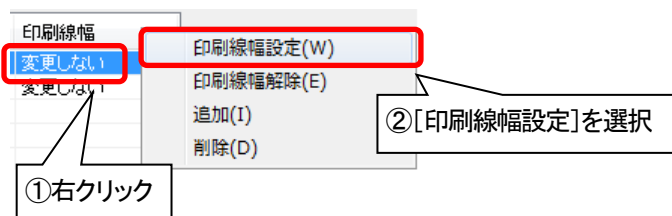
※<使用色全追加>ボタンをクリックすると、現在の図面で使用している全ての色を一覧に追加できます。



(画面 3)

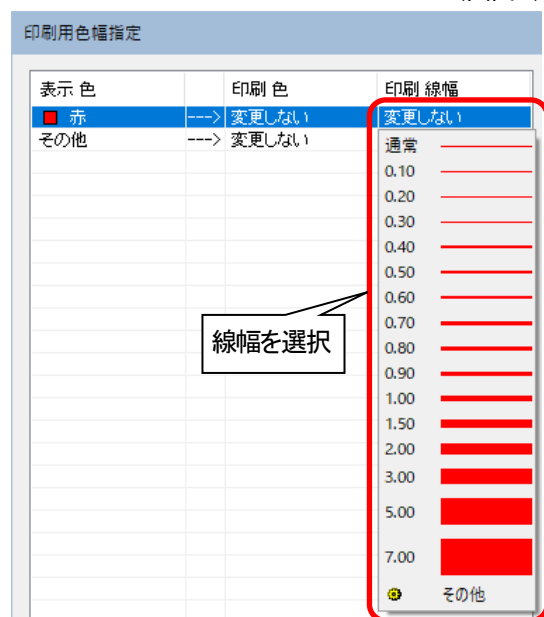
- ③②で選択した色が一覧に追加されますので、
[印刷 線幅]項目でダブルクリック。※(画面 3)

(※) [印刷 線幅]項目で右クリックし、[印刷線幅設定]
を選択しても可。



(画面 4)

- ④線幅がリスト表示されますので、設定したい線幅を
選択し、<OK>ボタンをクリックして終了。(画面 4)

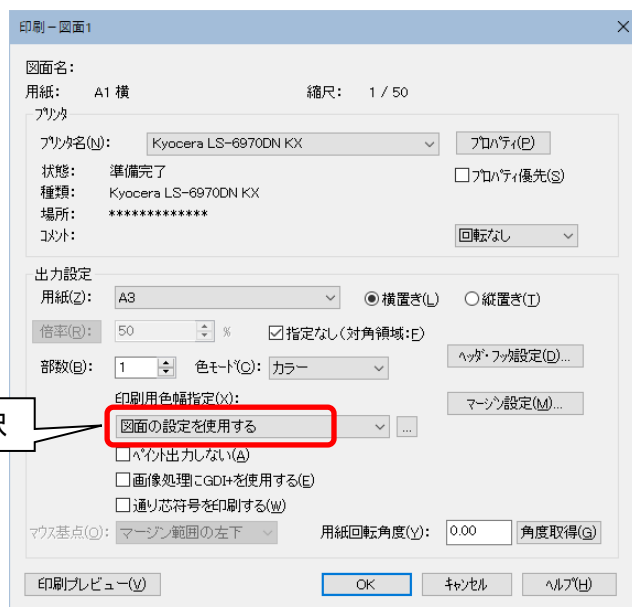


- ⑤[図面情報]ダイアログに戻りますので、<OK>
ボタンをクリックしてダイアログを閉じる。

(画面 5)


- ⑥メニューバーの[ファイル]ー[印刷]の[印刷]
ダイアログにて、[印刷用色幅指定]項目で「図
面の設定を使用する」を選択して印刷。
(画面 5)


「図面の設定を使用する」を選択




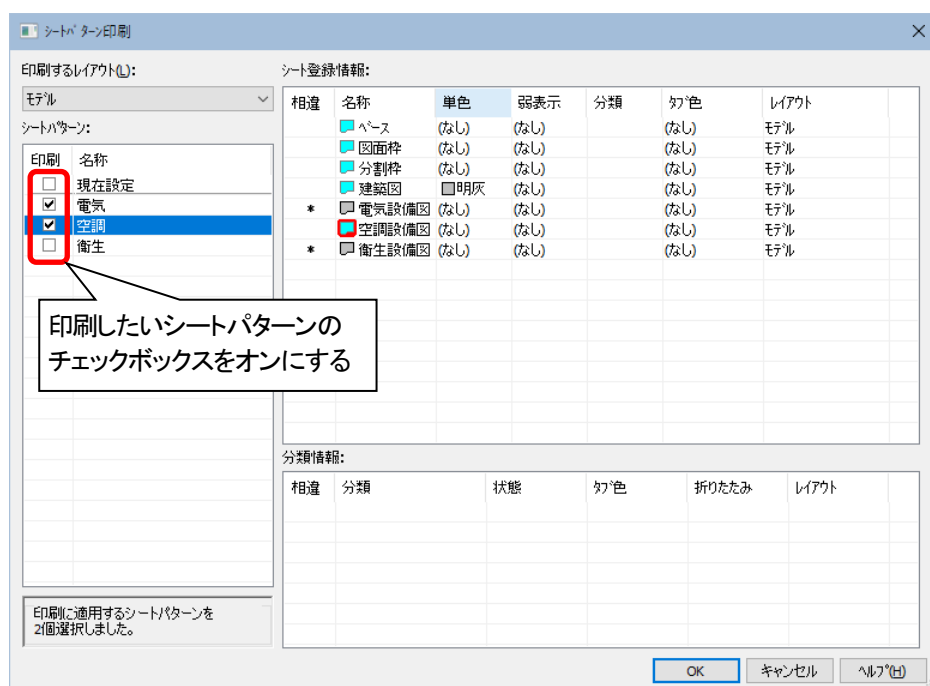
Q4-4 複数のシートパターンを連続印刷するには

「印刷—シートパターン」にて複数シートパターンの連続印刷ができます。

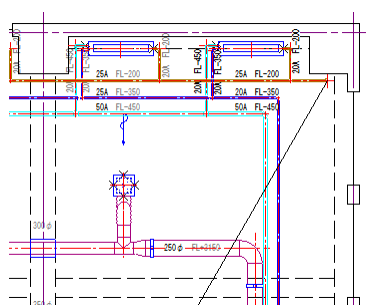
 **【印刷—シートパターン】**アイコンをクリックし、**【シートパターン印刷】**ダイアログで印刷したいシートパターンのチェックボックスをオンにし、**<OK>**ボタンをクリックします。**【印刷】**ダイアログが表示されますので、用紙サイズ等を指定し、印刷を実行します。

 この機能は、Tfas9 以降で使用方法が可能です。

メニューバー、ツールバーにはこの機能は初期表示されていません。メニューバーの[表示]ー[ツールバーカスタマイズ]で[カスタマイズ]ダイアログの「ファイル」分類にある  アイコンをツールバーヘッドラッグで追加してから機能を実行してください。



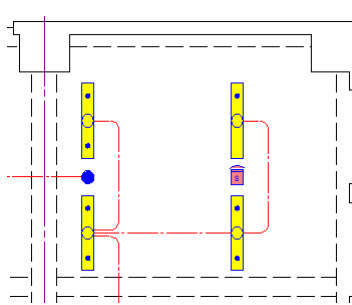
シートパターン:「空調」で印刷



連続で印刷



シートパターン:「電気」で印刷




5 運用

Q5-1 シートを作成する時のポイント

- シート名称はなるべく短くします。
- シートは作り過ぎないようにします。あまり作り過ぎると管理が繁雑になります。
※図面変換を行った場合、弊社以外の CAD ではシートを再現できませんので注意が必要です。
＜よくない例＞空調衛生設備の用途ごとにシートを作成するなど。
用途はレイヤで管理されていますのでシートを分けて管理する必要はありません。
- シート名称には(1)、(2)など半角カッコ・半角数字の組み合わせは使用しないでください。
＜例＞シート名称が「シートA」、「シートA(1)」の場合、同じシートとみなされます。この為、図面間で図形を複写すると、複写先で同じシート上に図形が複写されてしまいます。
- シート名称およびレイアウト名には下記の文字・記号を使用しないでください。
＜例＞「<」「>」「/」「'」「¥」「:」「;」「?」「*」「|」「=」「,」
※レイアウト名に使用した場合、DXF、DWG 図面に変換すると、“_”(アンダーバー)に置き換わります。
- 機器器具と搬送部材のシートを分けた場合、シート間接続に注意する必要があります。
(TfasⅢ以降の製品では[シート間接続設定]機能がありますので問題ありませんが、TfasⅡ 2007以前の Tfas 製品、CAPE 製品には[シート間接続設定]機能がありませんので、シートが分かれていると接続ができません。)
- 1つのシートに対してシート基準高さは1つしか設定できません。1つのシートで複数階を共用するような図面にはシート基準高さは対応していませんのでご注意ください。

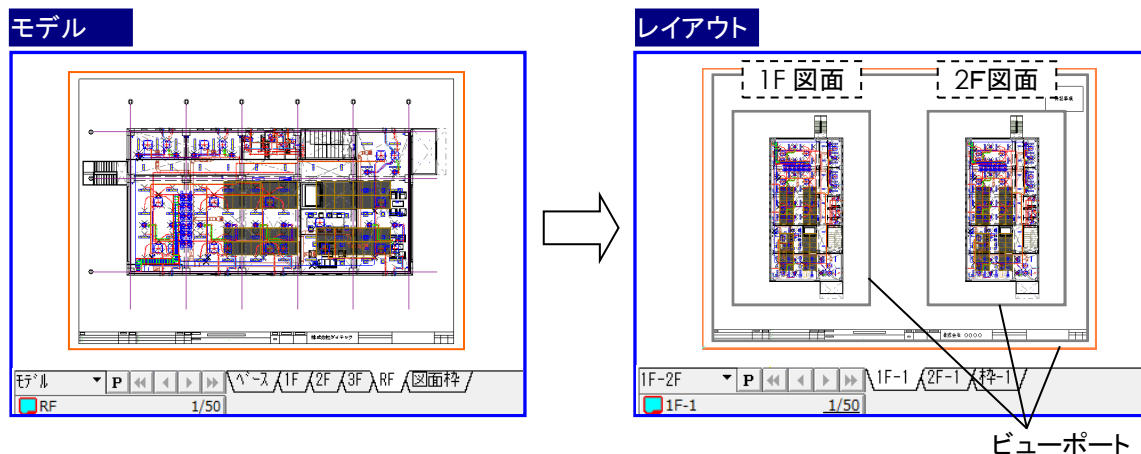
Q5-2 1F 図面のレイアウトやシートを 2F 図面で使用するには

[レイアウトの複写先]機能でレイアウトを複写し、2F 図面用に使用します。

-  レイアウトの複写については、「Q3-5 レイアウトを複写するには」を参照してください。

Q5-3 1つのレイアウト図面に複数階の図面を作成するには

レイアウトに階数分のビューポートを配置し、ビューポートの表示シートの設定機能で、各ビューポートに表示するシート(所定階の図形が所属するシート)を指定して図面を作成します。



- ① ビューポートで表示するシートを設定するには、「Q1-31 1つのビューポートで表示するシートを設定するには」を参照してください。
- ② レイアウト図面の作成方法については、「シート・レイアウト運用ガイド」の Chapter5 でも紹介していますので、併せてご覧ください。

Q5-4 建築図の変更内容を比較するには

建築図の変更前、変更後の図面をそれぞれシート別に管理し、どちらか一方のシートを[単色指定]にして重ねて表示することで変更内容を比較することができます。

- ① シートの単色指定については、「Q1-11 シート上の図形を単色で表示するには」を参照してください。

Q5-5 レイアウトに通り芯を複写するには

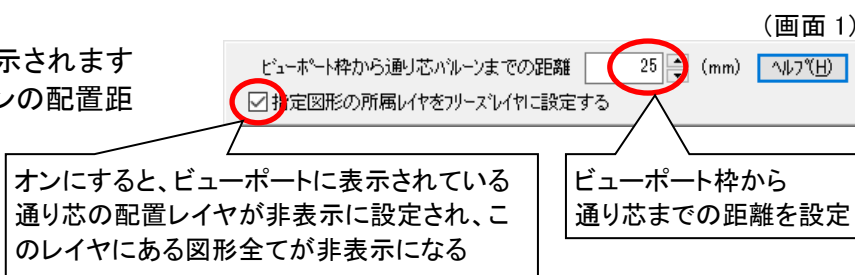
メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[通り芯配置]で、モデルに作図された通り芯をレイアウトに複写できます。

- レイアウトに通り芯を配置することで通り芯符号の仮表示ができるようになります。(仮表示は、メニューバーの[ファイル]－[用紙サイズ・縮尺設定]の[通り芯符号仮表示]のチェックボックスがオンの時に表示できます。)

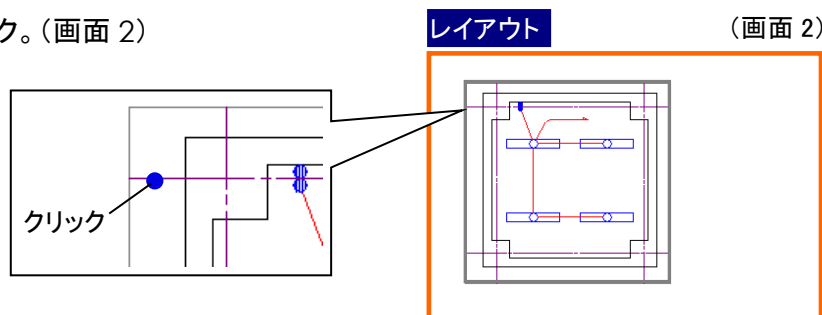
●レイアウトに通り芯を複写する手順

- ①メニューバーの[設定]－[シート機能]－[ビューポート]－[通り芯配置]をクリック。

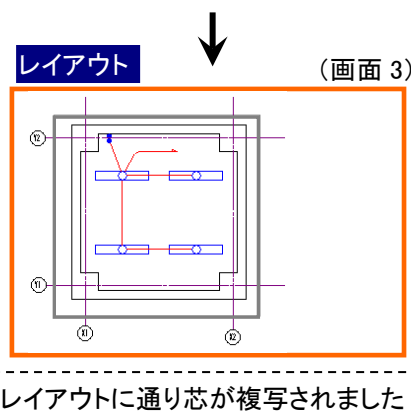
- ②[通り芯配置]ダイアログが表示されますので、右のように通り芯バルーンの配置距離などを設定。(画面 1)



- ③ビューポート枠内の通り芯をクリック。(画面 2)



- ④<Enter>を入力して確定。(画面 3)



- モデルにバルーン付の通り芯を作図していない場合、レイアウトには通り芯のみが複写されます。レイアウトに複写した通り芯に通り芯符号を付加するには、メニューバーの[建築]－[通り芯]－[バルーン付加]を使用します。

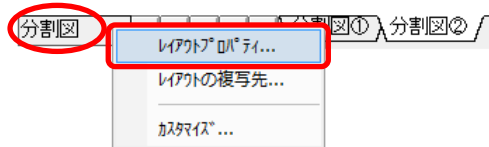
Q5-6 レイアウトにある2つのビューポートを通り芯の位置で合わせるには

あらかじめ位置合わせの基準とする通り芯交点を確認しておき、[レイアウトプロパティ]の[位置変更]で位置を合わせることができます。

●ビューポートの位置変更の手順

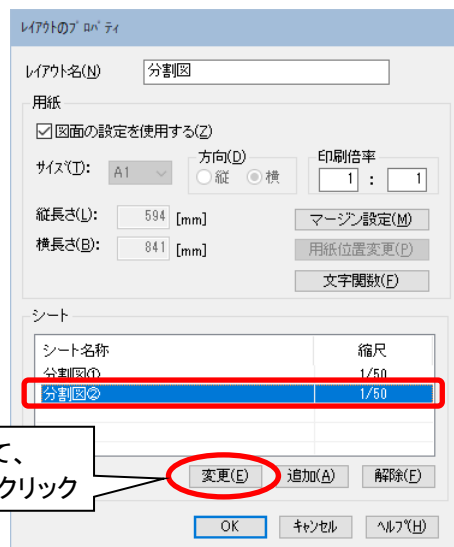
(画面 1)

- ①<レイアウト>ボタンを右クリックし、[レイアウトプロパティ]を選択。(画面 1)



(画面 2)

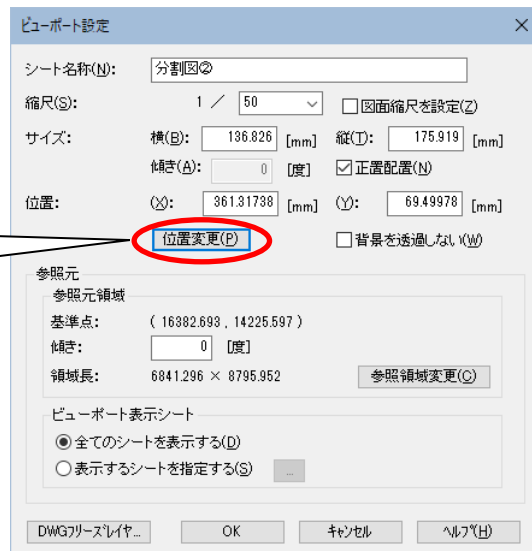
- ②[レイアウトのプロパティ]ダイアログにて、位置変更するシートを選択し、<変更>ボタンをクリック。(画面 2)



シートを選択して、
<変更>ボタンをクリック

(画面 3)

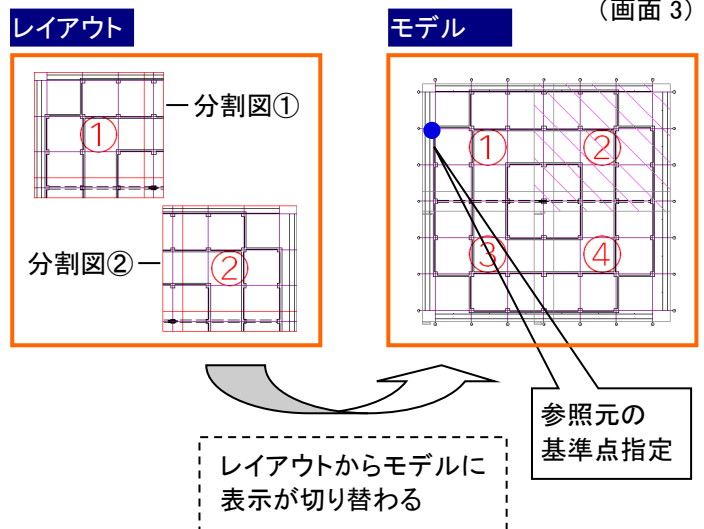
- ③[ビューポート設定]ダイアログにて、<位置変更>ボタンをクリック。(画面 3)



<位置変更>ボタン
をクリック

- ④表示が**モデル**(参照元)に切り替わりますので、参照元の基準点を通り芯の交点で指定。(画面 3)

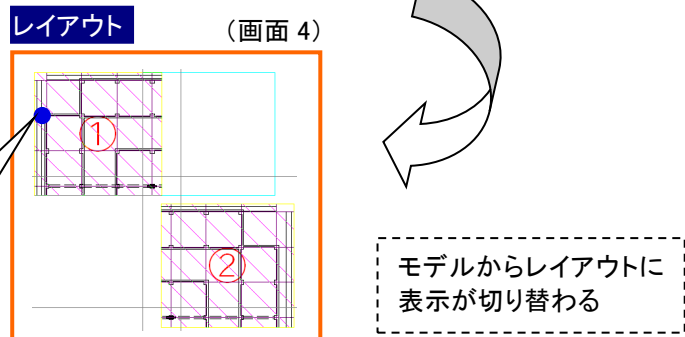
分割図①、②の位置がずれている



- ⑤表示が**レイアウト**(参照先)に切り替わりますので、配置基準点を指定。(画面 4)

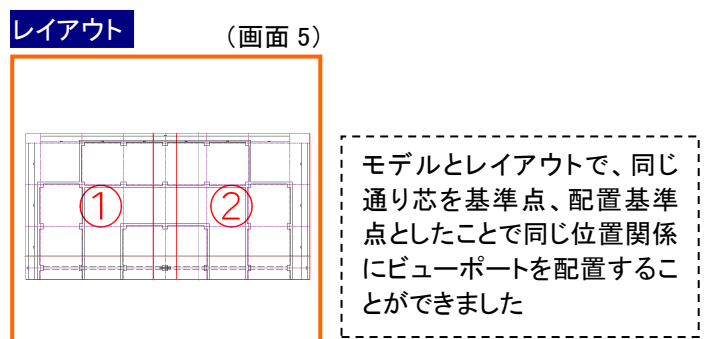
配置基準点は、④で指定したモデルの通り芯交点と同じ位置をレイアウトで指定。

配置基準点指定



- ⑥<OK>ボタンをクリックして、[ビューポート設定]ダイアログ、[レイアウトのプロパティ]ダイアログを閉じる。

分割図①、②の位置が揃いました



- 通常ビューポートの移動については、「Q2-28 ビューポートの位置・領域のサイズを変更するには」を参照してください。

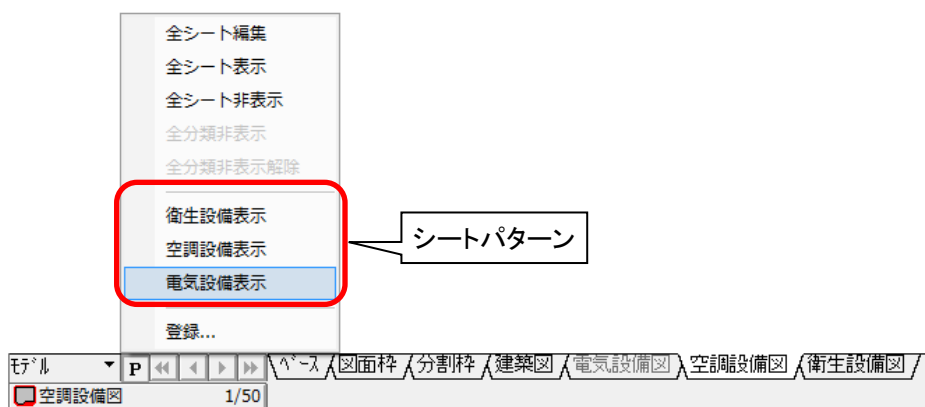
Q5-7 Tfas で作ったシートパターンを CAPE2007 製品で再現できますか

TfasⅢ以降の製品で作成したシートパターンは、CAPE2007 製品で再現することができます。

Q5-8 別図面にシートパターンを適用するには

Tfas6 以降は、シートパターンをテンプレートに保存することができます。別図面で[テンプレートの上書き]機能を使用し、保存したテンプレートを指定することでシートパターンを適用することができます。

例.図面 A のシートパターン(下図)を図面 B に適用する場合

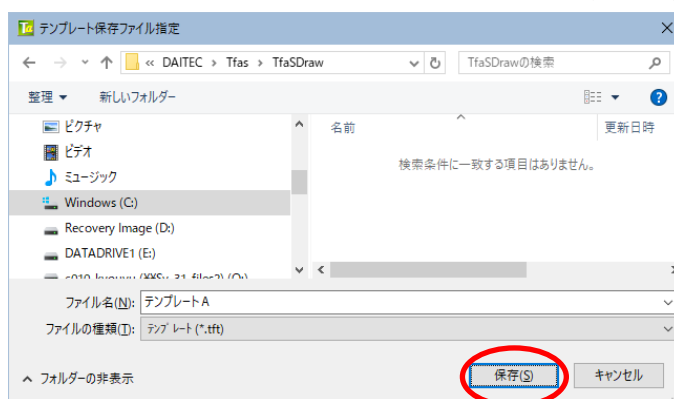


●図面 A のシートパターンをテンプレートに保存する手順

①シートパターンが登録されている図面 A を開き、メニューバーの[ファイル]ー[テンプレートの保存]をクリック。

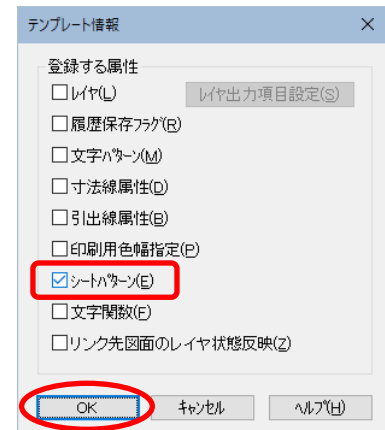
(画面 1)

②[テンプレート保存ファイル指定]ダイアログが表示されますので、テンプレートファイル名を付けて<保存>ボタンをクリック。
(画面 1)



(画面 2)

- ③ [テンプレート情報] ダイアログが表示されますので、[シートパターン] 項目のチェックボックスをオンにして<OK>ボタンをクリック。
(画面 2)



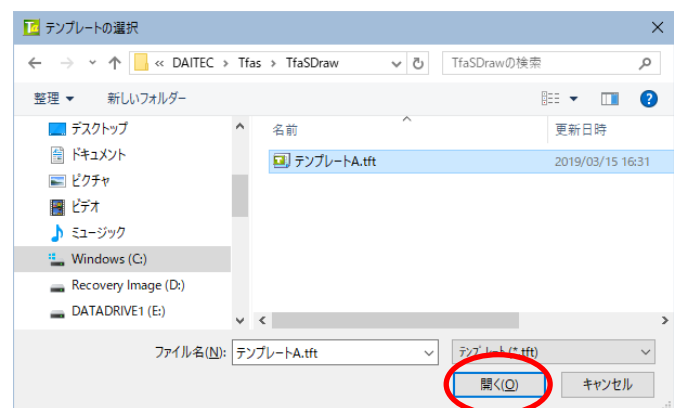
- ④ テンプレートには図面 A のシート名も保存されます。

● 図面 B にシートパターンを適用する手順

- ① 図面 B を開き、メニューバーの[ファイル]ー[テンプレートの上書き]をクリック。
② 上書き確認のメッセージが表示されますので、<はい>ボタンをクリック。

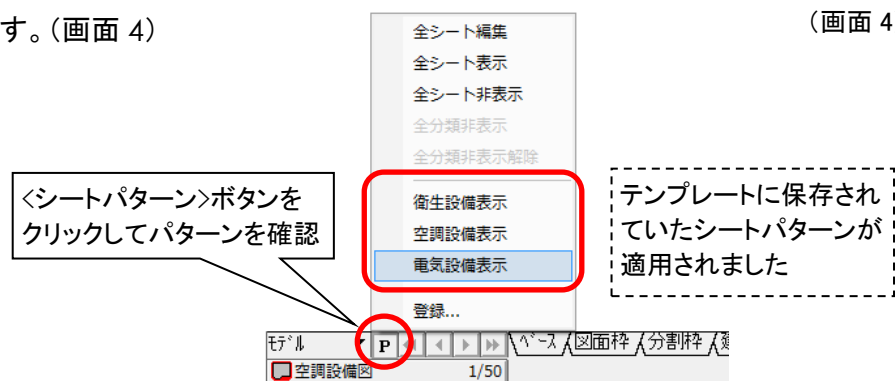
(画面 3)

- ③ [テンプレートの選択] ダイアログが表示されますので、保存したテンプレートファイルを選択し、<開く>ボタンをクリック。(画面 3)



- ④ シートパターンが適用されます。(画面 4)

(画面 4)

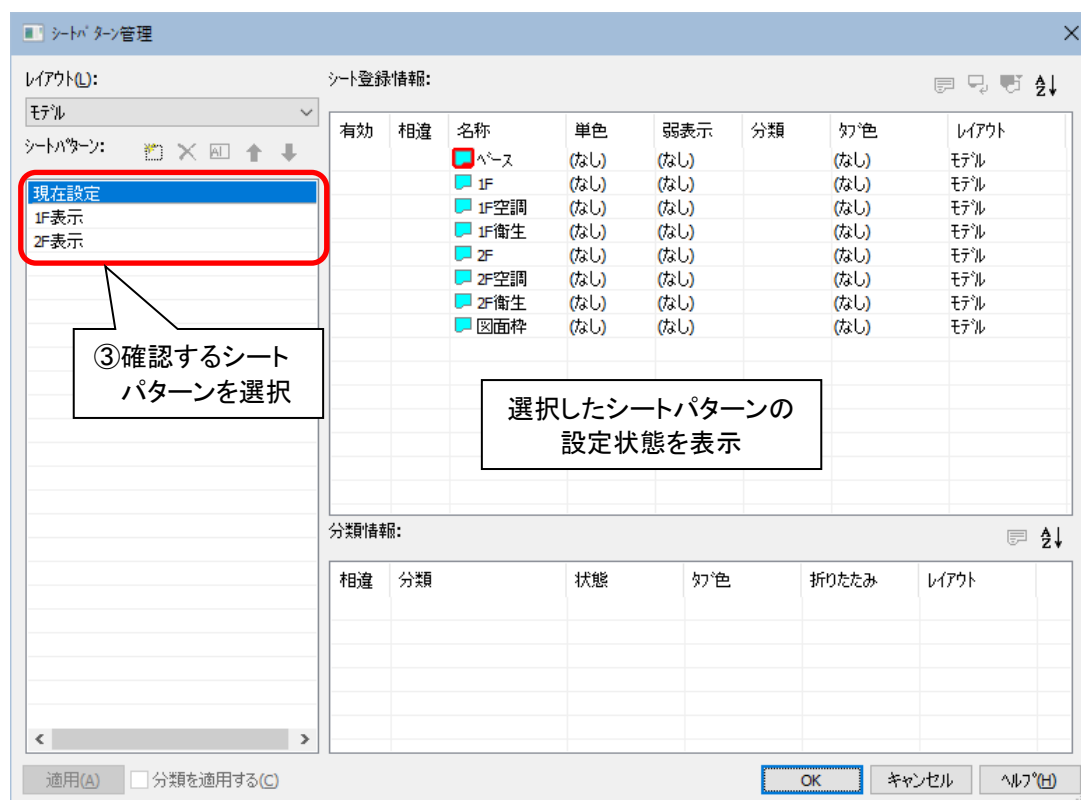
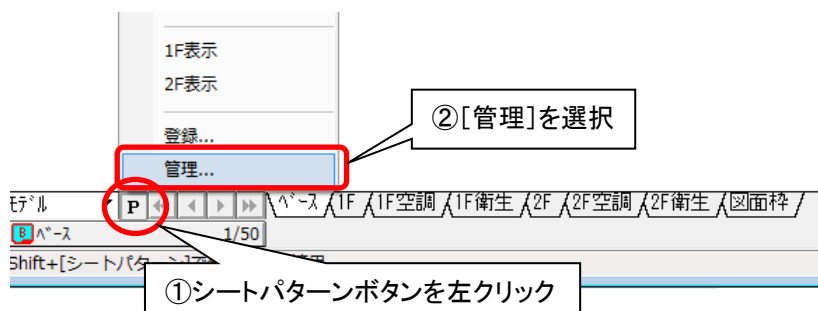


- ⑤ テンプレートに保存されているシート名と同じシート名に対してシートパターンの表示状態が有効になります。図面 B にテンプレートと同じシート名(図面 A のシート名)がない場合は、シートを作成するか複写してください。シートの複写方法については、「Q3-1 シートを複写するには」を参照してください。
⑥ Tfas8 以降は、[シートパターンー管理]にてシートパターン登録後に追加されたシートを登録済のシートパターンに追加することができます。詳細は、「Q5-10 シートパターン登録後に追加したシートをシートパターンに追加するには」を参照してください。

Q5-9 登録したシートパターンの内容を確認・変更するには

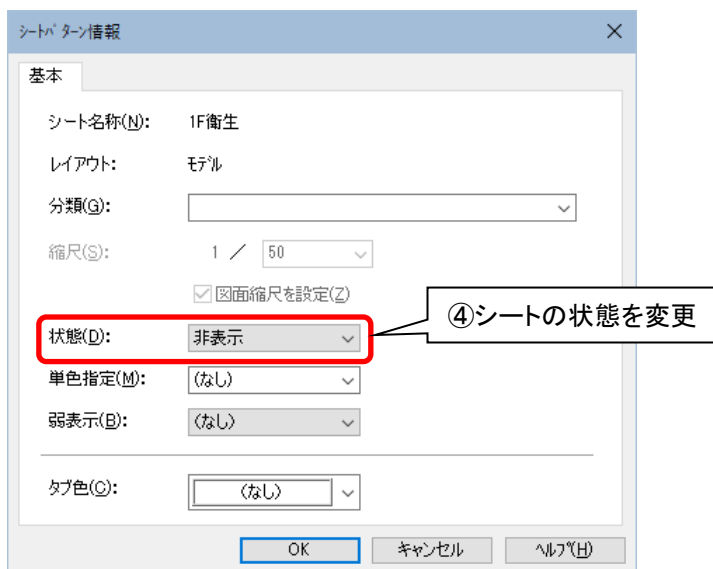
Tfas8 以降は、[シートパターン管理]で登録済のシートパターンの内容を確認できます。
 <シートパターン>ボタンを左クリックし、[管理]を選択すると、[シートパターン管理]ダイアログが表示されますので、シートパターンの内容を確認し、必要に応じて変更します。

●登録済のシートパターンの内容を確認する



●登録済のシートパターンの内容を変更する

例.[シートパターン管理]ダイアログにて、シートパターン[1F 表示]を表示し、[1F 衛生]シートを「非表示」に変更する



- ① シートパターンを編集する場合は、[シートパターン管理]ダイアログの左上にあるアイコン (新規作成／削除／名称変更／並び順変更)を使用します。
- ② シートパターンで設定したシートの状態を変更する場合は、[シートパターン管理]ダイアログの右上にあるアイコン (プロパティ／カレント設定／現在設定を反映／表示順序を変更)を使用します。
- ③ Tfas8 以降は、シートパターン登録後に追加されたシートを登録済のシートパターンに追加することができます。詳細は、「Q5-10 シートパターン登録後に追加したシートをシートパターンに追加するには」を参照してください。

Q5-10 シートパターン登録後に追加したシートをシートパターンに追加するには

Tfas8 以降は、[シートパターン管理]にて、シートパターン登録後に追加したシートを既存のシートパターンに追加することができます。

〈シートパターン〉ボタンを左クリックし、[管理]を選択すると、[シートパターン管理]ダイアログが表示されますので、新たに追加したシートの状態を各シートパターンに設定します。

①シートパターンボタンを左クリック

②[管理]を選択

シートパターン登録後に追加したシート

⑤ [現在設定を反映]アイコンをクリック

③既存のシートパターンを選択

④追加したシートを選択

※新たに追加したシートは、シートのアイコンが点線で表示されます。
例. 3F (状態は未設定)

※現在の設定が反映されました。
例. 3F ⇒ 3F (「編集」状態)

有効	相違	名称	単色	弱表示	分類	効色	レイアウト
<input checked="" type="checkbox"/>	*	ベース	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	1F	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	1F空調	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	1F衛生	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	2F	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	2F空調	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	2F衛生	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	3F	(なし)	(なし)		(なし)	モデル
<input checked="" type="checkbox"/>	*	図面枠	(なし)	(なし)		(なし)	モデル

追加シートは、現在の設定を反映後、設定内容を編集することができます。

編集するには、[シートパターン管理]ダイアログの右上にあるアイコン (プロパティ／カレント設定／現在設定を反映／表示順序を変更) を使用します。

6 図面登録

Q6-1 シートやレイアウトを図面として登録するには

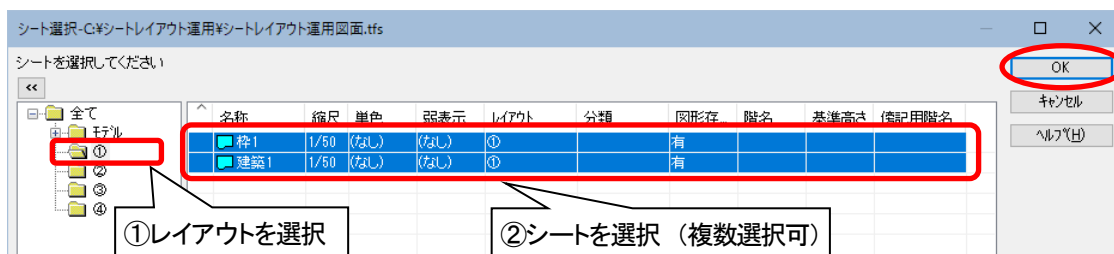
シート機能の[図面登録]でシート、レイアウトを図面登録できます。

- ✓ Tfas 図面として登録後、図形は全て「モデル」上に保存されます。
- ✓ Tfas6 より Tfas 図面以外のファイル形式で図面登録が可能になりました。(DWG、DXF 図面など)

●方法①ー選択したレイアウト内のシートを図面登録する

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[図面登録]ー[シート指定]で図面を登録できます。

[シート選択]ダイアログが表示されますので、図面登録したいシートを選択して<OK>ボタンをクリックし、[名前を付けて保存]ダイアログにてファイル名を付けて保存します。

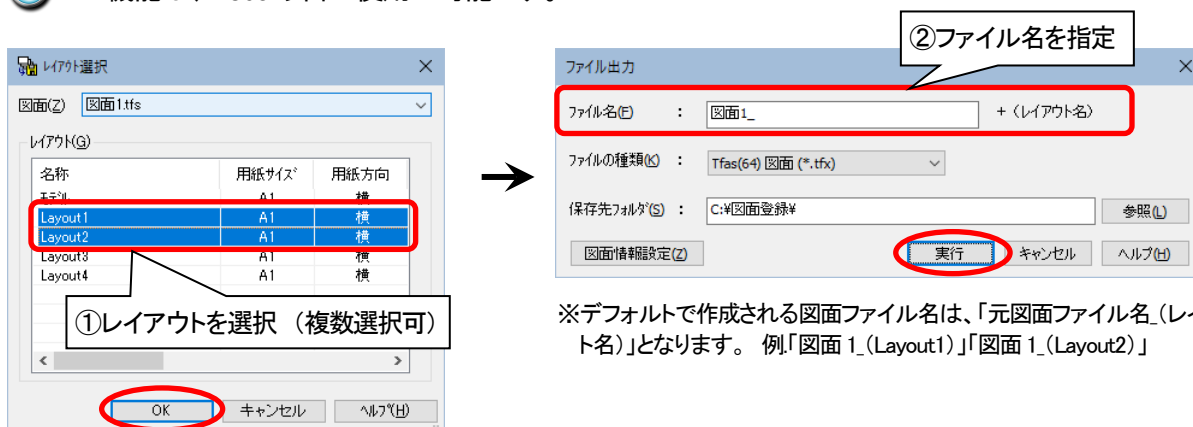


●方法②ー複数レイアウトを選択し、レイアウト単位で図面を一括登録する

メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[図面登録]ー[レイアウト指定]で図面を一括登録できます。

[レイアウト選択]ダイアログが表示されますので、図面登録したいレイアウトを選択して<OK>ボタンをクリックします。[ファイル出力]ダイアログが表示されますので、ファイル名を付けて<実行>ボタンをクリックします。

- ✓ この機能は、Tfas6 以降で使用が可能です。



※デフォルトで作成される図面ファイル名は、「元図面ファイル名(レイアウト名)」となります。例「図面 1_(Layout1)」「図面 1_(Layout2)」

- ✓ メニューバーの[設定]ー[シート機能]ー[レイアウト編集]の[レイアウト編集]ダイアログで<図面登録>ボタンをクリックすることで、レイアウト単位で図面一括登録を行うこともできます。
- ✓ Tfas 図面として登録した時の図形の属性については、「Q6-2 レイアウトをTfas図面として登録すると図形はどうなりますか」を参照してください。

Q6-2 レイアウトを Tfas 図面として登録すると図形はどうなりますか

メニューバーの[設定]－[シート機能]－[図面登録]－[レイアウト指定]、または[設定]－[シート機能]－[レイアウト編集]でレイアウトを Tfas 図面として登録した場合、図形は下記のように変換されます。

- ビューポート境界上に文字がある場合は、文字全体が表示されます。
- 配線・部品・部材と連動している寸法線は、連動の情報が無くなり、非連動の通常寸法線となります。
- ビューポート内に表示されている下記文字は、通常文字に変換されます。

電気	配線記号、配線傍記、部品傍記、盤名称、部品取付高さ文字、点滅区分
空調衛生	傍記

- ビューポート内に表示されている下記図形は、グループ図形に変換されます。

建築	柱、壁、仕上げ、梁、基礎、スラブ、天井、建具
電気	配線、条数、部品(実寸登録部品・複合部品※を除く)、回路番号、ダクト・ラック
空調衛生	部材、部品(実寸登録部品・複合部品※を除く)、一括省略図形、機番

(※)実寸登録部品・複合部品がビューポート境界上にある場合は、グループ図形に変換されます。

- 単色表示されているビューポート内の図形は、実際の図形色で表示されます。
- 登録された図面には、指定シートと同じシート名称、縮尺のシートが追加され、図形が複写されます。

Q6-3 シートやレイアウトを DXF・DWG 形式の図面として保存するには

下記の方法でシートやレイアウトを DXF、DWG 形式の図面として登録することができます。

●方法①－シート機能を使用して図面登録する

メニューバーの[シート機能]－[図面登録]－[シート指定]／[レイアウト指定]を使用します。

図面登録時に[名前を付けて保存]または[ファイル出力]ダイアログにて図面ファイルの種類を DXF または DWG 形式に指定すると、図面登録することができます。

🔍 シート・レイアウトの図面登録の方法については、「Q6-1 シートやレイアウトを図面として登録するには」を参照してください。

🔍 上記機能は、Tfas6 以降で DXF・DWG 形式の図面登録が可能です。ただし、レイアウトの再現はできません。

●方法②－名前を付けて保存機能を使用して図面登録する

メニューバーの[ファイル]－[名前を付けて保存]を使用します。

図面登録時に[名前を付けて保存]ダイアログにて図面ファイルの種類を DXF または DWG 形式に指定すると、図面登録することができます。

🔍 上記機能では、レイアウトはそのまま保持されます。

Q6-4 シートやレイアウトを jww 形式の図面として保存するには

DXF・DWG と同様に、下記の方法でシートやレイアウトを jww 形式の図面として登録することができます。ただし、レイアウトの再現はできません。

●方法①—シート機能を使用して図面登録する

メニューバーの[シート機能]—[図面登録]—[シート指定]／[レイアウト指定]を使用します。

図面登録時に[名前を付けて保存]または[ファイル出力]ダイアログにて図面ファイルの種類を jww 形式に指定すると、図面登録することができます。

✔ シート・レイアウトの図面登録の方法については、「Q6-1 シートやレイアウトを図面として登録するには」を参照してください。

✔ 上記機能は、Tfas6 以降で jww 形式の図面登録が可能です。

●方法②—名前を付けて保存機能を使用して図面登録する

メニューバーの[ファイル]—[名前を付けて保存]を使用します。

図面登録時に[名前を付けて保存]ダイアログにて図面ファイルの種類を jww 形式に指定すると、図面登録することができます。

Q6-5 レイアウトを含む Tfas 図面を DXF・DWG 形式で保存するとどうなりますか

- メニューバーの[シート機能]—[図面登録]—[レイアウト指定]を使用して DXF・DWG 図面として登録した場合、図形は全て「モデル」上の[ベース]シートに保存されます。(レイアウトは再現できません)
- メニューバーの[ファイル]—[名前を付けて保存]を使用して DXF・DWG 図面として登録した場合、レイアウトはそのまま保持されます。